

C44JP2326

J

日本語

SIGMA

fp L

FW Ver.3.0
使用説明書

このたびはシグマ製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 使用説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、ご使用前に7ページ「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 使用説明書は、必要なときにつけても御覧いただける場所に保管して、不明な点が生じた場合にご活用ください。
- この製品の保証の内容、およびアフターサービスについては、別紙の“保証書”を御覧ください。

著作権について

あなたが本カメラで記録した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。尚、実演や興行、展示会などのなかには、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

- SD ロゴ、SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。
- DNG および CinemaDNG は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他本冊子中の社名や商品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。
- 本製品はメニュー表示等に、株式会社リコーがデザイン制作したエレメント方式フォントを使用しています。
- EL ZONE™ および EL ZONE SYSTEM™ は Cinecam, Inc.の商標です。



妨害電波自主規制について



本カメラは、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準にもとづくクラスB情報技術装置です。本カメラは、家庭環境で使用することを目的としていますが、本カメラをラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カメラと付属品の確認

ご使用になる前に、以下のものがすべて揃っているかご確認ください。万一、不足しているものがある場合、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- ① カメラ本体
- ② ボディキャップ（カメラ本体に付属）
- ③ ホットシューユニット HU-11
- ④ ストラップホルダー（2個）
- ⑤ ストラップ
- ⑥ バッテリーパック BP-51
- ⑦ ACアダプターUAC-21(AJ)
- ⑧ USBケーブル (C-C) SUC-41
- ⑨ 使用説明書（本書）
- ⑩ 保証書
- ⑪ 保証書シール

- 画像を記録するメモリーカードは付属していません。別途お買い求めください。

目次

カメラと付属品の確認	3
目次	4
安全上のご注意	7
取り扱い上のご注意	10
メモリーカードについて（別売）	11
レンズについて	12
電子シャッターについて	13
各部の名称	14
撮影時のモニター表示	16
 カメラを使う準備をする	18
ストラップの取り付け方	18
ホットシューユニット HU-11 について	19
バッテリーを充電する	20
レンズを取り付ける	23
言語の設定	24
日付、時刻、エリアの設定	25
バッテリーのチェック	27
タッチ操作について	27
CINE/STILL スイッチについて	28
セットアップメニュー	28
メニューリスト	31
QS メニュー	36
表示モードを切り替える	39
カードの入れ方	41
カードの初期化	42
シャッターボタンの押し方	42
撮影した画像を確認する	42
 撮影する	43
写真を撮る	43
動画を撮る	43
露出のモードを選ぶ	45

ピントを合わせる	52
オートフォーカスによるピント合わせ	52
フォーカスマードの設定	52
フォーカスフレームの設定	54
マニュアルフォーカスによるピント合わせ	56
その他のフォーカス設定	56
ドライブモード	64
手ブレ補正	67
ISO 感度の設定	68
ISO 感度拡張	69
ISO オート設定	70
画像の設定	71
映像記録の設定	76
クロップズーム	80
ディレクターズピューファインダー	83
オーディオ記録の設定	86
露出補正	87
測光モード	87
AEL ボタン	88
ホワイトバランスの設定（ WB ）	89
カラーモード	93
トーンコントロール	96
Fill Light	97
レンズ光学補正	98
プラケット撮影	100
HDR （ハイダイナミックレンジ）撮影	105
カスタムモード	106
設定の保存 / 読込 	108
LOCK 機能	111
フラッシュ撮影について	111
フラッシュモードの設定	112
調光補正	113
その他の設定変更	114
カラースペース	114
レンズ機能設定	114
フレームガイド	115

ダイヤル設定	117
カスタムボタンの機能	118
シャッターボタンの設定	119
画像の再生、消去	120
1 画像再生	120
拡大表示する（静止画のみ）	121
9 画像表示（コンタクトシート表示）	122
画像情報を見る	122
ファイルの消去	125
消去ボタンで消去する	125
消去メニューから画像を消去する	126
動画を再生する	127
再生時のその他の機能	129
再生表示フィルター	129
ロック	129
マーク	131
回転	133
スライドショー	134
DNG 現像	135
シネマグラフ	136
露出警告	140
回転表示	141
AEL ボタンの機能	141
[SYSTEM]メニューから設定する	142
パソコンに画像を転送する	159
ウェブカメラとして使用する	160
スクリーンショット機能	161
参考資料	162
別売アクセサリー	162
AC アダプター SAC-7P（別売）を使う	164
お手入れについて	165
困ったときは	166
主な仕様	169

安全上のご注意

人的損害や物的損害を未然に防止するため、ご使用の前にこの項目の内容を十分ご理解いただくようお願いします。

△警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

各文章の **△** 記号は注意、もしくは警告を促す内容を告げています。

各文章の **○** 記号は行為を禁止する内容を告げています。

△警告（バッテリー、充電器、電源について）

! バッテリーはお子様の手の届かない場所に保管してください。万一飲み込んだ場合、液漏れにより健康を害するおそれがあります。ただちに医師にご相談ください。

○ 使用説明書に指定されていないバッテリーは使用しないでください。バッテリーの破裂、液漏れにより、カメラの破損、けが、火災の原因となります。

○ バッテリーは指定された機器以外には使用はしないでください。バッテリーの破裂、液漏れにより、カメラの破損、けが、火災の原因となります。

○ 強い衝撃や振動を与えると、投げつけないでください。バッテリーの破裂、液漏れにより、けがや火災の原因となります。

○ バッテリーの分解、火中、水中への投下、加熱、ショートは絶対しないでください。バッテリーの破裂、液漏れにより、けがや火災の原因となります。

○ 指定されていないバッテリーを充電しないでください。バッテリーの破裂、液漏れにより、けがや火災の原因となります。

! 万一、カメラやバッテリーから煙が出る、異常に熱くなる、焦げ臭いなどの現象が起きた場合、ヤケドに注意し速やかにバッテリーを抜いて、ご購入店、もしくは弊社営業所にご連絡ください。

! バッテリーを処分される場合は、テープなどで接点部を絶縁してください。また、お住まいの自治体の規則に従ってください。

! 長期間使用しない場合、バッテリー室からバッテリーを取り出してください。長期間放置しますと液漏れによるカメラの破損の原因となります。

! AC 電源を使用するときは、必ず専用の AC アダプターを使用してください。感電、発火の原因となります。

-  専用の AC アダプターは、他の機器に使用しないでください。発熱、発火、感電、けがの原因となります。
-  AC アダプターを使用中に煙や異臭、異音が発生した場合、すぐにコンセントを抜いてください。火災や感電の原因となります。
-  水や異物が AC アダプター内に侵入した場合、すぐにコンセントを抜いてください。火災や感電の原因となります
-  改造や分解はしないでください。火災や感電の原因になります。
-  コードの上に重たい物をのせたり、コードを引いたり曲げたり、また熱したりしないでください。コードの損傷、火災や感電の原因になります。
-  指定(AC100V-240V)された以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。
-  電源コードは、指定されているものを使用してください。

警告（カメラについて）

-  プロパンガス、ガソリンなどの引火性のガスが発生する場所では、火災、爆発のおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
-  カメラはお子様の手の届かない場所に保管してください。誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。
-  カメラは自分で分解、改造しないでください。感電、ヤケドのおそれがあります。
-  落下等で破損した場合、内部に手を触れないでください。感電、ヤケドのおそれがあります。バッテリーを抜いて、ご購入店、もしくは弊社営業所にご連絡ください。
-  レンズ単体で太陽を見ないでください。失明の原因となります。
-  水中に落としたり内部に水が入った場合、バッテリーを抜いてご購入店、もしくは弊社営業所にご連絡ください。そのまま放置しますと火災や感電の原因となります。
-  カメラ本体のコネクター部に、金属片等を差し込まないでください。感電、発熱、発火の原因となります。
-  フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。視力障害の原因となります。特に乳幼児を撮影する場合は、1m 以上離れてください。

 フラッシュの発光部を手で覆ったまま発光しないでください。ヤケドの原因となります。

注意 (充電器、電源について)

 充電器や AC アダプターをコンセントから抜く場合、コードを引っ張らないでください。コードを痛め、火災や感電の原因となります。常にプラグを持ってコンセントから引き抜いてください。

 充電器や AC アダプターを布やクッションなどで覆い被さないでください。発熱し、本体を変形させたりし、火災の原因となります。

 使用しない場合は、安全の為コンセントを抜いてください。

 充電器や AC アダプターを掃除する場合は、安全の為コンセントから抜いて行ってください。

注意 (カメラについて)

 レンズキャップをはずしたまま放置しないでください。レンズに長時間日光があたった場合、カメラの故障や火災の原因となることがあります。

 ファインダーに直接日光を当てないでください。内部のディスプレイが損傷することがあります。

 三脚にカメラを取り付けたまま移動しないでください。転倒したりぶつけたりして、けがの原因となることがあります。

 カメラをぬれた手でさわらないでください。感電することがあります。

 カメラを熱いものの近くや、日中の車内に放置しないでください。カメラ自体が高温になり、ヤケドの原因となることがあります。

 液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片にご注意ください。ケガの原因となります。また、破損により液晶モニター内部の液体が流出し、以下のような状況になった場合、それぞれの対処を行ってください。

● 液体が衣服や皮膚に付着したときは、ただちに石鹼で洗い流してください。

● 液体が目に入ったときは、ただちにきれいな水で 15 分以上洗浄し、医師の診療を受けてください。

● 液体を飲み込んだときは、大量の水を飲んで吐き出し、医師の診療を受けてください。

取り扱い上のご注意

ご使用の前に

大切な撮影をする前には、事前のチェックや試し撮りをして、カメラが正常に作動するか必ず確認してください。撮影に要した諸経費、および撮影により得べかりし利益の損失等については保証致しかねます。

長期間の旅行、野外撮影、寒冷地での撮影、またはたくさんの写真を撮られるようなときなどには、満充電のバッテリーを多めに用意することをおすすめします。

ご使用の環境や注意点について

- カメラは精密機械です。ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 本機は防塵・防滴構造となっており、小雨などの使用は可能ですが、防水構造ではありません。水辺などでの使用では、大量の水が掛らないように注意してください。水がカメラ内部に入り込むと、大きな故障の原因となり、修理不能になる場合があります。
- ほこりの多い場所や高温多湿の場所（特に日中の車内等）へ長時間放置しないでください。
- 寒い場所から温かい室内に持ち込む場合、カメラに水滴が生じます。カメラをバックやビニール袋に入れて周囲の温度になじませてからご使用ください。
- 本機の使用可能温度は約 0°C～+40°C、使用可能湿度は約 85%以下（結露しないこと）です。0°C以下になるとバッテリーの性能低下が影響します。寒い場所では予備のバッテリーを用意し、ポケットに入れて保温しながら交互に使用することをおすすめします。
- 静電気や磁気の影響により、まれにカメラが作動しなくなることがあります。このようなときは、一旦バッテリーを取り出して再度装填し直してください。また、強い電波や磁気の発生する場所では、カメラが正常に作動しない場合があります。

長時間撮影の注意点について

- カメラの表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 長時間連続して撮影すると、カメラの温度が上昇し、警告マーク (⚠) が表示されます。さらに温度が上昇すると、警告メッセージが表示され、自動的にカメラの電源が切れます。
- カメラの電源が切れた場合は、カメラの温度を充分下げるために、10分以上放置してください。
- カメラの温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。警告マーク (⚠) が表示されたら、カメラの電源を切り、温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
- SSD 等の USB ストレージを使用して動画撮影する場合、USB ストレージが高温になり動画記録が停止する場合があります。

メモリーカードについて（別売）

本機は、SD 規格に準拠した以下のカードが使用できます。

SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、
SDXC メモリーカード

- 本書では、これらのメモリーカードを「カード」または「SD カード」と記載しています。
- 本機は UHS-I、UHS-II 規格の SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。
- 動画撮影の場合、ビットレートによって SD カードがご使用になれない場合があります。対応メディアにつきましては、「ビットレートと対応メディア」(P.78) の項目を参照してください。
- SD カードは、カードへの書き込みやフォーマットを禁止できる書き込み禁止スイッチを備えています。「LOCK」側にしておくと、ファイルの誤消去を防ぐことができます。
- カードを直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばに放置しないでください。

- カードを温度の高い場所、湿度の高い場所、静電気の起こりやすい場所や電磁波が発生している場所に保管しないでください。
- カードの詳細な取扱い方法については、それぞれの使用説明書の内容に従ってください。
- カメラの「カードの初期化」やパソコンの「削除」の機能では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

レンズについて

本機は L マウントを採用しています。ご使用になれるレンズは、L マウント用交換レンズです。

- 本機は 35mm フルサイズの撮像素子を搭載しています。撮像素子の性能をフルに活かすには、L マウントのフルサイズフォーマット用レンズをご使用ください。APS-C フォーマット用レンズもご使用になれますが、撮像素子の記録範囲が限定された撮影になります。
- シグママウントコンバーター MC-21（別売）との組み合わせにより、シグマ SA マウント用レンズ、シグマ製キヤノン EF マウント用レンズがご使用になれます。
- レンズの発売時期などにより、レンズのファームウェアの更新が必要な場合があります。またはカメラのファームウェアの更新が必要な場合もあります。対応レンズの最新情報につきましては、弊社 WEB サイトにてご確認ください。

sigma-global.com/jp/cameras/fpl/

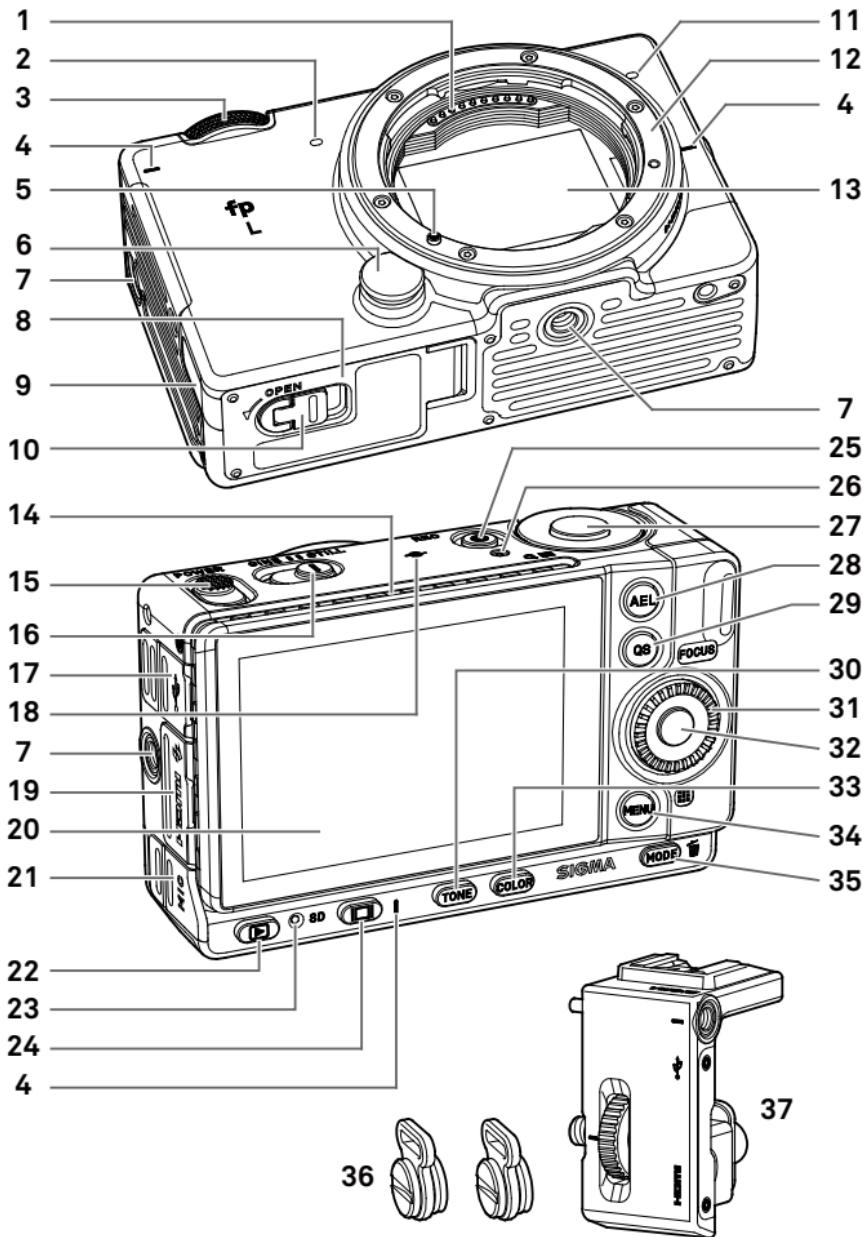
電子シャッターについて

本機は、機械式のシャッター機構を搭載しておりません。撮像素子を電気に制御して露光時間を調整する、電子シャッターを採用しています。

電子シャッターは、無音で振動が無い、より高速な連続撮影が可能などのメリットがあります。反面、電子シャッターによるデメリットもありますので、以下の点にご注意ください。

- 蛍光灯などのフリッカー光源下では露出ムラが起きやすいので、比較的遅めのシャッタースピードを使用してください。
- フラッシュの同調速度は 1/15 秒以下（画質:DNG および DNG+JPEG、記録ビット数:14bit 設定時は 1/10 秒以下）になります。マニュアル露出でフラッシュ撮影する場合は、シャッタースピードを 1/15 秒以下（1/10 秒以下）に設定してください。
- 動きの速い被写体では歪みが発生する場合があります。

各部の名称



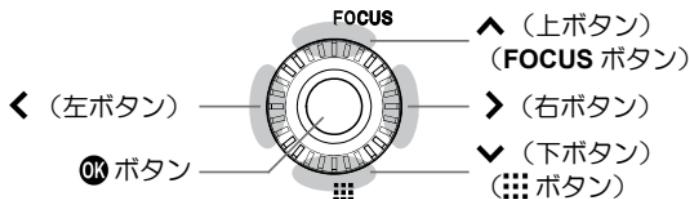
1	レンズ信号接点	20	液晶モニター / タッチパネル
2	マイク (R)	21	マイク / ケーブルレリーズ端子
3	前ダイヤル	22	▶ (再生) ボタン
4	三脚穴位置指標	23	アクセスランプ
5	レンズ取り付け指標 / レンズロックピン	24	□ (ディスプレイ) ボタン
6	レンズ着脱ボタン	25	REC ボタン
7	三脚 / ストラップホルダー 取り付け穴	26	REC ランプ
8	バッテリー / SD カードカバー	27	シャッターボタン
9	DC コネクターカバー	28	AEL ボタン
10	バッテリー / SD カードカバー 開閉つまみ	29	QS (クイックセット) ボタン
11	マイク (L)	30	トーンコントロールボタン
12	マウント	31	後ダイヤル
13	撮像素子 / ダストプロテクター	32	OK (OK) ボタン
14	ヒートシンク	33	カラーモードボタン
15	電源スイッチ	34	MENU (メニュー) ボタン
16	CINE/STILL スイッチ	35	MODE (撮影モード) / 廻 (消去) ボタン
17	USB 端子 (USB3.0・Type-C) / 充電ランプ	36	ストラップホルダー
18	撮像素子位置マーク	37	ホットショーユニット HU-11
19	HDMI 端子 (Type D (Ver.1.4)) / HU-11 接点		

ご注意!!

- ダストプロテクター（撮像素子保護ガラス）（13）には触れぬよう、十分ご注意ください。

後ダイヤル (31) について

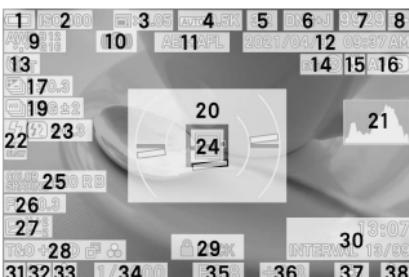
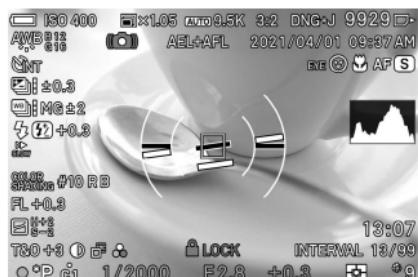
後ダイヤルは、方向ボタンの機能を兼ねています。本書では各ポジションを **▲ / ▼ / < / >** で表しています。



- 上下で操作する場合は **◆**、左右で操作する場合は **<>**、上下左右で操作する場合は **<◆>** で表しています。

撮影時のモニター表示

STILL モード



CINE モード (CINE スタイル) 時



CINE モード (STILL ライクスタイル) 時



1 バッテリー残量表示	27 トーンコントロール ※
2 ISO 感度	28 カラーモード / 調色
3 クロップズーム ※	29 ロック中表示 ※
4 画像サイズ	30 インターバル撮影 ※ / 焦点距離 ※、撮影距離 ※
5 アスペクト比	31 合焦表示
6 画質	32 露出モード
7 撮影可能枚数	33 カスタムモード ※
8 記録メディア	34 シャッタースピード
9 ホワイトバランス	35 絞り値 / T 値
10 手ぶれ警告マーク	36 露出補正值 / 露出メーター
11 AE ロック / AF ロック ※	37 測光モード
12 日付時刻 ※	38 バッファー残量
13 ドライブモード	39 解像度
14 顔 / 瞳優先 AF ※	40 フレームレート
15 フォーカスリミッター ※	41 フォーマット、記録ビット数、圧縮形式
16 フォーカスマード	42 記録可能時間
17 露出 BKT ※ / HDR ※	43 オーディオメーター
18 電子式手ブレ補正 ※	44 タイムコード
19 ブラケット撮影 / HDR ※	45 合焦 / REC 表示
20 水準器表示 ※	46 記録動作
21 ヒストグラム / 波形 ※	47 カメラ ID、リール番号 - テイク番号
22 フラッシュモード ※	48 撮影距離 ※
23 調光補正值 ※	49 焦点距離 ※
24 フォーカスフレーム ※	50 センターマーク ※
25 カラーシェーディング ※	51 シャッタースピード / アングル
26 Fill Light ※	

※設定時のみ表示されます。



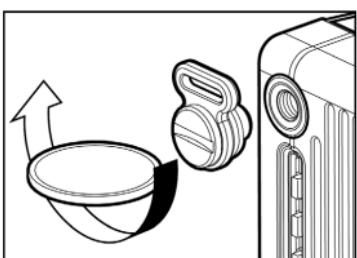
撮影直後、カメラ内で画像処理中に表示されるアイコンです。このアイコンの表示されている間は、次の撮影やボタン操作ができなくなることがあります。



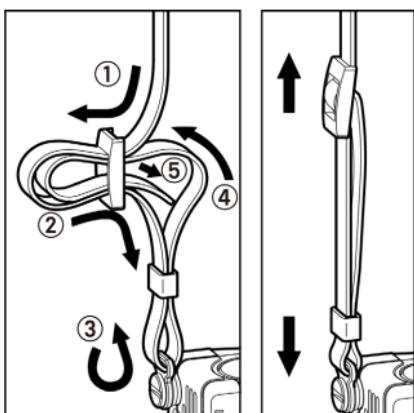
スローシャッター時、露光中であることを示すアイコンです。

カメラを使う準備をする

ストラップの取り付け方



左右の三脚/ストラップホルダー取り付け穴にコイン等でしっかりとストラップホルダー（付属）を取り付けます。

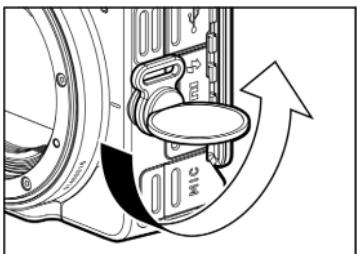


ストラップ（付属）の両端を一旦ほどいて、図のように左右のストラップホルダーに取り付けます。

警告!!

- 撮影の前に、ストラップホルダーに緩みが無いか、確認してから使用してください。ストラップホルダーが緩むと使用中にカメラが脱落する恐れがあります。緩みが生じた場合は、コイン等で増し締めしてください。

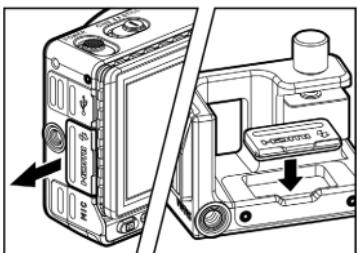
ホットシューユニット HU-11 について



フラッシュ撮影をするときは、ホットシューユニット HU-11（付属）をカメラに取り付けます。

1

カメラの左側にストラップホルダーが装着されている場合は、コイン等を用いストラップホルダーを外します。



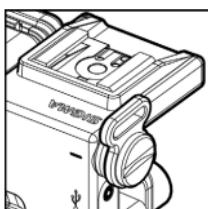
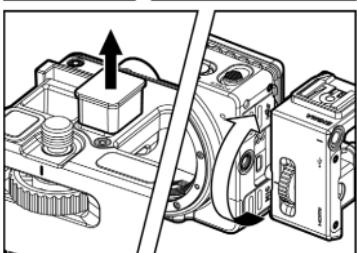
2

カメラの接点カバーを取り外し、HU-11 の接点カバーホルダーに収納します。

3

HU-11 の接点保護キャップを取り外し、固定リングを回してしっかりとカメラに取り付けます。

- フラッシュは、別売りのシグマエレクトロニックフラッシュ EF-630(FOR SIGMA) (P.162)、または EF-140S SA-STTL (P.163) をご使用ください。

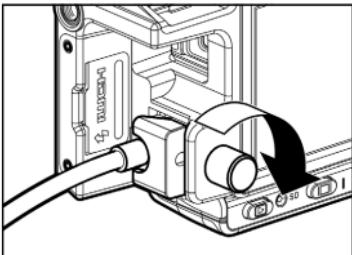


カメラから取り外したストラップホルダーは HU-11 のストラップホルダー取り付け穴に取り付けできます。

警告!!

- 撮影の前に、ストラップホルダーに緩みが無いか、確認してから使用してください。ストラップホルダーが緩むと使用中にカメラが脱落する恐れがあります。緩みが生じた場合は、コイン等で増し締めしてください。

HDMI ケーブルロック機能

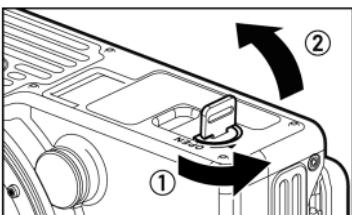


HU-11 は、撮影中に HDMI ケーブルが外れないように固定できる「HDMI ケーブルロック機能」を備えています。

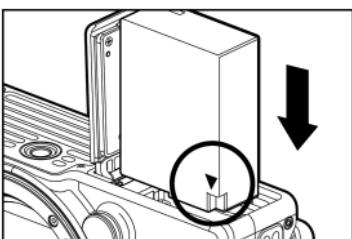
HDMI ケーブルをカメラの HDMI 端子に接続し、ケーブルロックねじを回してケーブルを固定します。

バッテリーを充電する

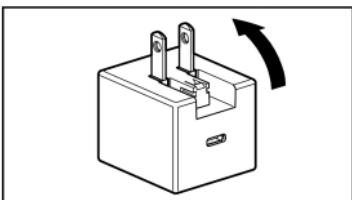
付属の専用リチウムイオン充電池「バッテリーパック BP-51」（以降、バッテリーと表記）をカメラに入れ、AC アダプター UAC-21（付属）を接続して充電します。お買い上げ時にバッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。



1 電源スイッチが **OFF** になっているのを確認し、バッテリー/SD カードカバー開閉つまみを回して、カバーを開けます。

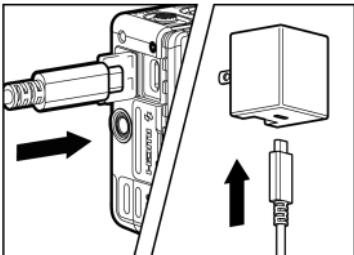


2 バッテリーがロックされるまで押し込んでください。



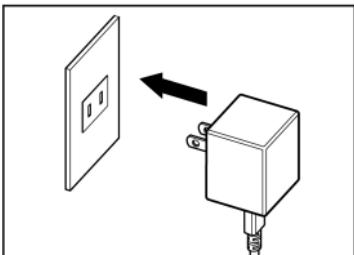
3 ふたを閉じ、バッテリー/SD カードカバー開閉つまみを回してロックします。

4 AC アダプターのプラグを起こします。



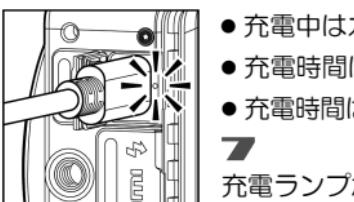
5

カメラの端子カバーを開け、カメラと AC アダプターを USB ケーブル（付属）でつなぎます。



6

AC アダプターをコンセントに差し込みます。



- 充電中はカメラの充電ランプ（黄緑）が点灯します。
 - 充電時間は約 120 分です。
 - 充電時間は周囲の温度や、充電状態によって異なります。
- 7 充電ランプが消えたら充電完了です。

充電ランプが点滅するときは…

- バッテリーの温度が高すぎる、もしくは低すぎます。10~30°Cの場所で充電してください。
- バッテリーの端子を乾いた布で清掃してください。

ご注意!!

- 充電しても、撮影可能枚数が極端に少なくなった場合は、バッテリーの寿命が考えられます。新しいバッテリーと交換してください。
- バッテリーは、バッテリーチャージャーBC-71（別売）でも充電できます。（P.163）

メモ

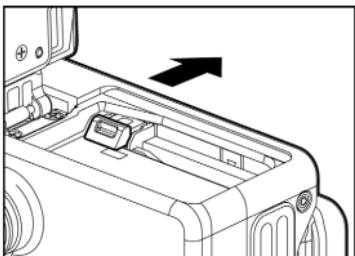
- AC アダプター UAC-21 接続時は、充電と同時にカメラに電源が供給され、カメラの操作が可能です。（バッテリーはカメラにセットしたままにしてください。）

- 充電速度を優先させたい場合は、カメラの電源スイッチを OFF にしてください。

パソコンから充電する

パソコンの USB 端子が C タイプの場合は、付属の USB ケーブルで、A タイプの場合は、市販の USB ケーブル (A to C) で、パソコンに接続します。

- 充電速度を優先させたい場合は、カメラの電源スイッチを OFF にしてください。
- 充電、および通常のカメラ操作を行いたい場合は、「USB モード」の「充電のみ」を選択してください。 (P.156)
- 必ずパソコン本体の USB 端子に接続してください。モニターやキーボードなどの USB 端子や USB ハブには接続しないでください。
- パソコンが休止状態になると、充電が中断されることがあります。
- 充電時間はパソコンの給電能力によって変わります。



バッテリーの取り外し方

ロックレバーをスライドして取り出します。

警告!!

- アクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にバッテリーやカードを取り出さないでください。書き込み中のデータが失われます。また、カードが損傷する場合があります。

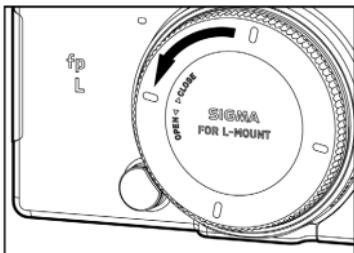
- この製品は、充電式リチウムイオン電池（バッテリー）を使用しています。ご使用済のバッテリーは貴重な資源となります。端子にテープを貼りつけて絶縁してからリサイクル協力店にお持ちください。詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

ホームページアドレス : <http://www.jbrc.com/>

- カメラを廃棄する際には、「バッテリーの取り出し方」の手順に従い、カメラからバッテリーを取り出し、バッテリーのリサイクルにご協力ください。

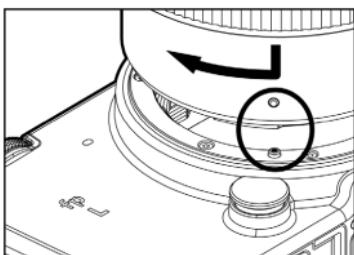


レンズを取り付ける



1 電源スイッチを OFF にします。

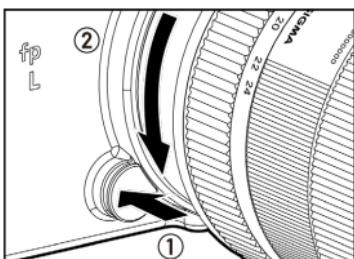
2 レンズのリヤキャップと、ボディのマウントキャップを外します。



3 カメラのマウントにあるレンズ取り付け指標とレンズ側の指標を合わせてレンズをはめ込み、レンズを右回りにカチッと音がしてロックされるまで回します。

ご注意!!

- 取り付けのときにレンズ着脱ボタンを押していると、ロックが不完全になる場合があります。必ずロックがされていることを確認してください。



レンズを取り外すときは、レンズ着脱ボタンを押しながら、左回りに止まるまで回し、静かに引き抜いてください。

ご注意!!

- マウント面には電気接点があります。キズや汚れがつくと誤作動や故障の原因となりますのでご注意ください。

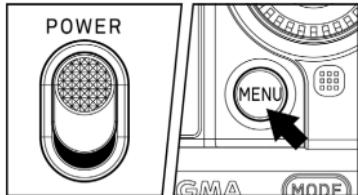
言語の設定

液晶モニターに表示される言語の初期設定は英語です。セットアップメニューの「Language / 言語」で他の言語に変更できます。

お買い上げの際には…

初めてカメラの電源を入れた際、液晶画面に言語の設定画面が表示されます。**<>**ボタンでご希望の言語を選択し、**OK**ボタンを押して確定してください。

その後、日付設定画面に切り替わりますので、25 ページ「日付、時刻、エリアの設定」の③ 番以降の説明に従い、日付と時間を設定してください。



言語 / Language		
English	简体中文	Português
日本語	繁體中文	Dansk
Deutsch	한국어	Svenska
Français	Русский	Norsk
Español	Nederlands	Suomi
Italiano	Polski	
<input type="button"/> 決定	<input type="button"/> MENU	<input type="button"/> キャンセル

1

カメラの電源を入れます。

2

本体背面の **MENU** ボタンを押してセットアップメニューを開きます。(P.29 参照)

3

前ダイヤルを回して「**SYSTEM**」の 5 ページ目を表示させます。

4

<> ボタンを押して、「**Language / 言語**」を選択します。

5

> ボタンか **OK** ボタンを押して、言語設定画面を開きます。

6

<> ボタンで「**日本語**」を選択します。言語は 17 種から選べます。

7

確定する場合は、**OK** ボタンを、変更しない場合は、**MENU** ボタンを押します。

設定できる言語

English	英語（初期設定）	Русский	ロシア語
日本語	日本語	Nederlands	オランダ語
Deutsch	ドイツ語	Polski	ポーランド語
Français	フランス語	Português	ポルトガル語
Español	スペイン語	Dansk	デンマーク語
Italiano	イタリア語	Svenska	スウェーデン語
简体中文	中国語（簡体字）	Norsk	ノルウェー語
繁體中文	中国語（繁体字）	Suomi	フィンランド語
한국어	韓国語		

日付、時刻、エリアの設定

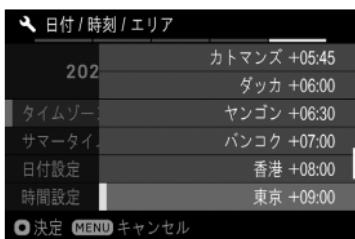
初めて使用する場合、あるいは長期間使用していなかった場合は、日付、時刻、エリア（地域）を正しく設定してください。



1 本体背面の **MENU** ボタンを押してセットアップメニューを開きます。（P.29 参照）

2 「**SYSTEM**」→「**日付/時刻/エリア**」を選びます。

3 「**タイムゾーン**」で、**>**ボタンか **OK** ボタンを押し、**◆**ボタンでご使用になるエリアを選び、**>**ボタンか **OK** ボタンを押して確定します。



- 該当するエリアがないときは、協定世界時（UTC）との時差を参照し、同じ時差のエリアを選択してください。

4 必要に応じてサマータイムを設定します。「サマータイム」で「切」か「入(●:)」を選びます。



5

日付時刻表示エリアで▶ボタンかOKボタンを押すと、日付／時刻が設定できます。



6

◀ボタンで各項目を選び、◆ボタンで設定します。

7

OKボタンを押して確定します。変更しない場合は、MENUボタンを押します。

ご注意!!

- カメラの内蔵時計は、カメラ動作用バッテリーから内蔵の充電池に充電された電気で動いています。長期間カメラにバッテリーが入っていない状態で、充電がされていない場合は、内蔵時計を再設定する必要があります。
- 時刻を設定した後に「サマータイム」を変更すると、設定された時間が1時間シフトします。

年月日の順序を変えるには

日付表示は、年月日、月日年、日月年の3種類から選べます。
「日付設定」で、希望の表示順序を選びます。

24時間表示 / 12時間表示(AM/PM)を切り替えるには

「時間設定」で、希望の表示方法を選びます。

バッテリーのチェック

液晶モニターの左上に電池の残量を示すアイコンが表示されます。カメラの使用前及び使用中は、常に電池アイコンをチェックするよう心がけてください。



(緑色)	電池の残量が殆どなく、まもなくカメラが作動しなくなります。満充電の電池と交換、または電池を充電してください。
(赤色)	電池の残量がなく、カメラが作動しません。満充電の電池と交換、または電池を充電してください。
(AC)	家庭用電源、もしくは外部バッテリーで作動しています。

ご注意!!

- SSD 等の USB ストレージを装着すると、電池の消費が増えるため、電池残量の表示が変化します。

タッチ操作について

一部の機能でタッチパネルでの操作が可能です。

タッチ操作の言葉の意味は以下のようになります。

タップ	触れて離す
ダブルタップ	短時間で2回触れて離す
ドラッグ	触れたまま動かす
フリック	動かしながら離す
ピンチアウト	2本指で広げる
ピンチイン	2本指で縮める

- タッチパネルの設定については、「タッチ操作」（P.151）をご参照ください。

CINE/STILL スイッチについて

本機は、静止画と動画の撮影ができます。CINE/STILL スイッチのポジションによって、それぞれの撮影に特化したカメラとして使えます。



静止画を撮影したい場合は「STILL」(STILL モード)、動画を撮影したい場合は「CINE」(CINE モード) にします。

セットアップメニュー

カメラ操作の基本となるセットアップメニューについて説明します。セットアップメニュー画面から、カメラのこまかい機能や、カメラの基本状態を設定することができます。

- CINE/STILL スイッチのポジションによって、セットアップメニューの内容も切り替わります。

クロップズーム設定	× 1.00
静止画記録設定 (STILL)	… >
アスペクト比 (STILL)	3:2

静止画専用の項目、静止画専用のオプション、静止画専用のオプションが含まれる項目には、「**STILL**」アイコンが表示されます。

クロップズーム設定	× 1.00
映像記録設定 (CINE)	… >
オーディオ記録 (CINE)	入

動画専用の項目、動画専用のオプション、動画専用のオプションが含まれる項目には、「**CINE**」アイコンが表示されます。

- 本書では、静止画専用の項目・オプションに (**STILL**)、動画専用の項目・オプションに (**CINE**) と記しています。
- 同じ項目でも「**STILL**」と「**CINE**」で独立して設定できるものもあります（本書では、独立して設定できる項目に (**CINE/STILL**) と表示しています）。CINE/STILL スイッチで希望のモードを選んでから設定します。

セットアップメニューを開く

本体背面の **MENU** ボタンを押します。

再度 **MENU** ボタンを押すと、セットアップメニューが閉じます。

タブエリア



他のページに移動する

前ダイヤルを回すごとに、隣のページに移動できます。

(タブエリアが選択されているときは、**<>**ボタンを押しても移動できます。)

セットアップメニューでは：

◆ ボタンか後ダイヤルで、希望の項目を選択します。

▶ ボタンか **OK** ボタンでサブメニューが開きます。

項目によっては、専用画面が開くもの、確認メッセージが表示されるもの、2階層目の項目が表示されるものがあります。



サブメニューでは：

◆ ボタンか後ダイヤルで希望のオプションを選択します。

▶ ボタンか **OK** ボタンで確定します。

(**<**ボタンか**MENU**ボタンを押すと、変更なしでサブメニューが閉じます。)



2階層目の項目を、さらにページ分けしている場合があります。**<>**ボタンか前ダイヤルでページを移動できます。ページから抜けたい場合は **MENU** ボタンを押します。

セットアップメニューは以下の3つのグループに分類されています。



📷 / 🎥 SHOOT (撮影設定) (青タブ)

撮影機能を設定します。撮影モード時に MENU ボタンを押すと、CINE/STILL スイッチが「STILL」のときは「📷 SHOOT」、 「CINE」のときは「🎥 SHOOT」メニューが開きます。



▶ PLAY (再生設定) (赤タブ)

再生機能を設定します。再生モード中に MENU ボタンを押すと、「▶ PLAY」メニューが開きます。



🔍 SYSTEM (カメラ設定) (黄色タブ)

カメラの基本状態を設定します。MENU ボタンを押してセットアップメニューを開き、前後ダイヤルを回して「🔍 SYSTEM」メニューに移動します。

メモ

- カメラの状態によって、設定することができない項目やオプションは、グレーで表示されます。
- 「📷 / 🎥 SHOOT」のグレー表示されている項目やオプション上で ➤ ボタンか OK ボタンを押すと、設定できない原因が一覧表示されます。表示内容を参考にしてカメラの設定を見直してください。

メニューリスト

各項目の詳細は、各該当ページをご覧ください。

* C = CINE モード、S = STILL モード

SHOT(1)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
露出設定	撮影モード	<input type="radio"/>		45
	シャッタースピード	<input type="radio"/>		47,48
	シャッターアングル	<input type="radio"/>	-	47,48
	シャッターモード	<input type="radio"/>	-	45
	絞り	<input type="radio"/>		46,48
	露出補正	<input type="radio"/>		87
ISO 感度設定	ISO 感度	<input type="radio"/>		68
	ISO 感度ステップ	<input type="radio"/>		69
	ISO 感度拡張	<input type="radio"/>		69
	ISO オート設定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	70
測光モード	-	<input type="radio"/>		87
ライブモード	-	-	<input type="radio"/>	64
ブラケット撮影	露出	-	<input type="radio"/>	100,101
	フォーカス	-	<input type="radio"/>	100,102
	ホワイトバランス	-	<input type="radio"/>	100,103
	カラーモード	-	<input type="radio"/>	100,104
	Fill Light	-	<input type="radio"/>	100,105
HDR	-	<input type="radio"/>		105

SHOT(2)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
クロップズーム設定	クロップズーム	<input type="radio"/>		80
	ズームステップ	<input type="radio"/>		81
	ズーム下限	<input type="radio"/>		81
	ズーム上限	<input type="radio"/>		81
静止画記録設定	画質	-	<input type="radio"/>	71
	DNG 品質	-	<input type="radio"/>	72
	画像サイズ	-	<input type="radio"/>	72
アスペクト比	-	-	<input type="radio"/>	73

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
映像記録設定	フォーマット	<input type="radio"/>	-	76
	記録ピット数 (CinemaDNG)	<input type="radio"/>	-	76
	圧縮方式 (MOV)	<input type="radio"/>	-	77
	解像度	<input type="radio"/>	-	77
	フレームレート	<input type="radio"/>	-	77
オーディオ記録	-	<input type="radio"/>	-	86

SHOT(3)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
ホワイトバランス	-	<input type="radio"/>		89
カラー設定	カラーモード	-	<input type="radio"/>	93
	カラースペース	-	<input type="radio"/>	114
カラーモード	-	<input type="radio"/>	-	93
トーンコントロール	-	<input type="radio"/>		96
Fill Light	-	-	<input type="radio"/>	97
レンズ光学補正	歪曲	<input type="radio"/>		98
	倍率色収差	<input type="radio"/>		98
	回折	<input type="radio"/>		98
	周辺光量	<input type="radio"/>		98
	カラーシェーディング	<input type="radio"/>		98

SHOT(4)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
フォーカス	フォーカスマード	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	52
	フォーカスエリア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	54
	AF+MF	<input type="radio"/>		56
	プリ AF	-	<input type="radio"/>	57
	常時 AF	<input type="radio"/>	-	57
	顔／瞳優先 AF	<input type="radio"/>		57
	フォーカスリミッター	<input type="radio"/>		58
	拡大中 AF	<input type="radio"/>		59
	AF 拡大	<input type="radio"/>		58
	フォーカス優先／レリーズ優先	-	<input type="radio"/>	60
	MF 拡大	<input type="radio"/>		60
	MF 表示	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	61

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
フォーカス	フォーカスピーキング	○		62
	フォーカスリング制御	○		62
	ダイレクトフォーカスフレーム移動	○		63
手ブレ補正	レンズ内光学式手ブレ補正	○		67
	電子式手ブレ補正	○	-	68
レンズ機能設定	フォーカスマード	○	○	52
	フォーカスリミッター	○		58
	フォーカスリング制御	○		62
	光学式手ブレ補正	○		67
	AFL ボタンの機能	○		114
フラッシュ	調光補正	-	○	113
	赤目発光	-	○	112
	後幕シンクロ	-	○	112
	スローシンクロ	-	○	112
	AF 補助光	-	○	113

SHOOT(5)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
撮影タイミング表示	-	-	○	115
撮影画像確認	-	-	○	42
ライブビュー設定	フレームの表示	-	○	74
	M モード時モニター露出反映	-	○	48
フレームガイド	-	○	-	115
ディレクターズ ビューファインダー	-	○	-	83
輝度レベルモニター	-	○	○	49
ゼブラパターン	-	○		49
フォルスカラー	スタイル	○		50

SHOOT(6)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
ダイヤル設定	ダイヤル機能	○		117
	操作方向の反転	○		118
	ダイヤル操作の禁止	○	-	118

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
カスタムボタンの機能	-		○	118
シャッターボタンの設定	シャッターボタンの機能	○	-	119
	半押し AEL	-	○	119
	半押し AF-ON	○		119
REC ボタンの機能	-	-	○	119

▶ PLAY(1)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
再生表示フィルター	-		○	129
ロック	-		○	129
マーク	-		○	131
回転	-	-	○	133
消去	-		○	126
スライドショー	-		○	134

▶ PLAY(2)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
DNG 現像	-		○	135
シネマグラフ	-		○	136
露出警告	-		○	140
回転表示	-		○	141
AEL ボタンの機能	-		○	141

🔧 SYSTEM(1)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
記録メディアの初期化	-		○	42,142
記録メディア	-		○	142
ファイル名 / 番号	-	○	○	142
著作権情報	-		○	144
タイムコード	-	○	-	146

SYSTEM(2)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
STILL / CINE 連動設定	露出	○		147
	撮影スタイル	○	-	43,148
カスタムモードの登録	-	○		106
QS カスタム	-	○	○	37
REC モード設定	-	○	○	148
ロック中の動作	-	○		111
タッチ操作	-	○		27,151

SYSTEM(3)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
電子音	-	○		153
水準器調整	-	○		153
ピクセルリフレッシュ	-	○		153
LCD 設定	-	○		154
パワーセーブ	LCD オフ	○		154
	オートパワーオフ	○		154
	ECO モード	○		154

SYSTEM(4)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
HDMI 出力	-	○	○	155
USB モード	-	○		156
ケーブルレリーズ設定	-	○	○	157
EVF 設定	-	○		157

SYSTEM(5)

項目	項目（2階層目）	C	S	ページ
日付 / 時刻 / エリア	-	○		25
言語 / Language	-	○		24
情報	-	○		158
ファームウェアの更新	-	○		158
設定の保存 / 読込 	-	○		108
設定のリセット	-	○		159

QS メニュー

撮影時に頻繁に使う以下の項目は、**QS** ボタンを押すことにより、簡単に設定することができます。

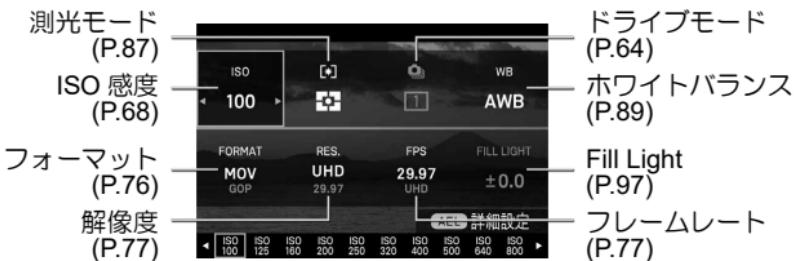
STILL モード時



CINE モード (CINE スタイル) 時



CINE モード (STILL ライクスタイル) 時



例えば、画質を DNG に変更したい場合



1

QS ボタンを押して、QS メニューを表示させます。

2

ボタンを押して、画質の項目 (■) を選択します。

3

前後ダイヤルを回して「DNG」を表示させます。

4

OK ボタンを押すか、シャッター ボタンを半押しして、撮影状態に戻ります。

メモ

項目、オプションによっては、より細かな設定ができる場合があります。その場合は「**AEL 詳細設定**」と表示されますので、必要に応じて、AEL ボタンを押して設定してください。

ご注意!!

- 設定できない項目はグレーで表示され、ダイヤルを回してもオプションを変更できません。

QS メニューに割り当てる項目を変更することができます。

(CINE/STILL)

「 SYSTEM」→「QS カスタム」



1

「QS カスタム」画面で ボタンを押して、割り当てを変更したいポジションを選び、OK ボタンを押して確定します。

2

画面下部のリストから、割り当てたい項目を ボタンを押して選び、OK ボタンを押して確定します。

3

一通り割当てたい項目の設定が完了したら、MENU ボタンを押して、「QS カスタム」画面を閉じます。

- 割り当てできる項目は次の通りです。

* C = CINE モード、S = STILL モード

項目	C	S
撮影モード	○	○
シャッタースピード / シャッターアングル※1	○	○
絞り	○	○
露出補正	○	○
ISO 感度	○	○
測光モード	○	○
ドライブモード	○※3	○
露出 BKT ずらし量	○※3	○
フォーカス BKT ずらし量	○※3	○
ホワイトバランス BKT ずらし量	○※3	○
カラーモード BKT	○※3	○
Fill Light BKT ずらし量	○※3	○
HDR	○	○
クロップズーム	○	○
画質/フォーマット※2	○	○
画像サイズ/解像度※2	○	○
アスペクト比 / フレームレート※2	○	○
オーディオ記録	○	-
オーディオゲイン調整	○	-
ホワイトバランス	○	○
WB 色温度	○	○

項目	C	S
カラーモード	○	○
カラーモード効果量	○	○
トーンコントロール	○	○
Fill Light	-	○
カラーシェーディング補正	○	○
フォーカスモード	○	○
フォーカスエリア	○	○
プリ AF / 常時 AF※2	○	○
顔/瞳優先 AF	○	○
フォーカスリミッター	○	○
フォーカスピーキング	○	○
光学式手ブレ補正	○	○
電子式手ブレ補正	○	-
調光補正	○※3	○
赤目発光	○※3	○
後幕シンクロ	○※3	○
スローシンクロ	○※3	○
ティレクターズビューファインダー	○	-
タイムコード	○	-
ロック	○	○
LCD の明るさ	○	○
ヘッドホン音量	○	-

※1 シャッターモード (P.45) の設定によって切り替わります。

※2 CINE/STILL モード (P.28) の設定によって切り替わります。

※3 静止画専用の機能ですが、撮影スタイル「STILL ライク」時は CINE モードでも割り当てのみ可能です。

表示モードを切り替える

□ボタンを押すと、液晶モニターの表示を切り替えることができます。

STILL モード時



CINE モード (CINE スタイル) 時



CINE モード (STILL ライクスタイル) 時



- 各アイコンの意味は、P.16 「撮影時のモニター表示」を参照してください。
- 表示させたい情報をカスタマイズすることができます (P.148)。
- 文字やアイコンの大きさを変更することができます (P.148)。

(再生モード)



アイコン表示
(撮影日時表示)
(P.120)



アイコン表示
(撮影データ表示
※1) (P.120)



1/3 画像情報表示
(撮影データ表示
※1) (P.122)



アイコン非表示



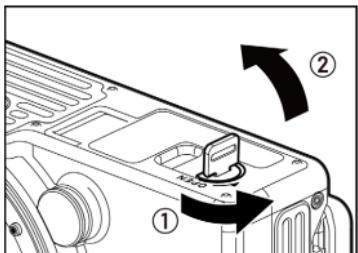
2/3 画像情報表示
(レンズ光学補正表
示) (P.122)



3/3 画像情報表示
(著作権情報表示)
(P.122)

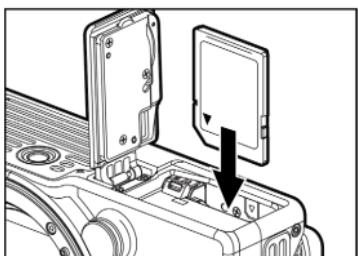
※1 シネマグラフの再生時は、編集時の露出補正值と再生速度が表示さ
れます。

カードの入れ方



1

電源スイッチが OFF になっているのを確認し、バッテリー／SD カードカバー開閉つまみを回して、カバーを開けます。



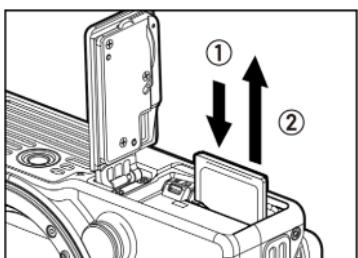
2

表示に従ってカードを入れます。

- カチッと音がするまでカードを押し込んでください。

3

ふたを閉じ、バッテリー／SD カードカバー開閉つまみを回してロックします。



カードの取り出し方

カードをカチッと音がするまで押し込み、まっすぐ引き抜いてください。

警告!!

- アクセスランプが点灯・点滅しているときは、絶対にバッテリーやカードを取り出さないでください。書き込み中のデータが失われます。また、カードが損傷する場合があります。

メモ

- 電源を OFF にしても、カードへのアクセスが終了するまでは、アクセスランプが点灯・点滅し、電源が切れません。

カードの初期化

本機で撮影する前に、カードを初期化してください。また、カードエラーで撮影できない場合も初期化してください。

「 SYSTEM」→「記録メディアの初期化」→「SD カード」

「SD カードの初期化」画面で <> ボタンを押し、「はい」を選び OK ボタンを押します。

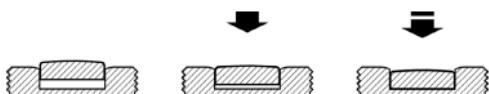
中止したい場合は「いいえ」を選び OK ボタンを押します。

警告!!

- 初期化はロックされた画像とそれ以外のファイルもすべて消去します。

シャッターボタンの押し方

軽く押して止まるところ（半押し）で、露出とフォーカス機能が作動します。さらに押し込むと（全押し）撮影されます。



撮影した画像を確認する

撮影後に表示される画像の表示時間を変更できます。

「 SHOOT」→「撮影画像確認」

切	表示しません
2 秒（初期設定）	5 秒
	10 秒

ご注意!!

- 撮影画像確認画面では、拡大表示、他の画像への切りかえはできません。

撮影する

写真を撮る

写真を撮るための大まかな順序は以下の通りです。

CINE/STILL スイッチを「STILL」にする。

画質、画像サイズなどの画像の設定をする（P.71）

ISO 感度を設定する（P.68）

露出を決める（P.45）

ピントを合わせる（P.52）

シャッターボタンを押しこんで撮影

- その他の設定は、各該当ページをご残照ください。

動画を撮る

動画を撮るための大まかな順序は以下の通りです。

CINE/STILL スイッチを「CINE」にする。

撮影のスタイルを決める

設定方法や撮影時のモニター表示などを、使い慣れたカメラのスタイルに合わせることができます。

「 SYSTEM」→「STILL / CINE 連動設定」→「撮影スタイル」

CINE	シネマカメラに準じた設定方法、表示をします。
STILL ライク	スチルカメラに準じた設定方法、表示をします。

記録フォーマット、解像度、フレームレートなどの映像記録の設定をする（P.76）

ISO 感度を設定する (P.68)

露出を決める (P.45)

ピントを合わせる (P.52)

シャッターボタン、もしくは REC ボタンを押して撮影スタート

動画撮影中は…

CINE	REC ランプ：点灯、記録動作表示：●REC
STILL ライク	REC ランプ：点灯、REC 表示：●（赤）

再度 REC ボタンを押して撮影ストップ

動画撮影がストップすると…

CINE	REC ランプ：消灯、記録動作表示：●STBY
STILL ライク	REC ランプ：消灯、REC 表示：消灯

- その他の設定は、各該当ページをご残照ください。

ご注意!!

- REC ボタンでは AF は作動しません。常時 AF (P.57) が「切」の場合は、シャッターボタンの半押し等で AF を作動させてください。
- メディアに十分な空き容量があっても、1 回の動画撮影時間は、最長 2 時間に制限されます。

メモ

STILL モード中でも REC ボタンで動画を撮影することができます。

- REC ボタンの機能を「REC」に設定してください。

「 SHOOT」→「REC ボタンの機能」→「REC」

- 動画は、セットアップメニューの「映像記録設定」(P.76) で設定された状態で記録されます。

CINE モード中でもレリーズボタンで写真を撮ることができます。

- シャッターボタンの機能を「シャッター」に設定してください。

「 SHOOT」→「シャッターボタンの機能」→「シャッター」

- 静止画の画質は、JPEG (FINE)で記録されます。
- 静止画の画像サイズは、「映像記録設定」(P.76) の解像度の設定で変わります。

解像度	UHD 時	3840x2160
	FHD 時	1920x1080

露出のモードを選ぶ

露出を決める4つのモードの特徴と操作方法を説明します。

P	プログラムオート	S	シャッタースピード優先オート※
A	絞り優先オート	M	マニュアル露出

※「 SHOOT」→「シャッターモード」→「アングル」に設定されると、CINEスタイル時は「シャッターアングル優先オート」と表示されます。

ご注意!!

- 本章では「 / SHOOT」メニューの「ダイヤル設定」が、初期設定の状態を前提に説明しています。説明文と実際の操作方法が異なる場合は、「ダイヤル設定」(P.117) の項目をご覧ください。

露出モードの選び方

1

MODEボタンを押します。

2

前後ダイヤル、または $\langle \rangle$ ボタンを押して、希望の露出モードを選択します。

3

OKボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しして確定します。

- 「 / SHOOT」→「露出設定」→「撮影モード」からも設定できます。

P プログラムオート

気軽な撮影にはこのモードを選択します。被写体の明るさに応じて、カメラがシャッタースピード（アングル）と絞りを決定します。

ご注意!!

- マークが点灯したときは、シャッタースピードが遅くなり、手ぶれをおこす可能性があります。ISO 感度（P.68）を上げるか、三脚等に固定して撮影してください。
- 明るすぎたり暗すぎる場合、シャッタースピードと絞り値表示が点滅します。ISO 感度（P.68）を下げてください。

プログラムシフト *P

(STILL)

カメラが選んだシャッタースピードと絞りの組み合わせを同じ露出を保ったままを変更できます。前ダイヤルで調整してください。

A 絞り優先オート

希望の絞りをセットします。被写体の明るさに応じてカメラがシャッタースピード（アングル）を決定します。

- 前ダイヤルで絞りをセットします。

ご注意!!

- マークが点灯したときは、シャッタースピードが遅くなり、手ぶれをおこす可能性があります。ISO 感度（P.68）を上げるか、三脚等に固定して撮影してください。
- 明るすぎたり暗すぎる場合、シャッタースピード表示が点滅します。点滅が消えるように絞りを調整してください。

CINE モード（CINE スタイル）では…

- 絞りは QS メニュー、または「 SHOOT」→「露出設定」からセットします。
- QS メニューでは、絞りの選択中に ボタンを押す、「 SHOOT」からは絞り値を「オート」にセットすると、P モードに切り替ります。

S シャッタースピード（アングル）優先オート

希望のシャッタースピード（アングル）をセットします。被写体の明るさに応じてカメラが絞りを決定します。

- 前ダイヤルでシャッタースピードをセットします。

ご注意!!

- 明るすぎたり暗すぎる場合、絞り値表示が点滅します。点滅が消えるようにシャッタースピードを調整してください。

CINE モード（CINE スタイル）では…

- シャッターアングル（スピード）は QS メニュー、または「 SHOOT」→「露出設定」からセットします。
- QS メニューでは、シャッターの選択中に |□| ボタンを押す、「 SHOOT」からはシャッターアングル（スピード）を「オート」にセットすると、P モードに切り替ります。

M マニュアル露出

自分でシャッタースピード（アングル）と絞りをセットします。

前ダイヤルをで絞りをセットし、露出メーターの数値が **0.0** になるように、後ダイヤルでシャッタースピード（アングル）をセットします。

- 露出メーターの表示は 1/3 段ステップで ±5 段まで表示されます。表示範囲を超えた場合、露出メーターの数字が点滅表示されます。

ISO 感度（P.68）を「ISO オート」にセットした場合

被写体の明るさに応じてカメラが ISO 感度を変化させる自動露出撮影が行われます。

ご注意!!

- 明るすぎたり暗すぎる場合、ISO 表示が点滅します。点滅が消えるようにシャッタースピード（アングル）か絞りを調整してください。

CINE モード（CINE スタイル）では…

- シャッターアングル（スピード）と絞りは QS メニュー、または「 SHOOT」→「露出設定」からセットします。

- QS メニューでは、絞りの選択中に  ボタンを押すと **S** モード、シャッターの選択中に  ボタンを押すと **A** モードに切り替ります。
- 「 SHOOT」からは絞り値を「オート」にセットすると **S** モード、シャッターアングル（スピード）を「オート」にセットすると **A** モードに切り替ります。

メモ

絞りリング付の L マウントレンズをご使用の場合

絞り優先オート、およびマニュアル露出モードでは、レンズの絞りリングで絞り値を設定できます。カメラのメニュー やダイヤルで絞り値を設定したい場合は、絞りリングを A ポジションにセットしてください。

シャッターアングルについて（CINE モード（CINE スタイル）時）

シネマカメラでは、シャッターにおける露光時間の単位として、シャッターアングル（角度）が一般的に用いられています。例えば、360°は 1 フレームあたり 100% の露光時間、180°は 50% の露光時間を与えることを意味します。

CINE モード（CINE スタイル）でのダイヤル操作

通常、CINE モード（CINE スタイル）時は、ダイヤルによる露出操作を禁止していますが、許可することができます。

「 SHOOT」 → 「ダイヤル設定」 → 「ダイヤル操作の禁止」 → 「切」

M モード時の LCD モニター表示について

（STILL） 露出モードが M のときは、実際の露出が画面に反映されますが、ピントや構図の確認が困難な場合、画面の明るさを調整するモードに切り替えることができます。

「 SHOOT」 → 「ライブビュー設定」 → 「M モード時モニター露出反映」

切	見やすい明るさに自動調整されます。
入（初期設定）	実際の露出が反映されます。

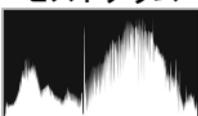
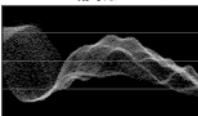
- エレクトロニックフラッシュ EF-630 (FOR SIGMA)を使用する場合は、「入」に設定していても、見やすい明るさに自動調整されます。

輝度レベルモニター

(CINE/STILL)

撮影時に露出を判断する手段として、2種類の輝度レベル表示から選択できます。

「 SHOOT」 → 「輝度レベルモニター」

 ヒストグラム	ヒストグラムの詳細は(P.125)をご参照ください。
 波形	横軸は画面の横方向の位置を示し、縦軸は輝度レベル(下端:0、上端:255)を示します。ヒストグラムとは違い、その位置における輝度値の状態の把握が容易になります。

- 輝度レベルモニターの表示の有無は、 (ディスプレイ) モード設定(P.148) の「輝度レベルモニター」から設定できます。また、カスタムボタンに割り当てることもできます(P.118)。
- CINE モード(CINE スタイル)では、ヒストグラム、波形とも、2通りのサイズ(標準 / 大)から選べます。

ゼブラパターン



白飛びしそうな部分や、指定された明るさの範囲をゼブラパターンで表示します。

「 SHOOT」 → 「ゼブラパターン」
→ 「ゼブラ表示」

ハイライト	任意の輝度値を基準として、それ以上の輝度値の範囲をゼブラパターンで示します。
露出レベル	任意の輝度値を基準として、任意のパーセンテージの範囲をゼブラパターンで示します。

「ハイライト表示」の設定オプション：

ハイライトレベル	70 ~ 100%（輝度値:約 178 ~ 255）
表示色	白 / 黒 / 赤 / 黄色 / 青 / 緑

「露出レベルの表示」の設定オプション：

露出レベル	0 ~ 100%（輝度値:約 0 ~ 255）
範囲	±5 ~ 30%
表示色	白 / 黒 / 赤 / 黄色 / 青 / 緑

- ゼブラパターンの表示の有無は、ディスプレイモード（P.148）の「ゼブラパターン」から設定できます。また、カスタムボタンに割り当てることもできます（P.118）。

フォルスカラー

画面内の露出の状況が色分け表示され、任意の部分の露出の状況を把握することができます。「フォルスカラー」と「EL ZONE」のふたつの方式を準備しています。

- フォルスカラーの機能を使用するには、カスタムボタンに機能を割り当てる必要があります。「カスタムボタンの機能」（P.118）より、任意のカスタムボタンに「フォルスカラー」を割り当てください。
- ボタンを押す間のみフォルスカラー（もしくは EL ZONE）表示になります。

「 /  SHOOT」 → 「フォルスカラー」 → 「スタイル」

フォルスカラー（初期設定）	EL ZONE
---------------	---------

フォルスカラー

表示色の意味は次のようにになります。紫色側は露出アンダー、赤側は露出オーバーを示します。

紫	0 ~ 2.5%	ほぼ黒つぶれする部分
青	2.5% ~	黒つぶれしそうな部分
緑	18% GRAY	ほぼ適正露出（18%グレー）の部分
ピンク	18% GRAY+1STOP	適正露出に対しても+1EV の部分
黄色	~ 99%	白飛びしそうな部分
赤	99 ~ 100%	ほぼ白飛びする部分

EL ZONE

ほぼ適正露出の部分をグレー(0)、黒は露出アンダー(-6EV)、白は露出オーバー(+6EV)を示し、1EVごとに各色で示しています。EV値と各色の関係は、セットアップメニュー「**EL ZONE**」のカラーバーを参照してください。

ご注意!!

- 静止画、映像、ISO 感度などの設定を変更すると、同じ露出条件下でも表示される色が変わります。
- **EL ZONE** で表示される色の範囲は、静止画、映像、ISO 感度などの設定によって変わります。
- 動画撮影中は使用できません。
- 以下の機能、および設定は併用できません。

HDR撮影、Fill Light、Fill Light BKT、バルブ撮影

ディレクターズビューファインダー、HDMI出力：記録映像出力

バルブ撮影

(STILL)

シャッターボタンを押している間、シャッターが開き続けます。

1

露出モードを **M** にセットします。

2

後ダイヤルを回しシャッタースピード表示部に **BULB** を表示させます。

3

前ダイヤルを回して絞りを選びます。

4

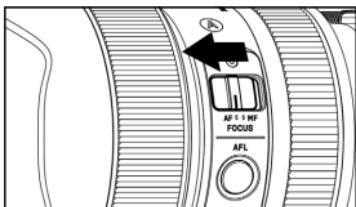
希望の時間に達するまでシャッターボタンを押し続けます。

ご注意!!

- バルブ撮影での露光可能な時間は 5 分までです。シャッターボタンを押したままで、5 分経つと自動的にシャッターが閉じます。
- 長時間の露光では、ノイズが増える場合があります。
- ISO オート時は、バルブ撮影できません。

ピントを合わせる

オートフォーカスによるピント合わせ



1 レンズにフォーカスモード切換えスイッチがある場合はスイッチを AF にします。



2 カメラのフォーカスモードを AF **S** にします（P.52）。（CINE モードでは、AF にします。）



3

多点測距エリアフレーム内に被写体を入れ、シャッターボタンを半押しします。

- ピントが合った位置のフォーカスフレームが緑色で表示され、合焦表示が点灯し、合焦音が鳴ります。（CINE モードでは、合焦音は鳴りません。）
- ピントが合わない場合、多点測距エリアフレームが点滅します。

ご注意!!

- CINE モード（CINE スタイル）時は、シャッターボタンの半押し中のみ多点測距エリアフレーム・フォーカスフレームが表示されます。

フォーカスマードの設定

被写体によって、フォーカスマードを選択できます。

FOCUS ボタンを押して、前後ダイヤル、または <> ボタンで選択します。

「 SHOOT」 → 「フォーカス」 → 「フォーカスマード」からも設定できます。

「 / SHOOT」→「レンズ機能設定」→「フォーカスマード」からも設定できます。

設定後は、OKボタン押す、またはシャッターボタンを半押しして確定します。

<p>AF S シングルAF (初期設定)</p>	<p>(STILL) 静止している被写体向きです。 ピントが合うと、シャッター<button>ボタン</button>を半押ししている間、ピントが固定されます。ピントを固定したまま、構図を変えて撮影することができます（フォーカスロック撮影※）。</p> <ul style="list-style-type: none">● 露出はシャッター<button>ボタン</button>を半押ししたときの値が固定されます。● 連続撮影の場合は、1コマ目の固定されたピント位置で撮影されます。
<p>AF C コンティニュアスAF</p>	<p>(STILL) 動いている被写体向きです。 シャッター<button>ボタン</button>を半押ししている間オートフォーカスが駆動し続けます。ピントが合うと合焦表示が行われますが、フォーカスはロックされません。</p> <ul style="list-style-type: none">● 露出はシャッター<button>ボタン</button>を押し込んだときの値で撮影されます。● 連続撮影の場合は、オートフォーカス駆動と撮影が繰り返されます。● 被写体の条件によっては、合焦精度が落ちる場合があります。● 合焦音は鳴りません。● 拡大表示はできません。
<p>MF マニュアル フォーカス</p>	<p>手動でピントを合わせます。 被写体がはっきり見えるようにフォーカスリングを回します。</p>

※フォーカスロックの機能を割り当てた AEL ボタンで、フォーカスロック撮影することもできます（P.88）。

フォーカスフレームの設定

フォーカスフレームのサイズや位置、動作の仕方を変更できます。

■ボタンを押して、前後ダイヤル、または <> ボタンで選択します。

「 / SHOOT」→「フォーカス」→「フォーカスエリア」からも設定できます。

設定後は、OK ボタンか押す、またはシャッターボタンを半押しして確定します。

AUTO	多点オート (初期設定)
	1点 (1点選択) 追尾

多点オート

最大 49 点のフォーカスフレームでピントを合わせます。被写体が中央にならない場合に有効です。



AEL ボタンを押して、前後ダイヤルを回すと測距エリアの範囲を変更できます（多点測距エリアフレームのサイズが変わります）。



測距エリアの範囲を狭くしているときは、<> ボタンで多点測距エリアフレームの位置を移動できます。

- タッチ操作（タップ、ドラッグ）でも多点測距エリアフレームの位置を移動できます。
- MODE ボタンを押すと、多点測距エリアフレームを中央に戻せます。

1点（1点選択）

任意の位置のフォーカスフレームでピントを合わせます。被写体の位置が定まっている場合に有効です。

49点選択モード



自由移動モード



フォーカスフレーム移動エリア

- **AEL** ボタンを押すたびに、「49点選択モード」と「自由移動モード」が切り替わります。
- 「49点選択モード」時は、**◇△**ボタンで任意のフォーカスフレームを選択します。
- 「自由移動モード」時は、**◇△**ボタンで任意の位置にフォーカスフレームを移動します（フォーカスフレーム移動エリアの範囲内で移動できます）。
- 前後ダイヤルを回すと、フォーカスフレームのサイズ（L、M、S）を変更できます。
- タッチ操作（タップ、ドラッグ）でもフォーカスフレームを移動できます。
- 拡大表示中も **◇△**ボタンでフォーカスフレームを移動できます。
- **MODE** ボタンを押すと、フォーカスフレームを中央に戻せます。

追尾



(STILL)

フォーカスロックされた被写体を自動的に追い続けます。

- AF-C モード時のみ設定できます。



フォーカスフレームに被写体を合わせ、シャッターボタンを半押しします。

2

合焦し、フォーカスロックされるとフレームが緑色に変わり、被写体が移動すると移動した個所のフォーカスフレームが表示されます。

- 追尾が中断すると、フォーカスフレームが最初の位置に戻ります。

ご注意!!

- 以下のときは追尾できない場合があります。
 - ・動きが早すぎる被写体
 - ・被写体が小さすぎる、または大きすぎる
 - ・明るさが変わるシーン
 - ・暗いシーン

マニュアルフォーカスによるピント合わせ

1

レンズにフォーカスマード切換えスイッチがある場合は、スイッチを **MF** にします。(レンズにフォーカスマード切換えスイッチが無い場合はカメラのフォーカスマードを **MF** 「マニュアルフォーカス」にします(P.52 参照))。

2

被写体がはっきり見えるようにレンズのフォーカスリングを回してピントを合わせます。

その他のフォーカス設定

AF+MF

オートフォーカスでピントを合わせた後、マニュアルでピントの微調整ができます。

「 /  SHOOT」 → 「フォーカス」 → 「**AF+MF**」 → 「入」

シャッターボタンを半押し、合焦後、シャッターボタンを半押ししたままフォーカスリングを回してピント調整してください。

ご注意!!

マウントコンバーターMC-21 を介して、マニュアルでの微調整可能なレンズを装着した場合、「切」でも常に微調整が可能な状態になります。

プリ AF

(STILL)

シャッターボタンを半押しする前から AF が動作します。

「 SHOOT」→「フォーカス」→「プリ AF」→「入」

常時 AF

(CINE)

動画の記録前から AF が動作し、動画の記録中も AF が動作し続けます。

「 SHOOT」→「フォーカス」→「常時 AF」→「入」

顔/瞳優先 AF

人物の顔、または瞳を優先的にピント合わせます。

⋮ボタン → AEL ボタンを押し、|□|ボタンを押すごとに顔/瞳優先 AF の切り替えができます。

または「 SHOOT」→「フォーカス」→「顔/瞳優先 AF」より設定します。

	切（初期設定）	通常の AF モードにします。
	顔のみ	顔を検出すると優先的にピントを合わせます。
	顔/瞳オート	顔を検出すると顔優先、かつ目を検出すると目にピントを合わせます。



顔、目が検出されると、オレンジ色の検出フレームが表示されます。

シャッターボタンを半押しし、検出された顔、目にピントが合うと、検出フレームが緑色に変わります。

- 検出された顔に重点を置いた評価測光に切り替わります。
- 複数人の顔を検出した場合は、一番近いと思われる顔に検出フレームが表示されます。

ご注意!!

- MF 時は、顔/瞳優先 AF にセットできません。
- 以下の状況では、顔、目の検出ができない場合があります。
 - ・サングラス、帽子、前髪などで顔の一部がさえぎられているとき。
 - ・暗い、または逆光のシーン。　・ピントが大きくずれているとき。
 - ・被写体の動きが早いとき。
- 顔を検出できなかった場合は、選択されているフォーカスフレームでピントを合わせます。

フォーカスリミッター

フォーカスの作動範囲を制限して AF の速度を速めます。

「 /  SHOOT」→「フォーカス」→「フォーカスリミッター」

または「 /  SHOOT」→「レンズ機能設定」→「フォーカスリミッター」

切（初期設定）	作動範囲を制限しません。
入	近距離側 
	遠距離側 

9929 □> 近距離側に設定すると  アイコン、遠距離側に設定すると  アイコンが表示されます。



ご注意!!

- 対応レンズのみ設定可能です。詳しくはレンズの説明書を参照してください。

AF 拡大

AF 時の拡大の仕方について設定します。

「 /  SHOOT」→「フォーカス」→「AF 拡大」

拡大表示	拡大表示の範囲を設定します。
自動拡大	合焦時に自動的に拡大するかしないかを設定します。
自動拡大時間	拡大表示している時間を設定します。

拡大表示

全画面	画面いっぱいに拡大表示されます。
PIP	画面中央 25%の範囲に拡大表示されます。

自動拡大

切	自動拡大表示しません。
入	自動拡大表示します。

自動拡大時間

1秒	2秒	5秒
-----------	-----------	-----------

- AF 時は合焦したフォーカスフレームを中心に拡大表示されます。
- 拡大表示中は前後ダイヤルで拡大率（4X、8X）を変えられます。

拡大中 AF



拡大表示中に AF撮影ができます。細かい部分にピント合わせができます。

「 SHOOT」 → 「フォーカス」 → 「拡大中 AF」 → 「入」

「入」にすると、拡大表示の中央に+マークが表示されます。

⑩ ボタンを押し拡大表示にして、+マークに被写体を合わせ、シャッターボタンを半押しします。合焦すると、+マークが緑色に変わりますので、そのまま撮影します。

メモ

- 拡大表示のまま撮影するので、先に構図、フォーカスフレームの位置を決めてください。
- 拡大表示中も <◇> ボタンでフォーカスフレームを移動できます。
- MODE ボタンを押すと、フォーカスフレームを中央に戻せます。

フォーカス優先/レリーズ優先

(STILL)

各 AF モードにおける、シャッターボタンを全押ししたときの動作を変更できます。

「 SHOOT」→「フォーカス」→「フォーカス優先/レリーズ優先」→「AF **S** 時の動作」または「AF **C** 時の動作」より設定します。

レリーズ優先	ピントが合っていない状態でも撮影できます。
フォーカス優先 (初期設定)	ピントが合うまで撮影できません。

- AF **S** 時、ライブモードが連続撮影の場合は、いずれの設定でも 1 コマ目のピント位置で連続撮影されます。

MF 拡大

MF 時の拡大の仕方について設定します。

「 SHOOT」→「フォーカス」→「MF 拡大」

拡大表示	拡大表示の範囲を設定します。
自動拡大	フォーカスリングを回したときに自動的に拡大するかしないかを設定します。
自動拡大時間	拡大表示している時間を設定します。

拡大表示

全画面	画面いっぱいに拡大表示されます。
PIP	画面中央 25% の範囲に拡大表示されます。

自動拡大

切	自動拡大表示しません。
入	自動拡大表示します。

自動拡大時間

1秒	2秒	5秒
----	----	----

- 表示されているフォーカスフレームを中心に拡大表示されます。
- 拡大表示中は前後ダイヤルで拡大率（4X、8X）を変えられます。

OK ボタンによる拡大表示

OK ボタンを押すと拡大表示になります。事前にピントを確認したいとき、自動拡大の設定を「切」にしているときや、自動拡大に対応していないレンズでも拡大表示できます。

- 再度OK ボタンを押すと通常表示に戻ります。
- MF 時はシャッターボタンを半押しすると、拡大表示が一時的に解除されます。
- AEL ボタンに拡大表示機能を割当てできます。
- タッチパネルをダブルタップしても、OK ボタンと同様に拡大表示できます。

MF 表示

(CINE/STILL)

MF 時にピント合わせの目安になるスケールバーを表示できます。

「  SHOOT」 → 「フォーカス」 → 「MF 表示」

切	スケールバーを表示しません。
スケールバー 	遠距離側が左、近距離側が右のスケールバーを表示します。
スケールバー 	近距離側が左、遠距離側が右のスケールバーを表示します。
撮影距離	撮影距離の単位を選択します。 M (メートル)、 FEET (フィート)

ご注意!!

- 対応レンズのみ設定可能です。

フォーカスピーキング

被写体のピントが合った部分の輪郭を強調して表示します。ピントを合わせるときの目安としてご使用ください。ピーキングは被写体によって見やすい色を選択できます。

「 SHOOT」→「フォーカス」→「フォーカスピーキング」

切（初期設定） OFF	白 WH	黒 BK	赤 R	黄色 YE
----------------	---------	---------	--------	----------

ご注意!!

- 「フォーカスピーキング」と「ゼブラパターン」（P.49）は併用できません。どちらも「入」に設定した場合、「ゼブラパターン」が優先されます。

フォーカスリング制御

MF時の、フォーカスリングの回転角度に対するピントの移動量を変更できます。

「 SHOOT」→「フォーカス」→「フォーカスリング制御」

または「 SHOOT」→「レンズ機能設定」→「フォーカスリング制御」

ノンリニア (初期設定)	フォーカスリングの回転速度に応じて、ピントの移動量が変化します。
リニア	フォーカスリングの回転角度に応じ、一定量でピントを移動します。回転角度は「リニア」→「回転角」で設定します。

回転角

90度～720度（30度ピッチ）、および「最大」から設定できます。

- 回転角設定画面に、装着レンズの「実際の動作角度」、「レンズ名」、「設定できる角度の範囲（最小角度/最大角度）」が表示されます。

ご注意!!

- 対応レンズのみ設定可能です。
- 実際の動作角度は、設定した角度に関わらず、そのレンズの最小角度/最大角度の範囲内に制限されます。

ダイレクトフォーカスフレーム移動

◀▶ボタンで直接フォーカスフレーム（多点オート時は多点測距エリアフレーム）を移動できます。

- ◀▶ボタンに機能を割り当てる必要があります。「カスタムボタンの機能」（P.118）をご参照ください。

絞りレビュー

(STILL)

実際の絞り値まで絞り込むことにより、撮影前に被写界深度（ピントが合って見える範囲）を確認することができます。

- カスタムボタンに絞りレビュー機能を割り当てる必要があります。任意のカスタムボタンに「絞りレビュー」を割り当ててください（P.118）。
- ボタンを押している間のみ、絞りレビュー機能が作動します。
- 絞りレビュー機能を割り当てられたボタンは、CINE モード時は機能しません。

タッチAF / タッチシャッター

タッチパネルをタップして、AFを作動させたり、撮影することができます。

「 SYSTEM」→「タッチ操作」→「入」→「タップ」から設定します。

- 「タッチAF」「タッチシャッター」は、フォーカスフレームの移動範囲内で作動します。

タッチ AF

タップしたポイントで、オートフォーカスが作動します。

- フォーカスフレームの設定が「**1 点**」の場合は、フォーカスフレームがタップしたポイントで維持されます。
- フォーカスフレームの設定が「**多点オート**」「**追尾**」の場合は、フォーカス動作後、タップ前の状態に戻ります。
- 「**顔/瞳優先 AF**」設定時は、フォーカス動作後、顔/瞳検出が再開されます。
- マニュアルフォーカス設定時は、タップしたポイントにフォーカスフレームが移動しますが、オートフォーカスは作動しません。

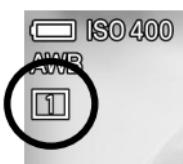
タッチシャッター

(STILL)

タップしたポイントで、オートフォーカスが作動し撮影されます。

- CINE モードでは使用できません。
- 撮影後のフォーカスフレームの動作は、「**タッチ AF**」とほぼ同じです。
- マニュアルフォーカス設定時は、オートフォーカスが作動せず撮影されます。撮影後はタップしたポイントにフォーカスフレームが移動します。

ドライブモード



(STILL)

セルフタイマーや連写など、シャッターボタンを押した時の動作を選択します。

QS メニュー、または「**SHOOT**」→「**ドライブモード**」より設定します。

①	1 コマ撮影（初期設定）	②	セルフタイマー2秒
③H	連続撮影（高速 10 コマ/秒）	④10	セルフタイマー10秒
⑤M	連続撮影（中速 5 コマ/秒）	⑥INT	インターバルタイマー
⑦L	連続撮影（低速 3 コマ/秒）		

1コマ撮影

シャッターボタンを押すと、1枚だけ撮影します。

連続撮影



シャッターボタンを押し続けている間、連続撮影します。

画面右下の数字はバッファー残量を示しています。連続して撮影できる最大枚数が表示されます。（連続撮影可能枚数が9枚を超える場合は9から変化しません。）数字が0になると撮影できません。

ご注意!!

- 以下の機能、および設定は併用できません。

HDR撮影、フォーカスBKT、Fill Light BKT、Fill Light、
コンポジット低ISO拡張で追加されたISO感度、フラッシュ撮影

- 連続撮影時の最大撮影コマ数は、おおむね以下のようになります。

	9.5K	6.2K	4.8K, UHD, FHD
DNG(14bit)+JPEG	12	12	12
DNG(12bit)+JPEG, DNG(14bit), DNG(12bit)	12	28	50
JPEG	14	35	57

セルフタイマー撮影

セルフタイマー2秒

シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影されます。

セルフタイマー10秒

シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。

構図を決め、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。さらにシャッターボタンを押し込むとセルフタイマーが作動します。作動中は電子音が鳴り、2秒前になると電子音が速くなり知らせます。

-  「SYSTEM」→「電子音」→「タイマー音」が「0」に設定されていると、音が鳴りません。
- セルフタイマーを作動中に解除をしたい場合は、電源スイッチを OFF にしてください。

インターバルタイマー撮影

一定の時間間隔で、自動撮影を行うことができます。

1

「インターバルタイマー」を選び、ボタンを押して設定画面を表示させます。（「インターバルタイマー」を選んだ後に、ボタンを押すと、前回の設定値で撮影されます。）

QS メニューからセットする場合は、「」を選び、ボタンを押して設定画面を表示させます。（「」を選んだ後に、ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、前回の設定値で撮影されます。）



2

ボタンで、撮影間隔と撮影回数を設定します。

（撮影間隔は 1 秒～60 分の間で設定できます。撮影回数は 2～99 回、および制限なし (∞) が設定できます。）

3

ボタンで設定を確定し、ボタンを押して撮影状態に戻ります。

4

シャッターボタンを押して、インターバルタイマー撮影を開始します。

- 撮影が開始されると、次のコマが撮影されるまでの時間と、残り枚数が表示されます。
- オートフォーカスで撮影の場合、2 枚目以降も最初の撮影で AF ロックされたピント位置で撮影されます。

- 撮影間隔を短めに設定した場合、撮影画面に戻らないうちに次の撮影が始まる場合があります。
- 露出は撮影のたびに再測光されます。2枚目以降も1枚目と同じ露出で撮影したい場合は、Mモード、またはAEロックボタンにより露出を固定して撮影してください。
- 撮影途中でインターバルタイマーを中止する場合は、シャッターボタンを押します。

ご注意!!

- 以下の機能、および設定は併用できません。

HDR撮影、プラケット撮影、Fill Light、
コンポジット低ISO拡張で追加されたISO感度、フラッシュ撮影

- バッテリー残量により、途中で撮影が中断することがあります。ACアダプターセット(SAC-7P)(別売)のご使用をおすすめします(P.163)。
- インターバルタイマーは、撮影後も解除されずに繰り返し行われます。機能を解除するには、「ドライブモード」で他のモードに切り替えてください。
- 設定条件によっては画像処理に時間がかかり、設定した時間よりも長いインターバルになることがあります。

手ブレ補正

手ブレ補正機能の設定をします。

「 SHOOT」→「手ブレ補正」→「レンズ内光学式手ブレ補正」もしくは「電子式手ブレ補正」(CINE)から、入 / 切 を選びます。

レンズ内光学式手ブレ補正

手ブレ補正機能を搭載したレンズのON/OFFができます。レンズ側に手ブレ補正のスイッチ(OSスイッチ等)がある場合はレンズ側のスイッチを操作してください。

「 SHOOT」→「レンズ機能設定」→「光学式手ブレ補正」からも設定できます。

電子式手ブレ補正

(CINE)

前後の複数フレームを合成しながらブレを軽減した映像を生成します。

ご注意!!

- 電子式手ブレ補正とレンズ内光学式手ブレ補正是併用できません。
- 三脚等でカメラを固定して撮影する際は、電子手ブレ補正を「切」にしてください。
- 電子式手ブレ補正使用時は、クロップズームが働き、ズーム下限が x1.24 に制限されます。
- ISO 感度の選択できる範囲、動作範囲が ISO100～ISO6400 に制限されます。
- 以下の機能、および設定は併用できません。

HDR撮影、コンポジット低ISO拡張で追加されたISO感度、
フォーマット: CinemaDNG、ディレクターズビューファインダー

- 以下のフレームレートでは使用できません。

119.88 fps、100 fps

ISO 感度の設定



撮影時の感度（ISO 感度）を設定できます。

QS メニュー、または「 / SHOOT」→「ISO 感度設定」→「ISO 感度」

ISO Auto (ISO オート) (初期設定)	明るさに応じて自動設定されます。 (ISO 100～6400)
ISO 100～25600	それぞれの感度に固定されます。

ISO 感度の設定ステップを変更できます。

「 SHOOT」→「ISO 感度設定」→「ISO 感度ステップ」

1段

1/3段（初期設定）

ISO 感度拡張

ISO 感度の設定範囲を広げることができます。

「 SHOOT」→「ISO 感度設定」→「ISO 感度拡張」

コンポジット低 ISO 拡張

高 ISO 拡張

それぞれ「入」にすると、拡張感度が追加されます。（追加された感度は、数値の下にアンダーラインが表示されます。）

コンポジット低 ISO 拡張

(STILL)

一回で複数枚の画像を撮影し自動合成、低感度撮影と同等の状態を作り出し、ノイズが低減された階調豊かな写真を撮ることができます。

ISO 6~80

ISO 6, 12, 25, 50

(1段ステップの場合)

それぞれの感度相当の画像が得られます。

ご注意!!

- 被写体の動きが速いときやシャッタースピードが遅いときなどに、画像にズレが生じる場合があります。
- 「ISO Auto」の下限には設定できません。
- ISO6 から ISO80 の間では、設定する ISO 感度によって、シャッタースピードの選択できる範囲、動作範囲が変わります。
- コンポジット低 ISO 拡張で追加された ISO 感度と、以下の機能は併用できません。

連続撮影、インターバル撮影、プラケット撮影、HDR撮影、
Fill Light、電子式手ブレ補正、フラッシュ撮影

高 ISO 拡張

高感度側の ISO 感度を拡張できます。

以下の感度が追加されます。

ISO 32000～102400

ISO 51200, 102400 (1段ステップの場合)

ご注意!!

- 暗いシーンなどで撮影可能になりますが、ノイズが発生しやすく、解像感が弱くなる恐れがあります。

ISO オート設定

(CINE/STILL)

ISO オートにおける ISO 感度の下限、上限、および P、A モード時のシャッタースピード（最大シャッターアングル）の下限を設定できます。

「 SHOOT」→「ISO 感度設定」→「ISO オート設定」

ISO 下限	100～20000 (高 ISO 拡張時: 80000 まで)
ISO 上限	125～25600 (高 ISO 拡張時: 102400 まで)

シャッタースピード下限

オート (より高速)	標準より 2 段速いシャッタースピードに設定される。
オート (高速)	標準より 1 段速いシャッタースピードに設定される。
オート (標準) (初期設定)	おおよそレンズの焦点距離分の 1 秒に設定される。
オート (低速)	標準より 1 段遅いシャッタースピードに設定される。
オート (より低速)	標準より 2 段遅いシャッタースピードに設定される。
1/8000 秒～1 秒	各シャッタースピードに設定される。

- 上記項目、およびオプションは、CINE モード (CINE スタイル/アングル) 設定時では、次のような選択肢になります。

最大シャッターアングル

オート (より小さく)	標準より 2 段狭いシャッターアングルに設定される。
オート (小さく)	標準より 1 段狭いシャッターアングルに設定される。
オート (標準) (初期設定)	基本的に、シャッターアングルが 180°に設定される。
オート (大きく)	標準より 1 段広いシャッターアングルに設定される。
オート (より大きく)	標準より 2 段広いシャッターアングルに設定される。
1.1°～360°※	各シャッターアングルに設定される。

※CINE モードでは、設定できるシャッタースピード(シャッターアングル)が、フレームレートの設定により変わります。

画像の設定

(STILL)

静止画像の画質・画像サイズ・アスペクト比などを設定します。

画質の設定



記録画像の形式や、JPEG 画像の画質を設定します。

QS メニュー、または「 SHOOT」→「静止画記録設定」
→「画質」

DNG+J	DNG+JPEG	DNG (RAW 形式) と FINE (JPEG・高画質) の同時記録
DNG	DNG	DNG (RAW 形式)
FINE	FINE (初期設定)	JPEG・高画質
NORM.	NORMAL	JPEG・標準画質
BASIC	BASIC	JPEG・ファイルサイズ優先

ご注意!!

- DNG+JPEG と DNG は、以下の機能と併用できません。

HDR 撮影

DNG 画像の記録ビット数を設定できます。

QS メニュー、または「 SHOOT」→「静止画記録設定」→「DNG 品質」

12 bit	14 bit (初期設定)
--------	---------------

- 「14 bit」に設定するとより階調が豊かになります。
- DNG (14 bit)の画像は、「画像サイズ」(P.72)と「クロップズーム」(P.80)のズーム倍率が以下の組み合わせでのみ設定可能です。

画像サイズ	9.5K	6.2K	4.8K	UHD	FHD
ズーム倍率	x1.00	x1.53	x2.0	x2.5	x5.0

メモ

- DNG (RAW 形式)は、素材性を重視した記録方式です。SIGMA Photo Pro 等による現像作業が必要です。SIGMA Photo Pro は、弊社ウェブサイトより無料ダウンロードいただけます。SIGMA Photo Pro は、常に最新のバージョンにすることをお勧めします。

sigma-global.com/jp/software/

- カメラで DNG 画像から JPEG 形式を作成することもできます。「DNG 現像」(P.135)をご覧ください。
- DNG は、アドビシステムズ株式会社 (Adobe Systems Incorporated) が開発した RAW 形式の画像データです。

画像サイズの設定



画像の記録画素数（画像サイズ）を設定します。

QS メニュー、または「 SHOOT」→「静止画記録設定」→「画像サイズ」

AUTO	AUTO (初期設定)	クロップズーム (P.80) の倍率や、装着するレンズのフォーマットによって、画像サイズが変化します。
9.5K	9.5K	60M 9520 x 6328 (3:2 設定時)
6.2K	6.2K	26M 6240 x 4144 (3:2 設定時) (APS-C レンズ使用時の最大画像サイズ)
4.8K	4.8K	15M 4768 x 3168 (3:2 設定時)
UHD	UHD	9.8M 3840 x 2552 (3:2 設定時)
FHD	FHD	2.5M 1920 x 1280 (3:2 設定時)

- 「**AUTO**」時のクロップズームの倍率と、記録される画像サイズの関係は、以下のようになります（※1）。

x1.00	----- x1.53	----- x2.0	--- x2.5	----- x5.0
9.5K	6.2K	4.8K	UHD	FHD

- 画質を DNG+JPEG に設定した場合、DNG 画像と JPEG 画像は同じ画像サイズで記録されます（※1）。

※1

画質の設定が DNG (14bit)、DNG (14bit) + JPEG の場合は、条件が異なります。「クロップズーム」(P.80) をご参照ください。

アスペクト比の設定



画像のアスペクト比（横縦比）を設定します。

QS メニュー、または「**SHOOT**」→「**静止画記録設定**」
→「**アスペクト比**」

21:9	映画用ワイドスクリーンとほぼ同等の横縦比です。
16:9	ハイビジョンテレビと同じ横縦比です。
3:2 (初期設定)	35mm フィルムカメラと同じ横縦比です。
A 判 ($\sqrt{2}:1$)	一般的な用紙サイズ A 判と同じ横縦比です。

4:3	従来のテレビやパソコン画面と同じ横縦比です。
7:6	6×7 版カメラとほぼ同じ横縦比です。
1:1	6×6 版カメラで撮影したような正方形の横縦比です。

- 各横縦比の画像は、本機の基本横縦比 3:2 の画像からカットして作られます。

メモ

- DNG 画像は、**SIGMA Photo Pro** やカメラの DNG 現像で他のアスペクト比に変更できます。

3:2 以外のアスペクト比での撮影では、通常、フレームが黒く表示されますが、半透明表示にすることで、周囲の状況も確認できるスポーツファインダー的な使い方が可能になります。

「 SHOOT」→「ライブビュー設定」→「フレームの表示」

黒（初期設定）	半透明
---------	-----

画像のファイルサイズ

各画質・画像サイズ・アスペクト比の組み合わせによる 1 画像あたりのおおよそのファイルサイズ (MB) は以下のようになります。

- ファイルサイズは被写体によって変化します。

画像サイズ 9.5K

アスペクト比	記録画素数	画質				
		DNG(14bit)	DNG(12bit)	FINE	NORM.	BASIC
21:9	39M (9520x4080)	129.6	115.2	28.6	14.9	12.4
16:9	51M (9520x5352)	138.5	124.1	37.5	19.5	16.3
3:2	60M (9520x6328)	145.3	130.9	44.3	23.1	19.3
A判($\sqrt{2}:1$)	57M (8944x6328)	142.7	128.2	41.6	21.7	18.1
4:3	53M (8432x6328)	140.3	125.9	39.2	20.5	17.1
7:6	50M (7856x6328)	137.6	123.2	36.6	19.1	15.9
1:1	40M (6328x6328)	130.5	116.1	29.5	15.4	12.8

画像サイズ 6.2K (APS-C レンズ使用時の最大画像サイズ)

アスペクト比	記録画素数	■ 画質				
		DNG(14bit)	DNG(12bit)	FINE	NORM.	BASIC
21:9	17M (6240x2672)	55.8	49.6	12.3	6.5	5.4
16:9	22M (6240x3512)	59.7	53.5	16.2	8.5	7.1
3:2	26M (6240x4144)	62.6	56.4	19.1	10.0	8.3
A判($\sqrt{2}:1$)	24M (5856x4144)	61.4	55.2	17.9	9.4	7.8
4:3	23M (5520x4144)	60.4	54.2	16.9	8.8	7.4
7:6	21M (5152x4144)	59.3	53.1	15.8	8.2	6.9
1:1	17M (4144x4144)	56.2	50.0	12.7	6.7	5.6

画像サイズ 4.8K

アスペクト比	記録画素数	■ 画質				
		DNG(14bit)	DNG(12bit)	FINE	NORM.	BASIC
21:9	9.7M (4768x2040)	32.7	29.1	7.2	3.8	3.2
16:9	13M (4768x2680)	35.0	31.3	9.5	5.0	4.2
3:2	15M (4768x3168)	36.7	33.0	11.2	5.9	4.9
A判($\sqrt{2}:1$)	14M (4480x3168)	36.0	32.4	10.5	5.5	4.6
4:3	13M (4224x3168)	35.4	31.8	9.9	5.2	4.4
7:6	12M (3920x3168)	34.7	31.1	9.2	4.8	4.0
1:1	10M (3168x3168)	33.0	29.3	7.5	3.9	3.3

画像サイズ UHD

アスペクト比	記録画素数	■ 画質				
		DNG(14bit)	DNG(12bit)	FINE	NORM.	BASIC
21:9	6.3M (3840x1648)	21.3	19.0	4.7	2.5	2.1
16:9	8.3M (3840x2160)	22.8	20.4	6.2	3.3	2.7
3:2	9.8M (3840x2552)	23.9	21.5	7.3	3.8	3.2
A判($\sqrt{2}:1$)	9.2M (3616x2552)	23.5	21.1	6.9	3.6	3.0
4:3	8.7M (3408x2552)	23.1	20.7	6.5	3.4	2.9
7:6	8.1M (3168x2552)	22.6	20.3	6.0	3.2	2.7
1:1	6.5M (2552x2552)	21.5	19.1	4.9	2.6	2.2

画像サイズ FHD

アスペクト比	記録画素数	画質				
		DNG(14bit)	DNG(12bit)	FINE	NORM.	BASIC
21:9	1.6M (1920x824)	5.5	4.9	1.3	0.7	0.6
16:9	2.1M (1920x1080)	5.9	5.3	1.6	0.9	0.8
3:2	2.5M (1920x1280)	6.2	5.6	1.9	1.0	0.9
A判($\sqrt{2}:1$)	2.3M (1808x1280)	6.1	5.5	1.8	1.0	0.8
4:3	2.2M (1696x1280)	6.0	5.4	1.7	0.9	0.8
7:6	2.0M (1584x1280)	5.8	5.3	1.6	0.9	0.7
1:1	1.6M (1280x1280)	5.6	5.0	1.3	0.7	0.6

映像記録の設定

(CINE)

動画の記録フォーマット、解像度、フレームレートなどを設定します。

記録フォーマット



動画の記録形式と品質を設定します。

QS メニュー、または「 SHOOT」→「映像記録設定」→「フォーマット」

CinemaDNG	動画における RAW 形式のファイルです。現像作業が必要です。
MOV (初期設定)	映像編集に適したファイル形式です。

- CinemaDNG を選択すると「映像記録設定」に「記録ビット数」の項目が表示されますので、希望の記録ビット数を選択します。

8 bit	10 bit	12 bit
-------	--------	--------

ご注意!!

- CinemaDNG で記録されるデータは、複数の静止画 DNG データ（拡張子.DNG）と、ひとつの音声ファイル（拡張子.WAV）で構成されます。詳しくは「[SYSTEM]メニューから設定する」の「ファイル名/番号」（P.142）を参照してください。
- CinemaDNG は、以下の機能と併用できません。

HDR 撮影、電子式手ブレ補正、ディレクターズビューファインダー

- MOV を選択すると「映像記録設定」に「圧縮形式」の項目が表示されますので、希望の圧縮形式を選択します。

ALL-I (ALL-Intra)	1コマ単位で圧縮します。ファイルサイズが大きくなります、編集時の画質劣化がありません。
GOP (初期設定)	ファイルサイズを優先した圧縮形式です。長時間の撮影に向いています。

解像度



動画の解像度（サイズ）を設定します

QS メニュー、または「**SHOOT**」→「映像記録設定」→「解像度」

UHD (初期設定)	3840×2160
FHD	1920×1080

フレームレート

フレームレート（1秒あたりのコマ数）を設定します。

QS メニュー、または「**SHOOT**」→「映像記録設定」→「フレームレート」

23.98 fps (初期設定)	24 fps	29.97 fps	50 fps	100 fps
	25 fps	48 fps	59.94 fps	119.88 fps

ご注意!!

- 解像度の設定によって選択できるフレームレートに制限があります。

ビットレートと対応メディア

各映像記録の設定の組み合わせによる動画のビットレート、および対応メディアについては以下のようになります。(○: 対応 ×: 非対応)

ご注意!!

- すべてのメディアについて動作を保証するものではありません。

CinemaDNG

解像度	記録ビット数	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	対応メディア	
				SSD	SD UHS-II
UHD	12bit	29.97	3020	○	×
		25	2520	○	×
		24	2420	○	×
		23.98	2400	○	×
	10bit	29.97	2500	○	×
		25	2090	○	×
		24	2010	○	×
		23.98	2000	○	×
	8bit	29.97	2000	○	×
		25	1670	○	○
		24	1610	○	○
		23.98	1600	○	○
FHD	12bit	100	2540	○	×
		59.94	1530	○	○
		50	1270	○	○
		48	1220	○	○
		29.97	760	○	○
		25	640	○	○
		24	610	○	○
		23.98	610	○	○
	10bit	119.88	2540	○	×
		100	2120	○	×
		59.94	1280	○	○
		50	1060	○	○
		48	1020	○	○
		29.97	640	○	○
		25	530	○	○
		24	510	○	○
		23.98	510	○	○

CinemaDNG

解像度	記録ビット数	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	対応メディア	
				SSD	SD UHS-II
FHD	8bit	119.88	2050	○	×
		100	1710	○	×
		59.94	1020	○	○
		50	850	○	○
		48	820	○	○
		29.97	510	○	○
		25	430	○	○
		24	410	○	○
		23.98	410	○	○

● 対応メディアの最新情報につきましては、弊社 WEB サイトにてご確認ください。

sigma-global.com/jp/special/fpl/acc_recommend/

MOV

圧縮方式	解像度	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	対応メディア	
				SSD	SD
ALL-I	UHD	29.97	440	○	○
		25	440	○	○
		24	440	○	○
		23.98	440	○	○
	FHD	119.88	440	○	○
		100	440	○	○
		59.94	240	○	○
		50	240	○	○
		48	240	○	○
		29.97	140	○	○
GOP	UHD	25	140	○	○
		24	140	○	○
		23.98	140	○	○
		29.97	120	○	○
	FHD	25	120	○	○
		24	120	○	○
		23.98	120	○	○
		119.88	100	○	○
		100	100	○	○
		59.94	70	○	○
		50	70	○	○
		48	70	○	○
		29.97	60	○	○
		25	60	○	○
		24	60	○	○
		23.98	60	○	○

- ALL-I 記録については書き込み速度 60MB/s 以上の SSD および SD カードを推奨。

クロップズーム

高画素撮像素子の特徴を活かし、撮像素子の記録範囲を変化させズーム効果を得る「クロップズーム機能」を備えています。単焦点レンズでも、あたかもズームレンズを使用しているようなズーム撮影が楽しめます。



2 本の指で画面をタッチし、そのままピンチアウトで拡大、拡大中にピンチインで縮小します。（画面下部に設定できるズーム倍率と現在のズーム倍率位置▼が表示されます。）

- クロップズーム画面表示中は、前後ダイヤル、<>ボタンでもズーム操作ができます。



- クロップズーム中は、クロップズームアイコン が表示されます。
- 「クロップズーム」は QS メニュー (P.36) 、ダイヤル (P.117) 、カスタムボタン (P.118) に割り当てできます。

ご注意!!

- 以下の機能、および設定は併用できません。

ディレクターズビューファインダー

クロップズーム設定

クロップズームに関する各種設定を行います。

「 SHOOT」 → 「クロップズーム設定」

クロップズーム

クロップズーム画面に移り、ズーム倍率を設定できます。

ズームステップ

標準 (初期設定)	細かいピッチでズームポジションを選べます。
スキップ	代表的なポジションのみ選べます。画質が DNG (14bit)、DNG (14bit) + JPEG 時は強制的にスキップになります。

ズーム下限

オート (初期設定)	装着するレンズによって、適切な記録範囲になるように、自動的に下限が設定されます。
x1.00	APS-C 用レンズが装着されても制限がかからず、x1.00 から撮影されます。
X1.53	オートが作動しない APS-C レンズを装着する場合などに設定します。

ズーム上限

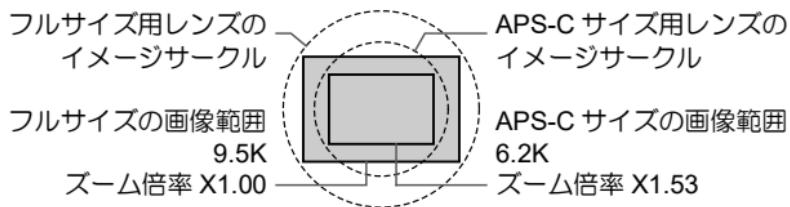
x1.00	x1.53	x2.0	x2.5	x.5.0
● ズーム下限や画像サイズの設定により、設定できる倍率が制限されます。希望する倍率が設定できない場合、「ズーム上限」でさらに ▶ ボタンを押すと「画像サイズ」設定画面に移り、画像サイズの変更ができます。				

メモ

画像サイズの設定 (STILL)、解像度の設定 (CINE) とクロップズームは、密接な関係があります。クロップズームは、撮像素子の記録範囲を変化させズーム効果を得ますので、STILL モードでは、ズーム倍率によって記録される画像サイズが変化します (画像サイズ AUTO 時)。画像サイズを AUTO 以外のサイズに設定すると、画像サイズは固定されますが、ズーム倍率に制限が生じます。最大記録範囲を使用する 9.5K に設定した場合は、クロップズームは使用できません。CINE モードでは、UHD よりもサイズの小さい FHD のほうが、高いズーム倍率が設定できます。

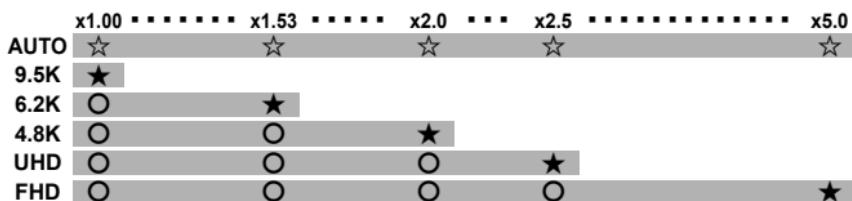
APS-C 用レンズを装着した場合、APS-C サイズの画像範囲が記録されるよう、自動的にクロップズームの下限が x1.53 になります (ズーム下限 AUTO 時)。手動でズーム下限を x1.00 に設定できますが、画像周辺部が黒くケラレたり、充分に解像しない場合があります。

- レンズによっては、ズーム下限を切り換えないものもあります。



(STILL)

各画像サイズにおける、設定できるズーム倍率



- 画質が DNG(12bit)+JPEG、FINE、NORMAL、BASIC の場合、グレーの範囲が設定できるズーム倍率です。
- 画質が DNG(14bit)の場合、★☆のポジションが設定できるズーム倍率です。
- 画質が、DNG(14bit)+JPEG の場合、★☆と○のポジションが設定できるズーム倍率です。DNG 画像は、その倍率における★のポジションの画像サイズで記録されます。

(CINE)

各解像度における、設定できるズーム倍率



- 電子式手ブレ補正使用時は、ズーム下限が x1.24 に制限されます。
- フォーマット MOV、解像度 FHD、フレームレート 100fps 以上の場合、設定できるズームポジションは x1.00 と x1.67 のみになります。
- フォーマット CinemaDNG、解像度 FHD、フレームレート 100fps 以上の場合、設定できるズームポジションは x1.67 のみになります。

ディレクターズビューファインダー



(CINE)

登録されているシネマカメラの設定情報と、取り付けたレンズの焦点距離によって、画角がどう見えるかをシミュレートできます。

- 3 パターンの設定を保存、呼び出しができます。

ご注意!!

- 以下の機能、および設定は併用できません。

フレームレート: 119.88fps / 100fps、 フォーマット: CinemaDNG、
電子式手ブレ補正

- 特定のセッティング時に、HDR撮影と併用できない場合があります。
- 「クロップズーム設定」の「ズーム下限」を切り換えられないレンズでは使用できません。
- STILL ライクスタイル時は設定できません。
- フォーカスフレームの設定が「1点」の中央、M サイズに固定されます。
- タイムコード、グリッド線は表示されません。
- 拡大表示はできません。

「 SHOOT」→「ディレクターズビューファインダー」で、設定したい番号「#1～#3」を選びます。

1

シミュレートしたい条件「ブランド」、「モデル」、「セッティング」を設定します。

2

サラウンドビューを設定します。

切	16:9 よりも横長の映像は横に、縦長の映像は縦にフィットされます。
黒	フィットされず、映像範囲外が黒くマスクされます。
半透明	フィットされず、映像範囲外が半透明でマスクされ、映像範囲外の状況も確認できます。

● 登録されているカメラとセッティングの情報は以下の通りです。

ブランド	モデル	セッティング	ブランド	モデル	セッティング	
ARRI	ARRICAM / ARRIFLEX	ANSI S35 4-Perf. ANSI S35 3-Perf.	ARRI		ProRes 4K UHD ARRIRAW 2.8K	
	ALEXA LF / ALEXA Mini LF	LF 16:9 LF 16:9 (x1.25) LF 16:9 (x1.3) LF 16:9 (x1.5) LF 16:9 (x1.65) LF 16:9 (x1.8) LF 16:9 (x2) LF 2.39:1 Open Gate Open Gate (x1.25) Open Gate (x1.3) Open Gate (x1.5) Open Gate (x1.65) Open Gate (x1.8) Open Gate (x2)		ALEXA 65	4K UHD	
		ALEXA XT			16:9 DNxHD 16:9 ProRes HD 16:9 ProRes 2K 16:9 ProRes 3.2K 4:3 ProRes 2K (x2) 4:3 ARRIRAW Cropped(x2) 4:3 ARRIRAW Full (x2) Open Gate ARRIRAW	
					3.8K 16:9 4K 2.39:1 4K 17:9 4K 4:3 (x1.25) 4K 4:3 (x1.3) 4K 4:3 (x1.5) 4K 4:3 (x1.65) 4K 4:3 (x1.8) 4K 4:3 (x2) 4K 6:5 (x1.25) 4K 6:5 (x1.3) 4K 6:5 (x1.5) 4K 6:5 (x1.65) 4K 6:5 (x1.8) 4K 6:5 (x2)	
		SONY	VENICE	5.7K 16:9 6K 2.39:1 6K 17:9 6K 17:9 (x1.25) 6K 17:9 (x1.3) 6K 17:9 (x2) 6K 1.85:1		
				7K FF 6K FF 4K FF		
			HELIUM 8K	8K FF 8K 6:5 (x2)		
				DRAGON 6K 6K FF		
				EPIC MX 5K 5K FF		
				5K Full Height 1.7:1 5K Full Height 6:5 (x2) 5K FF		
				Komodo 6K 6K FF		
	AMIRA		MPEG-2 HD ProRes S16 HD ProRes HD ProRes 2K ProRes 3.2K			

- 動画は、セットアップメニューの「**映像記録設定**」（P.76）で設定された状態で記録されます。
- アナモフィックレンズ使用前提の設定も登録されています。アナモフィックレンズでスクイーズされた映像をデスクイーズして表示できます。
- 使用後は「**ディレクターズビューファインダー**」→「**切**」にしてください。

ご注意!!

- 本機で再生する場合のみ、撮影時に設定されたシミュレートの条件、サラウンドビューの情報が反映され、効果が確認できます。
- DC クロップモードが解除されるため、画面周辺が暗くなったり、解像しない場合があります。
- ディレクターズビューファインダーモード時も、レリーズボタンで写真を撮ることができます。（記録される静止画は、CINE モード時に記録される静止画の設定と同じになります（P.44）。画像は、ディレクターズビューファインダーの各種効果が反映された状態で記録されます。

再生する

再生方法は、通常の動画、静止画と同じです。動画の再生方法は、「**動画を再生する**」（P.127）を参照してください。



ディレクターズビューファインダーモードで記録された画像は、設定アイコンが表示されます。

- タイムコード、画素数、アスペクト比は表示されません。
- 動画からの写真の切り出しが、「**JPEG 保存**」のみ可能です。
- 記録時のシミュレートの条件やサラウンドビューの設定は、変更できません。

オーディオ記録の設定

(CINE)

動画に同時記録される音声の設定をします。

「 SHOOT」 → 「オーディオ記録」より設定します。

切	動画撮影時に音声を記録しません。
入（初期設定）	動画撮影時に音声も記録します。

ゲイン調整

入力中の音声をオーディオメーターで確認しながらレベル調整ができます。

「 SHOOT」 → 「オーディオ記録」 → 「入」 → 「ゲイン調整」

オート	(初期設定) カメラが最適なレベルを調整します。	
マニュアル	Ch.1 / 2 連動	切 Ch.1 / 2 独立して調整できます。 入 Ch.1 の設定が Ch.2 にも反映されます。
	Ch.1 調整量	Ch.1 を調整します。
	Ch.2 調整量	Ch.2 を調整します。

Ch.1：マイク (L) Ch.2：右マイク (R)

希望のオプションを選び、◆ボタンでレベルを調整します。

- レベルは 3dB ピッチで、+6dB ~ -36dB の範囲で調整できます。
- オートの基準レベルを調整することが可能です。「オート」→「調整量」でレベルメーターを確認しながら調整してください。
- ゲイン調整（オーディオゲイン調整）は、QS メニュー (P.36)、カスタムボタン (P.118) に割り当てできます。

風音キャンセラー

風によるノイズを減らすことができます。

「 SHOOT」 → 「オーディオ記録」 → 「入」 → 「風音キャンセラー」

切（初期設定）	ノイズ低減機能を OFF にします。
入	ノイズ低減機能を ON にします。

露出補正

カメラが判断した適正露出に対し、意図的に明るめにしたり、暗めにしたい場合、この機能を使います。

「 SHOOT」→「露出補正」、または後ダイヤルで補正量をセットします。

- 補正量は 1/3 段ステップで、±5 (CINE モード時: ±3) までできます。

ご注意!!

- 露出補正是自動的に解除されません。撮影が完了したら、後ダイヤルで補正量を±0.0 に戻してください。
- 露出補正是 M モードとの併用はできません。（ISO オート設定時は併用できます。）

測光モード



被写体の状況に合わせ、3つの測光方式を選べます。

QS メニュー (CINE モード・CINE スタイル時除く)、または「 SHOOT」→「測光モード」より設定します。

 評価測光 (初期設定)	画面を 256 分割し、それぞれの部分の測光情報をもとにカメラが被写体の状況を判断して最適な露出を算出します。
 中央部重点 平均測光	画面中央部分にウエイトを置き、画面全体の平均的な明るさを算出します。順光などの比較的光線状態が良い場合に、最適な露出がえられます。
 スポット測光	選択されているフォーカスフレームの範囲内の明るさのみを算出します。被写体の特定のポイントに露出を定めたいときに有効です。

AEL ボタン



オートのまま、一定の露出で撮影したいときなどに便利な**AEL**ボタンを備えています。

AELボタンは、通常のAEロック機能のほかに、以下のような機能を割り当てることができます。

「 / SHOOT」→「カスタムボタンの機能」→「AEL」より設定します。

AEL (初期設定)	AEL ボタンを押すと、そのときの露出が固定されます。もう1度 AEL ボタンを押すまで同じ露出で撮影できます。
AEL (押す間)	AEL ボタンを押している間だけ、露出が固定されます。
AFL	AEL ボタンを押すと、フォーカスがロックされます。もう1度 AEL ボタンを押すまで同じピント位置で撮影できます。
AFL (押す間)	AEL ボタンを押している間だけフォーカスがロックされます。
AF-ON	AEL ボタンを押すと、オートフォーカスが作動します。
AEL+AFL	AEL ボタンを押すと、AEロックとフォーカスロックが同時に実行されます。もう1度 AEL ボタンを押すまで同じ露出とピント位置で撮影できます。
AEL+AFL (押す間)	AEL ボタンを押している間だけ、AEロックとフォーカスロックが同時に実行されます。
LV 拡大表示	撮影時の OK ボタンと同じ動作をします。詳しくは「 OK ボタンによる拡大表示」(P.61)をご覧ください。
絞りプレビュー	詳しくは「 絞りプレビュー 」(P.63)をご覧ください。
フォルスカラー	詳しくは「 フォルスカラー 」(P.50)をご覧ください。
スクリーンショット	詳しくは「 スクリーンショット機能 」(P.161)をご覧ください。

ホワイトバランスの設定 (WB)



通常、ホワイトバランスは自動調整されますが、思い通りの色にならない場合は、プリセットされたホワイトバランスから設定できます。

QS メニュー、または「 SHOOT」→「ホワイトバランス」より設定します。

	モード	色温度	内 容
AWB	オート (初期設定)	—	自動で調整されます。通常はこのモードにセットしてください。
	オート (残し)	—	光源の色味を残し、その場の雰囲気を残した調整がされます。
	晴れ	約 5400K	晴天の屋外
	日陰	約 8000K	晴天の屋外の日陰
	くもり	約 6500K	曇天の屋外
	白熱電球	約 3000K	白熱電球の照明下
	蛍光灯	約 4100K	白色蛍光灯下
	フラッシュ	約 7000K	対応フラッシュ使用時
	色温度設定	—	色温度を数値で設定し、ホワイトバランスを調整します。
	カスタム 1~3	—	実際に取り込んだ画像を基準とし、ホワイトバランスが設定されます。 (P.91)

ホワイトバランスの微調整

各ホワイトバランスに対し、微調整することができます。



ホワイトバランスを選んだあと、ボタンを押してホワイトバランス微調整画面を表示させます。

QS メニューからセットする場合は、ホワイトバランスを選んだあと、**AEL** ボタンを押してホワイトバランス微調整画面を表示させます。



2

◇ボタンを押して調整します。

- B はブルー、A はアンバー、M はマゼンタ、G はグリーンを表し、移動方向に寄った色に微調整されます。
- 各方向に 8 段まで微調整できます。

3

確定する場合は **OK** ボタンを、変更しない場合は **MENU** ボタンを押してください。

- リセットしたい場合は **MODE** ボタンを押してください。



ホワイトバランスアイコンの右横に調整値が表示されます。

色温度の数値設定



色温度を数値で設定できます。

1

「色温度指定 **K**」を選び、**▶** ボタンを押して色温度指定画面を表示させます。（「色温度指定 **K**」を選んだ後に、**OK** ボタンを押すと、前回設定した数値で撮影されます。）

QS メニューからセットする場合は、「**K**」を選び、**AEL** ボタンを押して色温度指定画面を表示させます。（「**K**」を選んだ後に、**OK** ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、前回設定した数値で撮影されます。）

2

◀ボタン、または前後ダイヤルで数値を設定します。
(**MODE** ボタンを押すと 5000K にセットされます。)

色温度指定時もホワイトバランスの微調整をすることができます。

色温度指定画面で **AEL** ボタンを押すと、ホワイトバランス微調整画面が表示されます。そのあとは前ページの「ホワイトバランス微調整」の手順 **2** より設定してください。

メモ

- 光源には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、光の色を絶対温度 (K:ケルビン) で表したものと「色温度」と呼んでいます。色温度が低くなるほど赤みを帯びた光となり、色温度が高くなるほど青みを帯びた光となります。光源のおおよその色温度は 89 ページの表を参照してください。

カスタムホワイトバランスの設定

取り込んだ画像を基準として、ホワイトバランスを設定できます。

- カスタムホワイトバランスは 3 つまで登録できます。(カスタム **1~3**)

1

「カスタム **1~3**」のいずれかを選び、**▶**ボタンを押してカスタムホワイトバランス取り込み画面を表示させます。(「カスタム」を選択した後に、**OK** ボタンを押すと前回取り込まれた設定値で撮影されます。)

QS メニューからセットする場合は、「**■1~3**」のいずれかを選び、**AEL** ボタンを押して、カスタムホワイトバランス取り込み画面を表示させます。(「**■1~3**」を選んだ後に、**OK** ボタンを押すか、シャッター ボタンを半押しすると、前回取り込まれた設定値で撮影されます。)

2

実際に撮影を行いたい照明下で、基準にしたい白い被写体(白い紙や、白い壁など)を画面中央の枠に入れて、マニュアルフォーカスでピント合わせます(ピントはおおよそで構いません)。

3

AEL ボタンを押して、カスタムホワイトバランス画像を取り込みます。

取り込みがうまくいった場合は「**ホワイトバランスの取り込みに成功しました。**」とメッセージが表示されます。

「**取り込みに失敗しました。…**」とメッセージが出た場合は、再度 **AEL** ボタンを押してください。

- 中止したい場合は **MENU** ボタンを押してください。

カスタムホワイトバランスにメモを付ける



カスタムホワイトバランスにメモを付けることができます。メモは「ホワイトバランス」のサブメニューに反映され、登録済のカスタムホワイトバランスを呼び出す際に便利です。

- 半角英数字・記号で 48 文字まで入力できます。

1

カスタムホワイトバランス取り込み画面で **▼** ボタンを押すと、メモ入力画面が表示されます。

2

文字を入力します。文字の入力方法は、「**著作権情報**」の「**文字の入力方法**」(P.145) をご参照ください。

- メモを消去するには、メモ入力画面で全ての文字を消去してください。

ご注意!!

- カスタムホワイトバランスに付けたメモは、画像情報には記録されません。

カラーモード

各撮影シーンに最適な色調、コントラストなどを調整したカラーモードを選択できます。また、モノクローム調の写真や動画を撮ることができます。

COLOR ボタン、または「 SHOOT」→「カラー設定」→「カラーモード」(CINEモードの場合は「 SHOOT」→「カラーモード」)より設定します。

STD. スタンダード（初期設定）	さまざまなシーンに対応する基本的なカラーモードです。
VIVID ビビッド	彩度、コントラストが高めに設定され、鮮やかな印象に表現します。
NTR. ニュートラル	彩度、コントラストが控えめに設定され、落ち着いた雰囲気を再現します。
PORT. ポートレート	肌の階調を柔らかく表現する、人物撮影に適したモードです。
LAND 風景	青空や緑をより鮮やかに表現し、メリハリのある風景を再現します。
CINE. シネマ	彩度を抑え、シャドウを強調し、映画のようなイメージを再現します。
W.GLD ウォームゴールド	落ち着いたトーンと暖色系の色調で、深みのある雰囲気を表現します。
T&O ティールアンドオレンジ	肌色などのオレンジ系と、補色の青緑を強調し、印象的に表現します。
SUN R. サンセットレッド	赤の色再現を強調し、夕焼けなどのシーンをより印象的に表現します。
FOR G. フォレストグリーン	緑の色再現を強調し、草木などの緑をより印象的に表現します。
Pow B. パウダーブルー	爽やかなブルーが特徴的で、明るく透明感のある印象に表現します。
Fov B. FOV クラシックブルー	深みのある青色を表現し、印象的な青空を再現します。
Fov Y. FOV クラシックイエロー	黄色方向の色味が強調され、深みのある印象的な色調を再現します。
DUO. デュオトーン	シャドウ、ハイライト間を印象的なグラデーションで置き換えた画像を生成します。

MONO. モノクローム	モノトーンの写真を撮ることができます。
OFF 切	現像処理を前提とした撮影に向いています。撮像素子から出力される、ほぼそのままの画像が得られます。

◆ボタンで好みのカラー モードを選び、◆ボタンでの効果の強弱（1段ステップで±5まで）を調整します。



設定されたカラー モードのアイコンが表示されます。
(「切」はアイコンが表示されません)

メモ

- **MONO.(モノクローム)**で撮影された DNG データは、SIGMA Photo Pro ではモノクローム モードで開かれます。SIGMA Photo Pro でカラー 画像に戻すこともできます。(JPEG データはカラー 画像には戻せません。)

ご注意!!

- **MONO.(モノクローム)** モードでは、「**カラーモード詳細設定**」(次項目) の「**調色**」で「**B/W**」(白黒)以外が設定されたときに、効果の調整が可能になります。
- DNG データを Adobe Systems 社製ソフトウェアで現像する際、ソフトウェアのバージョンによってはカラー モードの設定が反映されない場合があります。最新の情報をご確認ください。
- **OFF(切)** は暗めの画像に感じる場合がありますが、露出補正はかけず、現像処理時に明るさを調整してください。
- **OFF(切)** と、以下の機能、および設定は併用できません。

カラーモード詳細設定、Fill Light、Fill Light BKT、HDR撮影、トーンコントロール
--

DUO. (デュオトーン) モード

シャドウ、ハイライト間を印象的なグラデーションで置き換えた画像を生成します。

DUO. (デュオトーン)モードでは、画面を見ながら、◆ボタンでイメージに合ったプリセットを選択してください。

●各プリセットの、およその色調の変化は、以下のようになります。

	シャドウ側	中間	ハイライト側
R1	紺色	赤	オレンジ
OR1	深緑	-	オレンジ
YE1	青紫	-	黄色
YG1	青緑	-	黄緑
G1	青緑	-	薄緑
G2	赤茶	-	薄緑
B1	薄赤茶	-	薄緑
B2	黒	-	水色
P1	紺色	薄紫	ピンク
M1	マゼンタ	-	アイボリー

カラーモード詳細設定

各カラーモードに対し、好みの画像に仕上がるよう画像のパラメーター（コントラスト、シャープネス、彩度）を調整することができます。

① コントラスト

十側にすると明暗差が強くなり、メリハリの効いた画像になります。一側にすると明暗差が弱くなり、白飛びや黒つぶれを少なくすることができます。

② シャープネス

十側にすると輪郭のはっきりとした鮮明な画像になります。一側にすると輪郭のやわらかいソフトな画像になります。

③ 彩度（モノクローム、デュオトーンを除く）

十側にすると彩度が高くなり、色鮮やかな画像になります。一側にすると彩度が低くなり、落ち着いた画像になります。

調色（モノクロームのみ）

色味のついたモノクロ画像に仕上げることができます。

B/W 白黒 (初期設定)	R 赤	WARM 温黒調	SEPIA セピア	G 緑
BG 青緑	B 青	COLD 冷黒調	BP 青紫	P 紫

1

カラー モード 設定画面の表示中に **AEL** ボタン押して カラー モード 詳細設定画面を表示させます。

- **|□|** ボタンを押すと、表示中の画面が一時停止し、静止画面を確認しながら調整できます。再度 **|□|** ボタンを押すと再開されます。



2

◆ボタンで変更したいパラメーターを選び、**OK** ボタンまたは **>** ボタンで確定します。

3

<> ボタンで調整量（0.2 ステップで ±1.0 まで）をセットし、**OK** ボタンで確定します。



カラー モード アイコンの隣に調整中のパラメーター アイコンが表示されます。

メモ

- DNG データは、**SIGMA Photo Pro** でも カラー モード の変更やパラメーターの調整ができます。
- CinemaDNG は、カメラで再生する場合のみ カラー モード が反映されます。

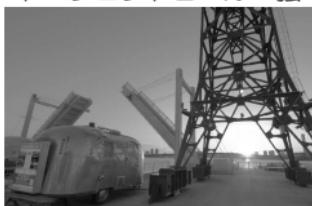
トーンコントロール

明暗差の大きな場面などでも、トーンカーブを最適化し、自然な階調の画像にすることができます。

トーンコントロール：切



トーンコントロール：強



TONE ボタン、または「 SHOOT」→「トーンコントロール」より設定します。

OFF	切	効果を OFF にします。
	オート(弱) (初期設定)	弱めな効果が得られます。
	オート(強)	強い効果が得られます。
MANUAL	マニュアル	ハイライト、シャドウを個別で調整できます。(1ステップで±5まで)

- トーンコントロール設定画面の表示中に **AEL** ボタンを押すと、表示中の画面が一時停止し、静止画面を確認しながらトーンコントロールの切り替えや調整ができます。再度 **AEL** ボタンを押すと再開されます。



マニュアルでの調整

マニュアルを選択したあと、 ボタンでハイライト／シャドウを選び、 ボタンで強弱を調整します。

ご注意!!

- 以下の機能、および設定は併用できません。

カラーモード: 「OFF」、「デュオトーン」

Fill Light

(STILL) 画像の明るい部分の露出を変えずに、暗い部分にライトを追加するような明るさの調整ができます。

QS メニュー、または「 SHOOT」→「Fill Light」より設定します。(0.2ステップで±5まで)

効果を確認するには…

Fill Light 設定画面の表示中に **AEL** ボタンを押してプレビュー画面（静止画面）を表示させます。再度 **AEL** ボタンを押すとプレビュー画面が解除されます。

ご注意!!

- 以下の機能、および設定は併用できません。

連続撮影、インターバル撮影、プラケット撮影 (Fill Light BKT は除く)、
カラーモード: 「OFF」、「デュオトーン」、HDR撮影、
コンポジット低 ISO 拡張で追加された ISO 感度

レンズ光学補正

以下のレンズ収差の補正の有無を設定できます。

歪曲（切/オート）	周辺光量（切/オート）
倍率色収差（切/オート）	カラーシェーディング
回析（切/入）	

「 SHOOT」→「レンズ光学補正」より設定します。

ご注意!!

- 通常は「オート」（初期設定）でご使用ください。
- レンズによっては、補正を「切」に設定できません。

カラーシェーディング補正

カラーシェーディング（画面周辺に色が付く現象）を補正できます。

Lマウントレンズをご使用の場合

カラーシェーディングは自動補正されますが、手動で微調整することができます。

1

「 SHOOT」→「レンズ光学補正」→「カラーシェーディング」→「オート」で、ボタンを押します。

2

AEL ボタンを押してプレビュー画面（静止画面）を表示させます。

3

◇ボタンで「赤み」／「青み」を選択し、OKボタンまたは>ボタンで確定します。

4

<>ボタンで調整量（0.2ステップで±1.0まで）をセットし、OKボタンで確定します。

ご注意!!

- 調整した値は、レンズを交換するとリセットされます。

Lマウント以外のレンズをご使用の場合

他社製マウントアダプターで装着したレンズなどのカラーシェーディング補正ができます。

1

「 SHOOT」→「レンズ光学補正」→「カラーシェーディング」で、「#1～#10」の任意の欄を選び、>ボタンを押します。

2

補正取り込み画面で、白かグレーなどの色味の無い均一な面を画面いっぱいに収め、AELボタンを押します。

3

補正が成功すると、補正画面が表示されます。微調整が必要な場合は、>ボタンを押して、前項目の手順**3**～に従って微調整を行ってください。

レンズ情報を入力する

4

補正が終わったら補正画面で▼ボタンを押し、レンズ情報入力画面に移動します。

5

「焦点距離／絞り値入力」画面で情報を入力します。その他の情報を入力したい場合は「メモ入力」画面で入力します。メモの入力方法は、「著作権情報」の「文字の入力方法」(P.145)をご参照ください。

- メモを消去するには、メモ入力画面で全ての文字を消去してください。

補正をリセットするには…

1

「 SHOOT」→「レンズ光学補正」→「カラーシェーディング」で、リセットしたい欄を選び、補正取り込み画面で **MODE** ボタンを押します。

2

「はい」を選び、**OK** ボタンで確定します。（補正值、レンズ情報が消去されます。）

ご注意!!

- CINE モードのフォーマットが「**CinemaDNG**」のときは、カラーシェーディング補正は使用できません。

プラケット撮影

(STILL)

下記 5 項目で、自動で設定値をずらした撮影ができます。

露出	ホワイトバランス	Fill Light
フォーカス	カラーモード	

ご注意!!

- ホワイトバランス BKT、Fill Light BKT、カラー モード BKT は 1 回の撮影データをもとに、設定枚数分の画像処理が行われるため、通常の撮影よりも書き込み時間が長くなります。
- プラケット撮影は自動的に解除されません。撮影が終わったら各プラケット撮影の項目から「**切**」を選択してください。
- 以下の機能、および設定は併用できません。

インターバル撮影、 Fill Light (Fill Light BKT は除く)、
コンポジット低 ISO 拡張で追加された ISO 感度、 HDR 撮影

- 露出 BKT とフォーカス BKT はフラッシュ撮影と併用できません。

1

「**SHOOT**」→「**プラケット撮影**」よりプラケット撮影したい項目を選択します。

2

>ボタンを押して「**入**」を選び、さらに**>**ボタンを押して詳細設定画面を開きます。（「**入**」で**OK**ボタンを押すと、前回の設定値で撮影されます）

3

詳細設定画面で変更したいオプションを選び、**OK**ボタンまたは**>**ボタンを押してサブメニューを開きます。

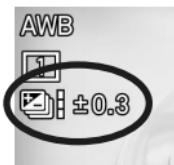
露出 BKT

カメラが判断した適正露出を基準として、露出をずらした写真を連続で撮ることができます。

枚数	撮影する枚数（3枚か5枚）
ずらし量	1/3段ステップで±3段まで
順序	0 → - → + 適正 → アンダー → オーバー - → 0 → + アンダー → 適正 → オーバー + → 0 → - オーバー → 適正 → アンダー

4

△ボタンで希望の値を選び、**OK**ボタンまたは**>**ボタンで確定します。

**5**

設定すると、設定アイコンと補正值が表示されます。

- 各ドライブモードでの動作は以下のようになります。

1コマ撮影	1枚ずつ撮影されます。
連続撮影	シャッターボタンを押し続けると連続撮影されます。
セルフタイマー	タイマーの設定時間後に連続撮影されます。

- 露出モードがMの場合、設定したシャッタースピードを中心としてシャッタースピードが変化します。(ISOオートのときはISOが変化します。)
- 露出BKTは露出補正と併用できます。露出補正で設定された補正值を基準としてプラケット撮影されます。
- アイコンのバー表示で、何コマ目の撮影かがわかります。

例：5枚撮影の場合

1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目

フォーカスBKT

合焦位置を基準に、ピント位置をずらした写真を連続で撮ることができます。

枚数	撮影する枚数(3, 5, 7, 9, 11, 13, 15枚)
ずらし量	1ステップで±10まで
順序	0 → - → + 合焦位置 → 前ピン → 後ピン 0 → + 合焦位置 → 後ピン 0 → - 合焦位置 → 前ピン

- レンズによって1ステップあたりのずれる距離が異なります。

4

◆ボタンで希望の値を選び、OKボタンまたは>ボタンで確定します。



5

シャッターボタンを半押しして撮影状態に戻ります。(設定アイコンとずらし量が表示されます。)

- 各ドライブモードでの動作は以下のようになります。

1コマ撮影	合焦後、シャッター ボタン 全押して連続撮影されます。
セルフタイマー	合焦後、シャッター ボタン 全押してタイマー作動、タイマーの設定時間後に連続撮影されます。

- 連続撮影は併用できません。

ホワイトバランス BKT



1回の撮影で、ホワイトバランスを変更した画像を複数枚記録することができます。

ずらし方向	B↔A (ブルー ↔ アンバー) M↔G (マゼンタ ↔ グリーン)
枚数	記録する枚数 (3枚か5枚)
ずらし量	2ステップで±16まで

4

◇ボタンで希望の値を選び、OKボタンまたは>ボタンで確定します。



5

シャッター ボタンを半押しして撮影状態に戻ります。(設定アイコンと、ずらし方向、ずらし量が表示されます。)

ホワイトバランスの微調整

基準となるホワイトバランスの値を微調整できます。

1

ホワイトバランスプラケット設定画面で、AELボタンを押してホワイトバランスの微調整画面を表示させます。

2

◇ボタンを操作して基準となる値を調整します。変更しない場合はMENUボタンを押すとキャンセルになり、前画面に戻ります。

3

OKボタンで調整を確定します。確定後もう一度OKボタンを押すとホワイトバランスプラケット設定画面に戻ります。

カラー モード BKT



1回の撮影で、カラー モードを変更した画像を複数枚記録することができます。

	現在設定されているカラー モードです。(この設定も同じ手順で変更できます。)
BKT1～BKT5	プラケットで保存するカラー モードが最大5種類選べます。

4

◇ボタンで BKT1～BKT5 を選択し、OKボタンを押します。

5

画面下部のリストから、◇ボタンで割り当てたいカラー モードを選択し、OKボタンを押して確定します。

- 割り当てたカラー モードをキャンセルしたい場合は、リストから「-」(割り当てなし)を選択します。



6

シャッター ボタンを半押しして撮影状態に戻ります。(設定アイコンと記録枚数が表示されます。)

カラー モードの詳細設定

各カラー モードについて詳細設定をすることができます。

1

画面下部のリストから割り当てたいカラー モードを選択したときに、AELボタンを押すと、カラー メニュー画面に移動します。

2

「カラー モード」(P.93) の項目に従い、効果の強弱や詳細の設定をします。

3

MENUボタンを一回、または2回押すとカラー モード BKT 画面に戻ります。

Fill Light BKT

Fill Light 効果のかかっていない画像を基準として、Fill Light 効果を増減した写真を連続で撮ることができます。

枚数	撮影する枚数（3枚か5枚）
ずらし量	0.2ステップで±5まで

4

◇ボタンで希望の値を選び、OKボタンまたは>ボタンで確定します。



5

シャッターボタンを半押しして撮影状態に戻ります。（設定アイコンとずらし量が表示されます。）

ご注意!!

- 以下の機能、および設定は併用できません。

カラー モード: 「OFF」、「デュオトーン」

HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影

白とびや黒つぶれが抑えられた、階調広い写真、動画を撮ることができます。

- 静止画撮影では、一回の撮影で標準／アンダー／オーバーの3枚の画像を連続撮影し、自動合成されます。
- 動画撮影では、設定されたフレームレートの倍速で露出違いの画像を撮影し、2枚合成を繰り返しながら映像が作成されます。

「 SHOOT」→「HDR」より希望の露出幅を選択してください。

切	オート	±1.0	±2.0	±3.0
---	-----	------	------	------

- 「オート」はカメラが露出幅を自動で判断する設定です。
- CINE モードでは、切 / 入のみの設定になります。



設定すると、設定アイコンが表示されます。

ご注意!!

- HDR撮影は自動的に解除されません。撮影が完了したら「切」に戻してください。
- STILLモードでは、約5%狭い範囲の画角で記録されます。
- 静止画撮影の場合、被写体の動きが速いときやシャッタースピードが遅いときなどに、画像にズレが生じる場合があります。
- 動画撮影の場合、被写体の動きが速いときや、ズーミング、ピントの移動があったときなどに、画像にズレが生じる場合があります。
- 動画撮影の場合、シャッタースピードの選択できる範囲、動作範囲が狭くなります。
- 以下の機能、および設定は併用できません。

連続撮影、インターバル撮影、プラケット撮影、電子式手ブレ補正、
画質: DNG(DNG+JPEG)、カラーモード: 「OFF」、「デュオトーン」、
コンポジット低ISO拡張で追加されたISO感度、フラッシュ撮影、
高ISO拡張で追加されたISO感度、フォーマット: CinemaDNG、Fill Light

- CINEモードのフォーマットが「MOV」で、以下の設定のときは使用できません。

	119.88fps ~ 48fps	29.97fps ~ 23.98fps
UHD	×	×
FHD	×	○

○: 設定可 ×: 設定不可

カスタムモード

好みの設定を登録し、モードボタンで簡単に呼び出すことができます。(6つのパターン登録することができます。)

「 SHOOT」(青タブ)の項目すべてを登録できます。

カスタムモードの保存

1

「 SHOOT」(青タブ) の項目を一通り好みの状態に設定します。

2

「 SYSTEM」→「カスタムモードの登録」より、<>ボタンで C1 ~ C6 のいずれかを選び、OK ボタンを押します。(確認メッセージが表示されます。)

3

<>ボタンで「はい」を選び、OK ボタンで確定します。

中止したい場合は「いいえ」を選び OK ボタンで確定します。

ご注意!!

- 保存を確定すると、以前に保存されていた設定は、新しい設定に上書きされます。

カスタムモードの呼出し

モードボタンを押して、C1 ~ C6 のいずれかにセットします。

- 「 SHOOT」→「露出設定」→「撮影モード」からも設定できます。
- 撮影モード変更画面で AEL ボタンを押すと、カスタムモードの詳細設定に入り、カスタムモードのアイコンや名称の変更や、一時的に露出モードを変更することができます。



カスタムモード時に設定を変更すると、•マークが点灯します。

以下の操作により、変更した設定内容はクリアされます。

- 電源を OFF にする(オートパワーオフ機能で OFF になった場合も含む)
- モードボタンで他のモードに変更する

カスタムモードのアイコンや名称の変更

撮影モード変更画面で **AEL** ボタンを押して「アイコン」や「名称」を変更することができます。

- アイコンや名称を変更した場合、ライブビューや撮影モード選択画面には変更後のアイコンや名称が表示されます。
- アイコンと名称は電源オフ等ではリセットされません。

アイコンの変更

「アイコン」入力画面で、2 文字を指定します。

例えば、アイコンを「**S2**」としたい場合は、**S 2** と入力し、**OK** ボタンで確定します。

- 入力できる文字は、アルファベット（大文字のみ）、数字、記号 (#±+) です。
- アイコンを初期化したい場合は、**MODE** ボタンを押し、**OK** ボタンで確定します。

名称の変更

「名称」入力画面で、文字を入力します。文字の入力方法は、「著作権情報」の「文字の入力方法」(P.145) をご参照ください。

- 名称を初期化したい場合は、入力画面で全ての文字を消去してください。

設定の保存 / 読込

カメラの設定を QR コード画像として保存したり、QR コードから設定を読み込むことができます。QR コードを介して、カメラのおすすめの設定を他のユーザーと簡単に共有することができます。

「 **SHOOT**」(青タブ) のすべての項目と、「 **SYSTEM**」の一部の項目の、保存 / 読込ができます。

設定の保存

現在のカメラの設定を QR コードとして記録メディアに保存します。

「 **SYSTEM**」→「設定の保存 / 読込 」→「QR コード作成」

アイコンと名称を入力する

「アイコン」または「名称」入力画面で、QR コードに保存する設定のアイコンと名称を設定します（P.145 参照）。

- 設定したアイコンと名称は、QR コードから設定を読み込むときにカスタムモードに反映されます。
- 現在の撮影モードがカスタムモードの場合、初期状態でカスタムモードのアイコンが入力されます。それ以外の場合は "#" に続けて現在の撮影モードが入力されます。
- 現在の撮影モードがカスタムモードの場合、初期状態でカスタムモードの名称が入力されます。名称の設定がない場合や現在の撮影モードが PASM の場合、"My Settings" と入力されます。

保存する設定項目を選択する

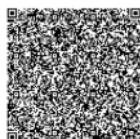
「保存する設定」入力画面で、保存したい設定項目を指定します。各設定にカーソルを合わせ、**◀▶** ボタンで **✓**（チェック）/ **✗**（チェック解除）を切り替えます。

- **✓** の項目が保存され、**✗** の項目は保存されません。
- 初期状態では青タブすべてに **✓** が入っています。
- **MODE** ボタンを押すたびに、表示中のタブの項目全チェック / 全チェック解除が切替わります。
- 現在のスイッチの位置によらず、STILL モードと CINE モードの両方の設定が保存されます。

QR コードの作成と保存

#P
My Settings
SHOOT 1 2 3 4 5 6

SIGMA fp L Ver.1.00
2021/04/04 11:19:44



SIGMA

「QR コード作成」画面で、一番上にカーソルを合わせ、**▶** ボタンか **OK** ボタンを押すと、「QR コードの保存」画面が表示されます。**OK** ボタンを押すと QR コード画像が記録メディアに保存されます。

- QR コード画像には、記録された設定のアイコン、名称、保存された設定のタブ、カメラモデル名、カメラ FW バージョン、設定の保存日時の情報が記載されます。記録された内容を区別するのにご活用ください。

- QR コード画像は、ファイル名や再生時の扱いが、スクリーンショット機能のキャプチャ画像と同じとなります。「スクリーンショット機能」(P.161) をご参照ください。

設定の読み込み

パソコンのディスプレイなどに表示された QR コードから、設定をカメラに読み込むことができます。

1

「 SYSTEM」→「設定の保存 / 読込み」→「QR コード読み込み」

カメラが QR コード読み込みモードで起動します。画面に表示された枠いっぱいに QR コードを映します。対応する QR コードをカメラが検出すると、自動的に「登録先選択」画面に移ります。

- ピントはマニュアルフォーカスで合わせてください。
- 前後ダイヤルでカメラの表示倍率を x1.0 / x4.0 / x8.0 に切り替えることができます。

記録メディアの画像から読み込む場合

QR コード読み込みモード中に ▼ ボタンを押すと、記録メディアに保存された画像が表示されるので、設定を読み込みたい QR コード画像を選びます。QR コードの読み込みが成功すると設定の名称が表示されます。OK ボタンで確定すると「登録先選択」画面に移ります。

- 画像から QR コードがうまく読み込めない場合は前ダイヤルと上下左右ボタンで、画面に表示される QR コードの大きさや位置を調整します。

2

「登録先選択」画面で登録先を選択し、OK ボタンを押します。確認メッセージが表示されますので、確定する場合は「はい」を選び、OK ボタンを押します。中止したい場合は「いいえ」を選び OK ボタンを押します。

- 「 SYSTEM」の項目が含まれる場合は、システム設定を上書きするか、確認メッセージが表示されます。「いいえ」を選ぶとシステム設定を除いた設定が読み込まれます。

ご注意!!

- 保存を確定すると、以前に保存されていた設定は、新しい設定に上書きされます。

LOCK 機能

ボタン操作などをロックすることにより、誤操作を気にせず撮影に集中できる LOCK 機能を設けています。

- QS メニューにロックの ON/OFF 機能を割り当てる必要があります。QS カスタムより「ロック」を割り当ててください（P.37）。

ロックする

QS メニューで「**LOCK**」を選び、**AEL** ボタンを押すとロックが実行されます。

ロック中は画面下側に **LOCK** アイコンが表示されます。

ロックを解除する

タッチパネルで左から右にスライドします。

または、**QS** ボタンを押し、**AEL** ボタンを押します。

LOCK 中でも操作を有効にするボタン等を指定できます。「**SYSTEM**」→「ロック中の動作」より選択します。

 +REC ボタン	シャッター ボタン、 REC ボタンが有効です。
 +REC ボタン	シャッター ボタン、 REC ボタン、前後ダイヤルが有効です。

フラッシュ撮影について

別売のシグマエレクトロニックフラッシュ EF-630 (FOR SIGMA)を装着することにより、S-TTL 方式による自動調光撮影や、マルチ発光撮影などの多彩なフラッシュ撮影が可能となります。

ご注意!!

- フラッシュ撮影をするときは、ホットシューユニット HU-11（付属）をカメラに取り付けます（P.19）
- 本機は、FP 発光と指定レシーブ発光機能には対応しません。

- 以下の機能、および設定は併用できません。

連続撮影、インターバル撮影、露出 BKT、フォーカス BKT、HDR 撮影、コンポジット低 ISO 拡張で追加された ISO 感度

- フラッシュの同調速度は 1/15 秒以下（画質:DNG および DNG+JPEG、記録ビット数:14bit 設定時は 1/10 秒以下）になります。マニュアル露出でフラッシュ撮影する場合は、シャッタースピードを 1/15 秒以下（1/10 秒以下）に設定してください。

フラッシュモードの設定

外部フラッシュのいくつかの項目については、カメラ側から設定することができます。

「 SHOOT」→「フラッシュ」より設定します。



赤目緩和発光モード「赤目発光」

フラッシュを使用して人物を撮影すると、瞳が赤く写ることがあります。赤目緩和発光モードは撮影される前にプリ発光を行い、赤目現象を緩和することができます。

- 撮影条件や個人差により、完全に赤目現象を除去できない場合があります。



後幕シンクロモード「後幕シンクロ」

シャッター幕が閉じる直前にフラッシュが発光します。動く被写体の後方に流れる光や軌跡が撮影できるため、自然な動きが表現できます。



スローシンクロモード「スローシンクロ」

P / A モード時のフラッシュ撮影では、シャッター速度が手ぶれを起こしにくいシャッター速度に制限されますが、スローシンクロモードに設定すると、明るさに応じて 30 秒までのスローシャッターで制御されます。夜景と人物の両方に露出の合った写真を撮ることができます。

AF 補助光「AF 補助光」

AF 補助光が撮影の妨げになる場合、「**AF 補助光**」の設定から「**切**」を選択することで発光機能を止めることができます。

ご注意!!

- フラッシュモードは、フラッシュを取り付けていない状態、またはフラッシュの電源が OFF の状態では設定できません。

調光補正

背景の露出には影響を与えずに、フラッシュの光量のみ補正することができます。

「**SHOOT**」→「**フラッシュ**」→「**調光補正**」より設定します。

◆ボタンで補正量をセットします。

- 補正量は 1/3 段ステップで、±3 段までできます。



設定すると、設定アイコンと補正值が表示されます。

ご注意!!

- 調光補正是、フラッシュを取り付けていない状態、もしくはフラッシュの電源が OFF の状態では設定できません。
- 調光補正是自動的に解除されません。撮影が完了したら、上記手順にて補正量を**±0.0**に戻してください。

その他の設定変更

「  SHOOT」の項目から設定できるその他の内容を説明します。

カラースペース

(STILL)

一般的な色空間である sRGB か、主に商用印刷など業務分野で使われている Adobe RGB を選択できます。

「 SHOOT」→「カラー設定」→「カラースペース」

sRGB (初期設定)	Adobe RGB
	Adobe RGB で記録された画像は、再生時のフォルダ番号一ファイル番号の下にラインが表示されます。

ご注意!!

- 通常、カラースペースは sRGB に設定してください。Adobe RGB に設定された画像は、Adobe RGB に対応した環境下にてご使用ください。

レンズ機能設定

レンズに関する機能の項目を「  SHOOT」→「レンズ機能設定」にまとめています。

フォーカスモード (P.52 参照)	光学式手ブレ補正 (P.67 参照)
フォーカスリミッター (P.58 参照)	AFL ボタンの機能

AFL ボタンの機能

AFL ボタンを搭載したレンズの、AFL ボタンの機能をカスタマイズできます。

AFL (押す間) (初期設定)	AF 作動中に AFL ボタンを押すと、AF がストップします。
AF-ON	AFL ボタンを押すと、AF が作動します。

撮影タイミング表示

(STILL)

シャッターボタンを押したタイミングで、画面に黒い画像を表示させるか、させないかを設定します。

切	入（初期設定）
---	---------

フレームガイド



(CINE)

異なるアスペクト比などを考慮した撮影を行う際、構図決定に便利なフレームガイドを表示することができます。

- フレームガイドの表示の有無は、**[DISP]**（ディスプレイ）モード設定（P.148）の「フレームガイド」から設定できます。
- ティレクターズビューファインダー使用時も表示できます。
- 複数のフレームを同時に表示できます。表示したいオプションを「入」にしてください。

1.33 : 1	1.85 : 1	2.39 : 1
カスタムフレーム 1	カスタムフレーム 2	

- それぞれ表示スタイルを設定できます。「入」から設定してください。

スタイル	表示色
線幅	シェーディング

スタイル

実線	上下
コーナー	左右

線幅

1ピクセルから10ピクセルの範囲で指定できます。

ご注意!!

- 他の設定条件によって、線幅が指定通りに表示されない場合があります。

表示色

白	赤	緑	青
黒	黄色	シアン	マゼンタ

シェーディング

フレーム外を半透明で暗くマスクします。

切（初期設定）

入

カスタムフレーム

任意のアスペクト比、もしくは撮像素子上の絶対寸法を数値入力して表示することができます。

「カスタムフレーム 1」もしくは「カスタムフレーム 2」→「入」から設定してください。

- 「FORMAT」タブの「入力」から入力方法を選びます。

センサーエリア	撮像素子上の寸法を指定して、フレームガイドを表示します。
アスペクト比	任意のアスペクト比を指定して、フレームガイドを表示します。

「センサーエリア」での入力

「幅/高さ」入力画面で、幅と高さを指定します。

例えば、幅 20mm、高さ 10mm で表示させたい場合は、**20.00 x 10.00 mm** と入力し、OK ボタンで確定します。設定画面上に、その際のアスペクト比 **2.00 : 1** と表示されます。

- 動画撮影時の撮像素子の最大値は、幅 35.80、高さ 20.14 mm です。
- 入力した数値のアスペクト比を保ったまま、サイズを変更することができます。「アスペクト比/スケーリング」入力画面でパーセンテージを（100~1%）指定します。例えば 20.00 x 10.00 mm を 10.00 x 5.00 mm にしたい場合は **50%** と入力し、OK ボタンで確定します。

- 「アスペクト比/スケーリング」入力画面で、アスペクト比を再調整できます。
- 「アスペクト比/スケーリング」入力画面で調整した値は、再度「幅/高さ」から変更が入るとリセットされます。
- クロップズーム、ディレクターズビューファインダーでフレームガイドの表示範囲が変化します。

「アスペクト比」での入力

「アスペクト比」入力画面で、アスペクト比を指定します。

- 動画の基本のアスペクト比は、16.00 : 9 です。
- 16.00:9 よりも横長のフレームガイドは横に、縦長のフレームガイドは縦にフィットされます。

メモ

- カスタムフレームのフレームガイドは、中心をずらすことができます。
「OFFSET」タブの「オフセット」入力画面で、ずらす方向、数値を指定してください。
- カスタムフレームのフレームガイドも、表示スタイルを設定することができます。「STYLE」タブの各オプションから設定してください。

ダイヤル設定

ダイヤルの機能の割り当てや、操作方向の反転が可能です。

ダイヤル機能	操作方向の反転
ダイヤル操作の禁止 (CINE)	

ダイヤル機能

各露出モードでの、前後ダイヤルの機能の割り当てを変更できます。



変更したい露出モードとダイヤルを選び、OK ボタンで確定します。



leftrightarrow ボタンで割り当てる機能を選び、OK ボタンで確定します。

- 初期状態に戻したいときは、初期状態に戻したい個所を選び、**MODE** ボタンを押し、**OK** ボタンで確定します。
- 前後ダイヤルに割り当てられた機能の前後を入れ替えることができます。入れ替えたい露出モードの **◆** を選び、**◆** ボタンで入れ替え、**OK** ボタンで確定します。
- CINE モード（CINE スタイル）時に機能を割り当てたい場合は「ダイヤル操作の禁止」→「切」に設定してください。

操作方向の反転

撮影時のダイヤルの操作方向を反転できます。

変更したい項目を選び、**<>** ボタンで「しない」「反転する」を選んだあと、**OK** ボタンで確定します。

カスタムボタンの機能

以下のボタンは、カスタムボタンとして任意の機能を割り当てることができます。

AEL (P.88)	▲▼<> (方向ボタン)	
TONE	COLOR	MODE

- 「**▲▼<>**」内の「ダイレクトフォーカスフレーム移動」は、**<>** ボタンで直接フォーカスフレーム（多点オート時は多点測距エリアフレーム）を移動できる機能です。使用したい場合は「入」にしてください。
- 方向ボタンに割り当てられる機能で、「ダイレクト…」についているものは、**<>** ボタン、もしくは **◆** ボタンで、直接オプションを選択できます。

ご注意!!

- STILL モード専用の機能を割り当てたボタンは CINE モードで、CINE モード専用の機能を割り当てたボタンは STILL モードで使用できなくなります。

シャッターボタンの設定

シャッターボタンの機能や、半押し時の動作を変更できます。

シャッターボタンの機能 (CINE)	半押し AEL (STILL)
半押し AF-ON	

シャッターボタンの機能

(CINE)

CINE モード時のシャッターボタンの機能を変更できます。

切	シャッター	REC (初期設定)
---	-------	------------

半押し AEL

(STILL)

シャッターボタンを半押ししたときに、露出を固定するか、しないかを選べます。

切	全押しした時点の露出で撮影されます。
入	シャッターボタンを半押しした時点の露出が固定されます。
AF S のみ (初期設定)	オートフォーカスのモードがAF S 時のみ、半押しした時点の露出が固定されます。

半押し AF-ON

シャッターボタンを半押ししたときに、オートフォーカスを作動させるか、させないかを選べます。

切	入 (初期設定)
---	----------

REC ボタンの機能

(STILL)

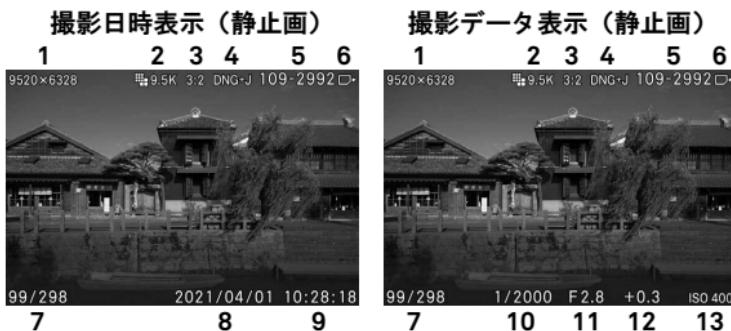
STILL モード時に REC ボタンを機能させないようにできます。

切 (初期設定)	REC
----------	-----

画像の再生、消去

1 画像再生

- ▶ ボタンを押すと画像が再生されます。
- 動画ファイルは、最初のコマが表示されます。
- シネマグラフは、ループ再生されます。



1	記録画素数
2	画像サイズ
3	アスペクト比
4	画質
5	フォルダ番号—ファイル番号
6	記録メディア
7	ファイル順／ファイル数

8	年／月／日
9	時／分／秒
10	シャッタースピード
11	絞り値
12	露出補正值
13	ISO 感度

1 画像再生中は：

- 後ダイヤルを回すと、前後の画像を表示します。
- <> ボタンを押す、またはタッチパネルで左右にフリック（ドラッグ）で前後の画像を表示します。
- □ボタンを押すと、表示モードが切り替わります（P.39）。

メモ

- <>ボタンを押したままにすると、より速く画像を切り替えることができます。画像の切替えは、ボタンを離すまで自動的に行われます。
- 最初と最後の画像はリンクしています。最初の画像で < ボタンを押すと最後の画像が表示されます。また、最後の画像で > ボタンを押すと最初の画像が表示されます。
- 記録メディアに画像がない場合は、「画像がありません」と警告表示されます。
- 画像の再生中でも、□ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影を始めることができます。

ご注意!!

- 他のカメラで撮影した画像や、ファイル名を変更したり、カード内のDCIMフォルダから移動させた画像ファイルは、表示できない場合があります。

拡大表示する（静止画のみ）

1 画像再生中に前ダイヤルを右に回す、またはタッチパネルでピンチアウトします。

- ダイヤルを回すたびに拡大率が上がります。

等倍→X1.25→X1.6→X2.0→X2.5→X3.15→X4.0→X5.0→X6.3→X8.0→X10.0

- OKボタンを押す、またはタッチパネルでダブルタップするたびに拡大表示（10x）／等倍表示が繰り返されます。

拡大表示中は：

- 前ダイヤルを左に回す、またはタッチパネルでピンチインすると縮小されます。
- <>ボタンを押す、またはタッチパネルでフリック（ドラッグ）で再生部分を移動できます。
- 後ダイヤルを回すと、前後の画像を表示します。

メモ

- 拡大表示は、撮影時のフォーカスポイントの位置を基準に拡大表示されます。

9 画像表示（コンタクトシート表示）



「コンタクトシート」では、9 画像を一度に表示することができます。

1 画像再生中に前ダイヤルを左側に回します。

コンタクトシート表示では：

- <◆>ボタン、または後ダイヤルを回して、他のサムネイル画像を選択します。
- 前ダイヤルを右に回すと、選択されているサムネイルの画像が再生されます。
- タッチパネルで任意のサムネイルをタップすると、その画像が 1 画像再生されます。
- タッチパネルでフリックすると、前後のページが表示されます。

メモ

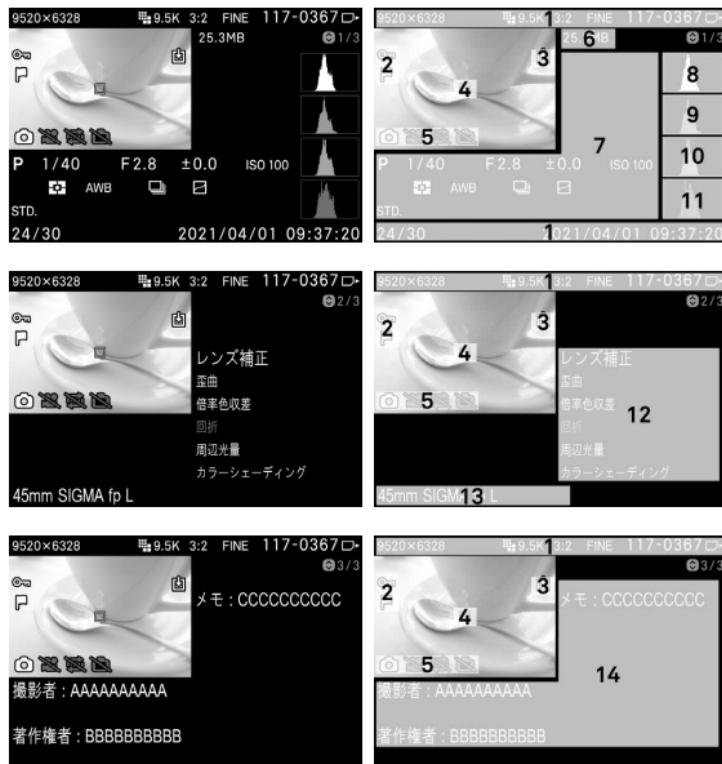
- 最初のページと最後のページはリンクしています。最初のページの前は最後のページ、最後のページの次は最初のページが表示されます。

画像情報を見る

撮影時の詳細な情報を見ることができます。

1 画像再生中に |□| ボタンを数回押します。

- 画像情報表示は3ページあります。◆ボタンを押す、またはタッチパネルで上下にフリックでページを切り替えます。



1	画像再生「撮影日時表示」と同じ	8	ヒストグラム（輝度）
2	ロック／マーク ※	9	ヒストグラム（赤）
3	カメラ内 DNG 現像	10	ヒストグラム（緑）
4	フォーカスフレーム	11	ヒストグラム（青）
5	再生表示フィルター ※	12	レンズ光学補正情報
6	ファイルサイズ	13	レンズ焦点距離／カメラ名
7	撮影情報	14	著作権情報

※設定時のみ表示されます。

- カラー モードの「切」は、アイコンが表示されません。

- 動画は「ファイルサイズ」の下に記録時間が表示されます。
- シネマグラフは、「ファイルサイズ」の下に再生時間と再生速度が表示されます。

画像情報表示では：

- 後ダイヤルを回すと、前後の画像を表示します。
- <> ボタンを押す、またはタッチパネルで左右にフリックで前後の画像を表示します。
- |□| ボタンを押すと、表示モードが切り替わります（P.39）。
- 動画は OK ボタンを押す、またはタッチパネルで □ アイコンをタップすると1画像再生画面に移り、動画が再生されます。

画像情報表示での拡大表示（静止画のみ）



画像情報表示中に前ダイヤルを右に回す、またはタッチパネルでピンチアウトすると画像が拡大され、特定領域の詳細なヒストограмを見ることができます。

- OK ボタンを押す、またはタッチパネルでダブルタップするたびに拡大表示（10x）／等倍表示が繰り返されます。
- ヒストограмについての詳細は次の項目をご覧ください。

画像情報表示での拡大表示中は：

- <> ボタンを押す、またはタッチパネルでフリック（ドラッグ）で再生部分を移動できます。前ダイヤルを右に回すとより拡大、左に回すと縮小されます。
- 後ダイヤルを回すと、前後のページを表示します。

ご注意!!

- 拡大表示中は、画像情報表示の他のページには移動できません。

ヒストグラム

ヒストグラムは、画像の明るさの分布をグラフ表示にしたもので。水平軸は明るさのレベルを示し、左方向ほど暗く、右方向ほど明るくなります。垂直軸は各明るさの画素の登場回数を表しています。グラフの分布状態を見ることにより、露出の判断の参考にすることができます。



露出アンダー傾向



適正



露出オーバー傾向

本機のヒストグラム表示は、輝度（RGBを合わせた値）R（赤）G（緑）B（青）それぞれのレベルを同時に表示するしくみになっています。（撮影モード時に表示されるヒストグラムは輝度のみです。）

- 拡大表示でのヒストグラムを見ることにより、任意の部分の露出を判断することもできます。

ファイルの消去

消去ボタンで消去する

（消去）ボタンでは、現在表示中の画像のみ消去できます。

1

消去したい画像を表示し、（消去）ボタンを押します。（「この画像を消去しますか？」と確認メッセージが表示されます）

2

（OK）ボタンで「はい」を選び、（OK）ボタンを押して確定します。
中止したい場合は「いいえ」を選び（OK）ボタンを押します。

ご注意!!

- 画像がロックされている場合は「この画像はロックされています。」と確認メッセージが表示され、消去から保護されます。消去したい場合は、はじめにロックを解除してください。（P.129-131 参照）
- DNG+JPGで記録された画像は、DNG画像、JPEG画像共に消去されます。

消去メニューから画像を消去する

ひとつの画像、あるいは複数画像をまとめて消去することができます。

1

「 PLAY」→「消去」より希望の方法を選択します。

画像選択	複数の画像を選択して消去します。  ボタンで消去したい画像を表示させ、  ボタンで ■ アイコンを表示させます。この操作を繰り返して消去したい画像を指定します。
現在の画像	現在の1画像のみ消去します。
マーク画像	カード内に記録されたマークした画像をすべて消去します。（画像のマークについては P.131-132 をご覧ください。）
全画像	カードに記録されたすべての画像を消去します。

2

ボタン、またはボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。

3

ボタンで「はい」を選び、ボタンを押して確定します。

中止したい場合は「いいえ」を選びボタンを押します。

ご注意!!

- ロックされた画像は消去されません。（画像のロックについては P.129-131 をご覧ください。）
- 「画像選択」「マーク画像」「全画像」の消去は、カード内の画像数によって、かなりの時間が掛かることがあります。

動画を再生する



動画ファイルの表示中に **OK** ボタンを押す、またはタッチパネルで **▶** アイコンをタップすると、動画が再生されます。



再生経過時間
00:14:57

総記録時間
08:46:23

ご注意!!

- ご使用のカードによっては、再生が開始されるまでに時間がかかったり、再生が一時中断される場合があります。

動画再生中は…

ボタン / ダイヤル	動作
OK	一時停止
>	早送り再生
<	逆早送り再生
前後ダイヤル	逆早送り再生 ↔ 早送り再生

▶ ボタンを押すごとに、または前後ダイヤルを時計方向に回すごとに再生速度が速くなります。**<** ボタンを押すごとに、または前後ダイヤルを反時計方向に回すごとに減速します。)

再生速度:

X1→X1.2→X1.5→X2→X4→X8→X16→X32→X64→X128→X256→X512

- X1~X2 は音声付で再生されます。
- 逆再生での速度は X1.2~X512 です（音声は再生されません）。

一時停止中は…

ボタン / ダイヤル	動作
OK	再生
>	コマ送り再生
<	逆コマ送り再生
前後ダイヤル	逆コマ送り再生 ↔ コマ送り再生

- 動画の再生中、または一時停止中に **|□|** ボタンを押すと、操作ガイドの表示、非表示を切り替えできます。

音量の調整



動画の表示中に **▼** ボタンを押すと、音量設定ガイドが表示されます。◆ボタンで音量を調整し、OKボタンで確定します。

動画から写真を切り出す

動画ファイルから任意のフレームの写真を作成できます。

1

動画を再生し、写真にしたいフレームで一時停止させます。

- 希望のフレームで止められなかった場合は一時停止中に**◀▶**ボタンか前後ダイヤルでコマ送り再生してください。

2

▲ボタンを押して「**DNG 保存**」か「**JPEG 保存**」を選択します。

- 「**DNG 保存**」は動画ファイルの「フォーマット」が「**CinemaDNG**」の場合のみ選択できます。

3

「**はい**」を選び、OKボタンを押して確定します。

- 画像のサイズは、動画ファイルの「**解像度**」の設定によります。

UHD	3840×2160
FHD	1920×1080

- 「**JPEG 保存**」で保存される画像の「**画質**」は「**FINE**」になります。
- 「**DNG 保存**」で保存される画像の「**DNG 品質**」は、動画ファイルの「**記録ビット数**」の設定によります。
- 作成された画像のファイル番号は、メディアに入っている最後の静止画ファイルの次の番号が割り当てられ、DCIM フォルダ側のサブフォルダに保存されます。

再生時のその他の機能

再生表示フィルター



画像の種類を限定して表示、再生することができます。

「 PLAY」→「再生表示フィルター」より設定します。

すべて表示（初期設定） OFF	
静止画のみ表示	シネマグラフのみ表示
動画のみ表示	スクリーンショットのみ表示

- 再生フィルターを設定していても、その後、表示が禁止されている種類の画像が撮影された場合、フィルターは解除されます。

ロック

ロックは、誤って画像を消去することを防ぎます。

警告!!

- カードの初期化を行うと、ロックされている画像も消去されます。カードの初期化を行うときは十分注意してください。

メモ

- ロックされた画像は、パソコンでは「読み取り専用」と表示されます。

ひとつの画像のロックする

1

ロックしたい画像を表示し、「 PLAY」→「ロック」を選択します。

2

サブメニューで「ロック」を選択します。

3

OKボタン、または>ボタンを押します。

9520×6328



- ロックされた画像にOKマークが表示されます。

メモ

- 画像が既にロックされている場合は、「ロック解除」と表示されます。
- ロックを解除するには、ロックされた画像を選択し、上記と同じ手順で解除します。
- AELボタンをロックのショートカットボタンに設定できます(P.141参照)。

複数の画像をロックする

1

「PLAY」→「ロック」より希望の方法を選択します。

画像選択	複数の画像を選択してロックします。<>ボタンでロックしたい画像を表示させ、◆ボタンでOKアイコンを表示させます。この操作を繰り返してロックしたい画像を指定します。
■ロック	マークされた画像をすべてロックします。(画像のマークはP.131-132をご覧ください。)
全ロック	すべての画像をロックします。

2

OKボタン押すと、確認メッセージが表示されます。

3

<>ボタンで「はい」を選び、OKボタンを押して確定します。

中止したい場合は「いいえ」を選びOKボタンを押します。

- ロックされた画像にはすべて、OKマークが表示されます。

ご注意!!

- 「画像選択」 「■ ロック」 および 「■ ロック解除」 は、カード内の画像数によって、かなりの時間が掛かることがあります。

メモ

- 複数の画像をロック解除するには、ロックメニューの「全ロック解除」か 「■ ロック解除」 を選択します。

マーク

お気に入りの画像の区分け、スライドショーや消去画像の選別等に便利です。

メモ

- カメラでマークした画像は、**SIGMA Photo Pro** 上でもマーク状態と表示されます。

ひとつの画像をマークする

1

マークしたい画像を表示し、「**PLAY**」 → 「マーク」を選択します。

2

サブメニューで「マーク」を選択します。

3

OKボタン、または ▶ボタンを押します。

9520×6328

- マークされた画像に ■ マークが表示されます。



メモ

- 既にマークされている場合は、「マーク解除」と表示されます。

- マークを解除するには、マークされた画像を選択し上記と同じ手順で解除します。
- AEL**ボタンをマークのショートカットボタンに設定できます（P.141 参照）。

複数の画像をマークする

1

「 PLAY」→「マーク」より希望の方法を選択します。

画像選択	複数の画像を選択してマークします。<>ボタンでマークしたい画像を表示させ、◆ボタンで■アイコンを表示させます。この操作を繰り返してマークしたい画像を指定します。
全画像マーク	すべての画像をマークします。

2

OKボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。

3

<>ボタンで「はい」を選び、OKボタンを押して確定します。

中止したい場合は「いいえ」を選び OKボタンを押します。

- マークされた画像にはすべて ■マークが表示されます。

ご注意!!

- 「画像選択」「全画像マーク」および「全画像マーク解除」は、カード内の画像数によって、かなりの時間が掛かることがあります。

メモ

- マークされた画像をすべて解除するには、マークメニューの「全画像マーク解除」を選択します。

回転

(STILL)

画像の表示方向を回転できます。

ひとつの画像を回転する

1

回転させたい画像を表示し、「**PLAY**」→「回転」を選択します。

2

サブメニューで、希望の回転方向を選択します。

C 回転	画像を右回り（時計方向）に 90 度回転します。
○ 回転	画像を左回り（反時計方向）に 90 度回転します。

ご注意!!

- 「**PLAY**」の「回転表示」が「切」になっていると、回転メニューは選択できません。

メモ

- 180 度回転する場合は同じ方向に 2 回、回転させます。
- 元に戻すには、反対方向に回転させます。
- AEL** ボタンを回転のショートカットボタンに設定できます（P.141 参照）。
- カメラで回転させた画像は、**SIGMA Photo Pro** でも同じ向きで表示されます。

複数の画像を回転する

1

「**PLAY**」→「回転」→「画像選択」を選択します。

2

↖ボタンで回転したい画像を表示させ、右回転させたい場合は ▲ボタン、左回転させたい場合は ▼ボタンを押します。この操作を繰り返して回転させたい画像を指定します。

3

OKボタン押すと、確認メッセージが表示されます。

4

<>ボタンで「はい」を選び、OKボタンを押して確定します。

中止したい場合は「いいえ」を選び OKボタンを押します。

スライドショー

スライドショー機能ですべての画像、あるいは選択した画像を自動再生できます。

1

「 PLAY」→「スライドショー」から、「全画像」「ロック画像」「マーク画像」のいずれかを選択します。

2

OKボタン、または > ボタンを押すと、スライドショーが始まります。

スライドショーを途中で停止したい場合は、OKボタンを押します。

- 動画、シネマグラフは、1回再生され、次の画像に移ります。
- 再生表示フィルター（P.129）を併用すると、設定された種類の画像だけでスライドショーができます。

ご注意!!

- 「マーク画像」を選択した場合、カード内の画像数によっては、スライドショーが開始されるまで、かなりの時間が掛かることがあります。

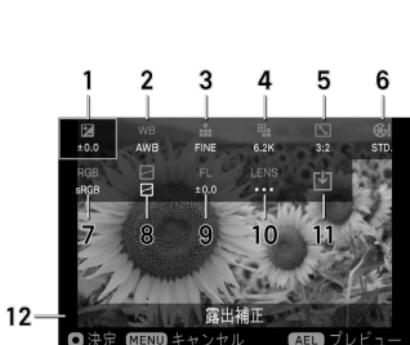
スライドショーの設定を変更する

「 PLAY」→「スライドショー」→「スライドショー設定」から設定します。

表示間隔	2秒 5秒 10秒	画像が表示される時間を設定します。
繰り返し	しない する	スライドショーを繰り返すか、自動終了するかを設定します。

DNG 現像

パソコンを使わずに、DNG 形式で記録された画像から、JPEG 形式の画像を作成することができます。



1	露出補正 (P.87)
2	ホワイトバランス (P.89)
3	画質 (P.71)
4	画像サイズ (P.72)
5	アスペクト比 (P.73)
6	カラーモード (P.93)
7	カラースペース (P.114)
8	トーンコントロール (P.96)
9	Fill Light (P.97)
10	レンズ光学補正 (P.98)
11	現像実行アイコン
12	選択されている項目

1

現像したい DNG 画像を表示し、「**PLAY**」→「**DNG 現像**」を選択します。

画像選択	◀▶ ボタンで現像したい画像を表示させ、OK ボタンを押して確定します。 ● 「画像選択」は、手順 1 で画像を表示していなくても実行できます。
現在の画像	手順 1 で表示した画像が選ばれます。

2

DNG 現像設定画面で、◀▶ボタンで変更したい項目を選び、OK ボタンを押して確定します。

- 項目、オプションによっては、詳細な設定が可能です。AEL ボタンを押して詳細設定画面を表示させてください。詳しくは各項目のページを参照してください。

3

画像を確認しながら、前後ダイヤル、または **<>** ボタンを押して調整値（またはオプション）を変更し、**OK** ボタンを押して確定します。

4

変更したい項目が複数ある場合は、手順 **2~3** を繰り返します。

5

一通り設定が完了したら、**▽**（現像実行アイコン）を選び **OK** ボタンを押します。

6

<> ボタンで「はい」を選び、**OK** ボタンを押して確定します。

中止したい場合は「いいえ」を選び **OK** ボタンを押します。



- 再生時、DNG データから作成された JPEG 画像には **▽** マークが表示されます。

- 作成された JPEG 画像のファイル番号は、カードに入っている最後のファイルの次の番号が割り当てられます。

ご注意!!

- カードに十分な容量が無い場合、警告メッセージが表示され、DNG 現像を実行できません。
- より細かな調整が必要な場合は **SIGMA Photo Pro** での現像をおすすめします。

シネマグラフ

撮影済みの動画ファイルから、画像の一部だけが動いている「シネマグラフ」を作成できます。

- 「ディレクターズビューファインダー」で記録された動画ファイルからは、シネマグラフを作成できません。

シネマグラフ編集画面



1	開始フレーム指定
2	終了フレーム指定
3	静止画フレーム指定
4	マスク範囲
5	再生スピード
6	折り返し再生
7	露出補正
8	カラー モード (元動画のフォーマットが Cinema DNG のときのみ設定可能)
9	書き出し実行アイコン
10	選択されている項目

1

「 PLAY」→「シネマグラフ」→「新規作成」を選択します。

2

シネマグラフ化したい動画を選択して OKボタンを押します。(シネマグラフ編集画面に移ります。)



3

開始フレームを指定します。 ボタンで IN を選び、 OKボタンを押します。 ボタンを押して動画を再生し、開始したいフレームで一時停止させ、 OKボタンを押します。)

1. タイムコード

2. 切り出し範囲の時間

4

終了フレームを指定します。 ボタンで OUT を選び、 OKボタンを押します。同様に終了したいフレームで一時停止させ、 OKボタンを押します。)

- 動画から切り出せる時間は、元動画のフレームレートによって異なります。

- 終了フレームを切り出し可能の時間を超えたフレームに指定すると、開始フレームが自動的に移動して調整されます。

5

静止画フレームを指定します。(<>ボタンで  を選び、OKボタンを押します。同様に静止画にしたいフレームで一時停止させ、OKボタンを押します。)

- 一時停止中に AEL ボタンを押すと、開始フレームに戻ります。
- 再生中に AEL ボタンを押すと、開始フレームに戻り一時停止します。
- 静止画フレームは、同一ファイル内であれば、開始 / 終了フレーム外からも指定できます。



6

設定された静止画フレーム内で、動かす範囲を指定します。(<>ボタンで  を選び、OKボタンを押します。タッチパネルで動かしたい範囲を指でなぞり、マスクを取り除きます(ブラシ作業)。

ブラシ作業について

ブラシ作業の殆どはタッチパネルでの作業になります。

- ダブルタップやピンチアウトで画像を拡大して作業できます。拡大中は2本の指でドラックすると、表示部分を移動できます。
-  をタッチすると、作業を戻れます。
-  をタッチすると、戻った作業をやり直します。
- STILL  をタッチすると、なぞった部分がマスクされます。
- MOVING  をタッチすると、なぞった部分のマスクが取り除かれます。
- 作業中でも AEL ボタンで効果を確認できます。
-  ボタンで上部のガイドの表示 / 非表示を切り替えできます。



-  をタッチすると、ブラシオプション画面に移ります。「サイズ」、「硬さ」、「マスクの色」を右側のプレビュー画面を見ながらドラックして調整してください。

7

ブラシ作業が完了したら **OK** ボタンを押します。必要に応じて、以下の設定をしてください。

SPEED	再生スピード	0.25～4.0 倍速(元動画のフレームレートによって、選択できる再生スピードが異なります。)
BOUNCE	折り返し再生	「切」：しない 「入」：する
	露出補正	0.3EV ステップで±1EVまで
	カラー モード	P.91 参照

8

(書き出し実行アイコン) を選び **OK** ボタンを押します。「はい」を選び **OK** ボタンで確定します。

- ・シネマグラフのフォーマットは、元動画のフォーマットに関わらず、MOV ALL-I で作成されます。
- ・シネマグラフの解像度は、元動画の解像度と同じになります。
- ・シネマグラフのフレームレートは、元動画のフレームレートによって、23.98 / 25 / 29.97fps のいずれかに設定されます。
- ・シネマグラフのファイル番号（拡張子：.MOV）は、メディアに入っている最後の静止画ファイルの次の番号が割り当てられ、DCIM フォルダ側のサブフォルダに保存されます。
- ・書き出しにはかなりの時間を要します。書き出し処理は中断できます。
「処理中...」メッセージの表示中に **MENU** ボタンを押します。
- ・再生時間が 1 秒未満のデータになってしまう場合、同じ画像が繰り返し記録され、1 秒以上のデータが作られます。

編集作業を中断しても、続きから再開できます。

一度編集した動画ファイルは、編集状況を記録した編集ファイルが作成され、作業中断後や、書き出し後も再編集できます。

1

「 PLAY」→「シネマグラフ」→「編集」を選択します。

2

編集ファイルがプレビューされますので、編集を再開したいファイルを選択し、**OK** ボタンを押します。

- 編集ファイルには、ファイル番号「Cinemagraph XXX」が付きます。（番号は000～999まで作成されます。）

メモ

- もとの動画ファイルをメディアから移動しない限り、何度でも編集できます。
- 同じ動画ファイルから別バージョンのシネマグラフを作成したいときは「新規作成」から始めてください。ちょっとした変更（再生スピード違い）などは「編集」から始めると便利です。

編集ファイルの消去

不要のない編集ファイルを消去できます。

1

「 PLAY」→「シネマグラフ」→「編集ファイル消去」を選択します。

2

「消去メニューから画像を消去する」(P.126)の「画像選択」と同じ要領で編集ファイルを消去してください。

- もとの動画ファイルは消去されません。

露出警告

露出オーバーで、画像が白く飛んでしまっているハイライト部分を、赤色で警告表示することができます。

「 PLAY」→「露出警告」で、「入」にします。

- 露出警告は、撮影画像確認画面では表示されません。

メモ

- AELボタンを露出警告「入/切」のショートカットボタンに設定できます(P.141参照)。

回転表示

縦位置画像の表示方向を指定できます。

「 PLAY」 → 「回転表示」より設定します。

切	横位置で表示します。
入（初期設定）	縦位置で表示します。

AEL ボタンの機能

AEL ボタンに再生メニューの機能を割り当てることができます。よく使う機能を割り当てて、1 アクションで簡単に行うことができます。

「 PLAY」 → 「AEL ボタンの機能」より設定します。

なし	再生時は機能しません。
ロック	ロックしていない画像上で AEL ボタンを押すとロックされます。既にロックされている画像上で AEL ボタンを押すとロックが解除されます。
マーク	マークしていない画像上で AEL ボタンを押すとマークされます。既にマークされている画像上で AEL ボタンを押すとマークが解除されます。
C 回転	AEL ボタンを押すたびに、画像を右回り（時計方向）に 90 度回転します。
○回転	AEL ボタンを押すたびに、画像を左回り（反時計方向）に 90 度回転します。
露出警告	AEL ボタンを押すたびに露出警告表示の ON/OFF が繰り返されます。
拡大表示	AEL ボタンを押すたびに拡大表示（10x）/ 等倍表示が繰り返されます。
再生表示フィルター 切替（初期設定）	AEL ボタンを押すたびに、再生表示フィルターの切り替えができます。

[SYSTEM]メニューから設定する

「 SYSTEM」の項目から設定できる内容を説明します。

記録メディアの初期化

- カードの初期化（P.42）の項目を参照してください。（USBストレージの初期化は「USBストレージ」を選択したと、同手順で初期化してください）

記録メディア

ふたつの記録メディアがセットされているときは、この項目から、記録・再生するメディアを選択します。

SDカード 

USBストレージ 

ご使用のUSBストレージ（SSD）によっては、データの書き込みに不具合が生じる場合があります。その際は、書き込みモードを変更すると不具合が解消する場合があります。

USBストレージを接続した状態で、「USBストレージ」→「書き込みモード」で、「標準」から「カスタム」に変更してください。

- 「カスタム」に設定すると  アイコンがオレンジ色で表示されます。

ファイル名/番号

(CINE/STILL)

記録されたデータは、静止画と動画でそれぞれ専用のファイル名、ファイル番号が付けられ、専用のフォルダに保管されます。

(STILL)

静止画データ(JPEG、DNG)

フォルダ	サブフォルダ	ファイル名・ファイル番号
DCIM	100SIGMA	SDIM0001
	⋮	⋮
	999SIGMA	SDIM9999

ファイル番号のあとに、JPEGデータの場合「.JPG」、DNGデータの場合、「.DNG」の拡張子がつきます。

ファイル名

ファイル名の頭4文字を「SDIM」か「FPL0」のいずれかから選べます。

SDIM**** (初期設定)	FPL0****
-----------------	----------

- 「**SHOOT**」→「カラー設定」→「カラースペース」で「**Adobe RGB**」が選択されると、ファイル名の「SDIM」は「_SDI」、「FPL0」は「_FPL」となります。

ファイル番号

ファイル番号の付き方を変更できます。

通し番号 (初期設定)	連続でファイル番号が付けられます。記録メディアを替える場合番号は継続されます。
オートリセット	記録メディアを替えた場合、メディアの初期化で番号がリセットされます。

ご注意!!

- フォルダ番号—ファイル番号が "999-9999"に達した場合、カード、ストレージに空き容量があっても、「静止画のファイル番号割り当てができません。」とメッセージが表示され、それ以上撮影ができなくなります。その場合は、新しいカード、ストレージに交換してください。

(CINE)

動画データ(MOV)

フォルダ	カメラ ID・リール番号_クリップ番号_撮影日
CINEMA	A001_001_20220725.MOV ⋮ A001_999_20220725.MOV

動画データ(CinemaDNG)

フォルダ	サブフォルダ カメラ ID・リール番号_ クリップ番号	カメラ ID・リール番号_ クリップ番号_ 撮影日_ ファイル番号
CINEMA	A001_001 ⋮ A001_999	A001_001_20220725.WAV A001_001_20220725_000001.DNG A001_001_20220725_000002.DNG ⋮

- CinemaDNG は、サブフォルダ内のすべての静止画 DNG データ（拡張子.DNG）と、ひとつの音声ファイル（拡張子.WAV）で構成されています。ファイルを転送する際は、サブフォルダごと移動してください。

カメラ ID

カメラ ID 「A」（初期設定）～「Z」を付けられます。

リール番号

リール番号「001」（初期設定）～「999」を付けられます。

クリップ番号

クリップ番号の付き方を変更できます。

通し番号	連続でクリップ番号が付けられます。記録メディアを替えても番号は継続されます。
オートリセット (初期設定)	記録メディアを替えたり、メディアの初期化で番号がリセットされます。

ご注意!!

- クリップ番号が "999" に達した場合、カード、ストレージに空き容量があっても、「動画のファイル番号割り当てができません。」とメッセージが表示され、それ以上撮影ができなくなります。その場合は、カメラ ID、リール番号を変更してください。

著作権情報

撮影時に「撮影者」、「著作権者」の情報とメモを Exif 情報に記録できます。

- それぞれ半角英数字・記号で 48 文字まで入力できます。

1

著作権情報画面で「撮影者名入力」、「著作権者名入力」、「メモ入力」のいずれかを選び、「文字の入力方法」(P.145) の手順に従い、文字を入力します。

2

文字の入力が完了したら、「著作権情報記録」で「入」を選択します。（その後の撮影から画像に著作権情報が記録されます。）

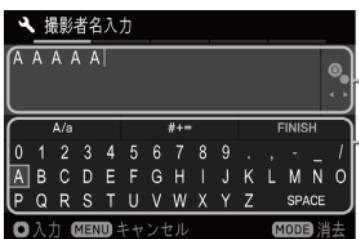
メモ

- 記録された情報は、画像情報表示 3/3 (P.122) で確認できます。
- 記録された情報は、**SIGMA Photo Pro** の「撮影情報ウインドウ」や Exif 対応ソフトで確認することができます。

ご注意!!

- カメラを貸したり譲渡するときなどは、「著作権情報記録」を「切」にしてください。また各入力項目は空欄にしてください。
- 著作権情報記録によるトラブルや損害が生じた場合、当社では一切責任を負いません。

文字の入力方法



入力文字表示エリア

入力文字表示エリアのカーソルは前後ダイヤルで移動できます。

キーボードエリア

キーボードエリアのカーソルは<>ボタンで移動できます。

キーボードエリアで入力したい文字を選び、OK ボタンを押して入力します。

A/a	キーボードをアルファベットに切り替えます。 アルファベットの表示中は、押すごとに大文字/小文字を切り替えます。
#+=	キーボードを記号に切り替えます。
SPACE	1 文字分のスペースを挿入します。

2

一通り文字を入力したら、FINISH を選び、OK ボタンを押して確定します（前の画面に戻ります）。

- MENU ボタンを押すと、入力した文字はキャンセルされ、前の画面に戻ります。

入力した文字を消したい場合

前後ダイヤルで名前エリアのカーソルを消したい文字の後ろ側に移動し、MODE ボタンを押します。

- 空欄にしたい場合は、**MODE** ボタンですべての文字を消去し、**OK** ボタンで確定します。

タイムコード

(CINE) 動画撮影時、自動的にタイムコードが記録されます。記録されるタイムコードの設定をします。

- CINE モード（CINE スタイル）時は QS メニューからも設定できます。
- 撮影時、液晶モニターにタイムコードを表示するか、しないかは、ディスプレイモード（P.148）の「TC/記録時間」から設定できます。

ご注意!!

- 本機は外部機器との同期機能は備えていません。

タイムコード

タイムコードのスタート時間を設定します。

00 : 00 : 00 : 00	時 : 分 : 秒 : フレーム
--------------------------	------------------

- リセットしたい場合は **MODE** ボタンを押してください。
- カウントモードを「DF」（ドロップフレーム）にした場合、秒とフレームの間の「:」が「;」に変わります。
- 指定できるフレームの数値はフレームレートによって変わります。

23.98fps	24fps	25fps	29.97fps	48fps	50fps	59.94fps	100fps	119.88fps
0~23	0~23	0~24	0~29	0~23	0~24	0~29	0~24	0~29

- フレームレートが 23.98fps、24fps、48fps のとき、フレームは 4 の倍数でのみ指定できます。

RUN モード

タイムコードのカウント方法を選択します。

REC RUN	(レックラン) 動画の記録時間のみカウントします。
FREE RUN (初期設定)	(フリーラン) 記録しない時間（電源 OFF 中も含む）も含めカウントします。

カウントモード

タイムコードのカウント方法を選択します。

DF	(ドロップフレーム) ドロップフレームによる誤差を補正して記録します。
NDF (初期設定)	(ノンドロップフレーム) ドロップフレームによる誤差を補正せずに記録します。

外部入力(TC-IN) (切／入)

他社製タイムコードジェネレーター（Timecode Systems UltraSync ONE 等）を接続するときは「入」にします。

- ジェネレーターは、外部マイク端子に接続します。正常に接続されると、タイムコード表示部に **EX** アイコンが表示され、ジェネレーターで設定されたタイムコードが表示されます。接続されていない状態、もしくは接続に何らかの異常はある場合は、赤い **EX** アイコンが点滅表示されます。
- 映像記録設定のフレームレートとジェネレーターのフレームレートの設定を一致させてください。詳しくはジェネレーターの使用説明書をご参照ください。

ご注意!!

- 「外部入力」が「入」のとき、音声は記録できません。

HDMI 出力 (切／入)

HDMI ケーブルで接続する機器に、タイムコードを出力するか、しないかを設定します。

STILL / CINE 連動設定

露出

CINE モードと STILL モードで、露出に関する設定を連動させるか、させないかを選択できます。

切	CINE モードと STILL モードで、独立して設定できます。
入 (初期設定)	CINE モードと STILL モードで、同じ設定になります。

以下の設定が連動/非連動の対象になります。

撮影モード、シャッター、絞り、露出補正、ISO 感度

ご注意!!

- カスタムモードの登録をする際、連動設定が「切/入」に関わらず、登録される設定は共通になります。現状の CINE/STILL スイッチのポジションにおける設定が保存されます。

撮影スタイル

(CINE)

- (P.43) を参照してください。

CINE	STILL ライク
------	-----------

- 「CINE」で、さらに ▶ボタンを押すと、「シャッターモード」と「ダイヤル操作の禁止」の設定を変更することができます。

カスタムモードの登録

- (P.106) を参照してください。

QS カスタム

(CINE/STILL)

- (P.37) を参照してください。

|□| (ディスプレイ) モード設定

(CINE/STILL)

撮影時に表示されるアイコン類の大きさを変更したり、撮影に便利な機能を追加することができます。

- CINE モード (STILL ライクスタイル) と STILL モードは、ほぼ共通の設定になります。

カスタマイズしたいモード（カスタム1～4）を「入」にし、**▶**ボタンを押すとオプションが表示されます。

- 表示させたくないモードは「切」にしてください。

文字サイズ

文字、アイコンの大きさを選べます。

標準	大
----	---

ご注意!!

- 文字サイズ「大」は、設定や場面によって、表示される情報が省略される場合があります。

情報表示

撮影情報表示の量を選べます。

切	最小
フォーカスフレームのみ	標準

- どの設定でも警告に関するアイコンは表示されます。

レンズ情報

(CINE/STILL)

装着中のレンズの情報を表示できます。

切	撮影距離※
焦点距離	焦点距離+撮影距離※

※撮影距離の単位を選択できます。**▶**ボタンを押して「撮影距離の単位」画面で選択します。

M (メートル)	FEET (フィート)
----------	-------------

日付 / 時刻

日付や時刻を表示できます。

切	時刻
日付	日付+時刻

TC/記録時間

(CINE)

TC (タイムコード)、記録時間を表示できます。

切	記録時間
TC	TC+記録時間

グリッド線

構図の決定に便利なグリッド線を表示できます。

切	- 16分割(黒)	- 9分割(白)
- 4分割(黒)	- 対角線(黒)	- 16分割(白)
- 9分割(黒)	- 4分割(白)	- 対角線(白)

フレームガイド（切／入）

(CINE)

- (P.115) を参照してください。

センターマーク

(CINE)

画面の中心を示すセンターマークを表示できます。

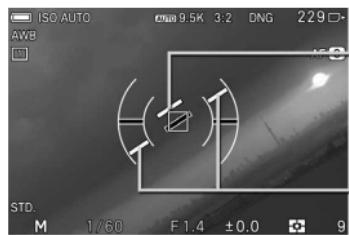
切	ドット	クロス

水準器（切／入）

構図の決定に便利な水準器を表示することができます。

水準器について

カメラの水平方向と垂直方向の傾きを表示します。



- カメラが水平、垂直になると、指標が緑色に変わります。
- 縦位置で撮影する場合、縦位置用の表示に切り替わります。

ご注意!!

- 水準器は±1° 程度の誤差があります。傾きが大きい状態では誤差が大きくなり、正しく動かない場合があります。
- カメラを真下に構えた場合、水準器は正しく動きません。

輝度レベルモニター（切／入）

- (P.49) を参照してください。

ゼブラパターン（切／入）

- (P.49) を参照してください。

オーディオメーター（切／入）

(CINE)

- (P.86) を参照してください。

LCD オフモード

撮影中やカメラを操作していないときに、液晶モニターを消灯するモードです。天体撮影などに便利です。

「LCD オフモード」で「入」にすると、表示モードに追加されます。

- 消灯中に、各ボタン、ダイヤルを操作すると、約 3 秒間液晶モニターが点灯します。
- 再生時、拡大表示、セットアップメニュー、QS メニュー表示時は消灯しません。

ロック中の動作

-
- (P.111) を参照してください。

タッチ操作

タッチパネルでの操作を禁止したり、タッチパネルで操作できる機能を変更することができます。

切	入（初期設定）
---	---------

- タッチパネルでの操作を禁止する場合は「切」にします。
- タッチパネルのみで操作する以下の操作は「切」でもタッチ操作ができます。

「ロック」のスライドによる解除操作	「シネマグラフ」の編集操作
-------------------	---------------

- タッチパネルで操作できる機能を変更したい場合は「入」より設定してください。
- 各タッチの仕方に応じて機能を変更できます。「タップ」「ピンチイン／アウト」など、タッチ操作の言葉の意味は「タッチ操作について」(P.27)をご参照ください。

■ (撮影時の設定)

タップ	ダブルタップ	ピンチイン／アウト
-----	--------	-----------

タップ

切	タッチAF (P.63)
フォーカスフレーム移動 (P.54) (P.55) (初期設定)	タッチシャッター (P.63)

ダブルタップ

切	LV拡大表示 (P.61) (初期設定)
---	----------------------

ピンチイン／アウト

切	クロップズーム (P.80) (初期設定)
---	-----------------------

■ (再生時の設定)

すべての操作

切	入（初期設定）
---	---------

- エレクトロニックビューファインダー EVF-11 使用時、ファインダーを覗きながらタッチパネルの操作が可能です。EVF-11 を装着すると、下記オプションが表示されます。

EVF (EVF-11 使用時の設定)

タップ (切 / 入)	ダブルタップ (切 / 入)	ピンチイン / アウト (切 / 入)
----------------	-------------------	------------------------

- 「入」で操作できる機能は、 (撮影時の設定) に準じます。
- 再生時に操作できる機能は、 (再生時の設定) に準じます。

電子音

電子音の有無、音量を調節できます。

シャッター音	AF 合焦音
REC 音	タイマー音

希望のオプションを選び、音量を小さくしたい場合は  ボタン、音量を大きくしたい場合は  ボタンを押して、 ボタンで確定します。

- 音量は 0~5 の 6 段階で設定できます。
- 0 は音を鳴らさない設定です。
- 3 が初期設定です。

水準器調整

水準器の角度のずれを調整できます。

カメラを水平な場所に置いて、 ボタンを押します。
(新しい調整値が記録されます。)

- リセットしたい場合は、**MODE** ボタンを押します。確認メッセージが表示されますので、「はい」を選び、 ボタンで確定します。(工場出荷時の調整値に戻ります。)

ピクセルリフレッシュ

画像に輝点が記録される場合、ピクセルリフレッシュを行ってください。
撮像素子と画像処理の最適化が行われます。

キャップを閉め、「はい」を選び、 ボタンで確定します。

LCD 設定

液晶モニターの明るさと色合いを調整できます。

明るさ（LCD の明るさ）

↖ ボタンで見やすい明るさに調整し、OK ボタンで確定します。

● AUTO は露出の情報をもとに、見やすい明るさに自動調整されます。

色合い（LCD の色合い）

画面下部のチャートを見ながら「赤み」「青み」を調整してください。

● 通常は ±0 にしてください。

パワーセーブ

LCD オフ

一定時間操作しない状態が続くと、自動的に液晶モニターのバックライトを OFF にします。電源は ON の状態ですので、各ボタンは操作可能です。シャッターボタンを半押しすると撮影を始められます。

オートパワーオフ

LCD オフ中にも操作されなかったときに、自動的にカメラの電源を OFF にします。オートパワーオフ中は、各ボタンは機能しません。シャッターボタンを半押しすると、オートパワーオフが解除されます。

LCD オフ

切	1 分（初期設定）
10 秒	5 分
30 秒	10 分

オートパワーオフ

切	5 分（初期設定）
30 秒	10 分
1 分	

● 「LCD オフ」の設定は、「オートパワーオフ」の設定よりも長い時間を設定することはできません。

ECO モード（切／入）

操作しない時間が約 8 秒間続くと、液晶モニターを暗くしてバッテリーの消耗を抑えます。

HDMI 出力

(STILL)

HDMI ケーブル（別売）で接続したテレビやディスプレイで映像をモニターする際、アイコン等の情報を映像と一緒に出力するか、しないかを選択できます。

情報表示あり

情報表示なし

- HDMI 端子（タイプ D）を備えた市販の HDMI ケーブル（Ver.1.4）をご用意ください。

(CINE)

CINE モードでの「HDMI 出力」の設定は、まず目的によって「モニタリング出力」か「記録映像出力」を選択します。選択後、さらに▶ボタンを押してオプションを選択します。

モニタリング出力

HDMI ケーブル（別売）で接続したテレビやディスプレイで映像をモニターする際、アイコン等の情報を映像と一緒に出力するか、しないかを選択できます。

情報表示

あり

なし

記録映像出力（HDMI 記録映像出力）

HDMI ケーブル（別売）で接続した外部レコーダーなどで映像を記録する際は、こちらの項目から映像出力の設定をします。

出力信号

動画の出力信号形式を設定します。

RAW

4:2:2 8bit（初期設定）

解像度

動画の解像度（サイズ）を設定します。

DCI 4K	4096×2160 「出力信号」が「RAW」のときのみ選択可。（フレームレートが 24fps に固定されます。）
UHD（初期設定）	3840×2160
FHD	1920×1080

フレームレート

フレームレート（1秒あたりのコマ数）を設定します。

23.98 fps	25 fps	48 fps	59.94 fps	119.88 fps
24 fps	29.97 fps	50 fps	100 fps	

ご注意!!

- フレームレートは、外部レコーダーのフレームレートの設定と一致していることをご確認ください。

クロップズーム

クロップズームの倍率を設定します。

- 設定できる倍率は、解像度の設定によって変わります。

DCI 4K	UHD	FHD
x1.00 ~ x2.2	x1.00 ~ x2.5	x1.00 ~ x5.0

- 使用レンズや、フレームレート、電子式手ブレ補正の使用等で、設定できるズーム倍率に制限がでる場合があります。

USB モード

USB ケーブル接続時の通信方式を設定します。

接続時に選択 (初期設定)	機器と接続したときに選択できます。<>ボタンで選択し、OKボタンで確定します。
マスストレージ	SDカードの画像をパソコンに転送する際に設定します。
ビデオクラス(UVC)	本機をウェブカメラ等に使用する際に設定します。
カメラコントロール	パソコンの対応ソフトウェアでカメラを操作する場合に設定します。
充電のみ	充電、および通常のカメラ操作を行いたい場合に設定します。

ご注意!!

- パソコンとカメラの接続中は、USB モードの変更ができません。接続する前に希望の「USB モード」を設定してください。

ケーブルレリーズ設定

(CINE/STILL)

ケーブルレリーズスイッチ CR-41（別売）操作時の動作を設定します。

シャッター	カメラのシャッターボタンと同じ動作をします。
REC	カメラの REC ボタンと同じ動作をします。

EVF 設定

エレクトロニックビューファインダーEVF-11 の各種設定をします。

- EVF-11 装着時のみ設定できます。

LCD への自動切替	
明るさ	タッチ操作 (P.151)
ヘッドホン音量	ファームウェアの更新 (P.158)

LCD への自動切替

モニター切替レバーが [EVF] のままで、カメラの液晶モニターで、画像の再生やメニューの操作を行えます。

切	すべての操作において、ファインダーで表示されます。
入 (再生/MENU 時)	[◀] ボタン、MENU ボタン、QS ボタン等の操作時は、カメラの液晶モニターが表示されます。(カスタム可能なボタンは、割当てる機能によって異なります。)

明るさ (EVF-11 の明るさ)

◀▶ボタンで見やすい明るさに調整し、OK ボタンで確定します。

- AUTO は露出の情報をもとに、見やすい明るさに自動調整されます。

ヘッドホン音量

◀▶ボタンで音量を調整し、OK ボタンで確定します。

- 「ヘッドホン音量」は QS メニュー (P.36)、ダイヤル (P.117) カスタムボタン (P.118) に割り当てできます。

日付 / 時刻 / エリア

- (P.25) を参照してください。

言語/Language

- (P.24) を参照してください。

情報

1 ページ目

モデル名、シリアル番号、ファームウェアバージョン、連続起動時間（電源 ON から現時点まで）、センサー温度が確認できます。

2 ページ目

認証マークが確認できます。

- その他の認証マークは、カメラ底面、化粧箱、使用説明書等に表示されています。

ファームウェアの更新

ファームウェアの更新状況、更新方法は、弊社 WEB サイトにてご確認ください。

sigma-global.com/jp/support/

設定の保存 / 読込

- (P.108) を参照してください。

設定のリセット

カメラの設定を初期の状態に戻すことができます。

1

「設定のリセット」より希望のリセット方法を選択します。

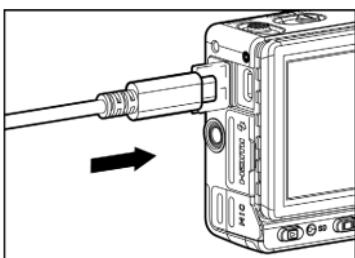
撮影設定のリセット	「 SHOOT」のすべての設定がリセットされます。
再生設定のリセット	「 PLAY」のすべての設定がリセットされます。
システム設定のリセット	「日付/時刻/エリア」、「言語/Language」を除く、「 SYSTEM」のすべての設定がリセットされます。
すべてリセット	すべての設定がリセットされます。（カメラの内蔵時計はリセットされません。）

2

「はい」を選び、OKボタンで確定します。

中止したい場合は「いいえ」を選びOKボタンで確定します。

パソコンに画像を転送する



カメラ内のカードに記録された画像をパソコンに転送できます。

パソコンのUSB端子がCタイプの場合は、付属のUSBケーブルで、Aタイプの場合は、市販のUSBケーブル(A to C)で、パソコンに接続します。

「 SYSTEM」→「USBモード」が「接続時に選択」(初期設定)に設定されていると、パソコンに接続した際にUSBモード選択画面が表示されます。「マスストレージ」を選択してください。(P.156 参照)

- SIGMA Photo Pro上で画像の転送ができます。詳細はSIGMA Photo Proのヘルプをご覧ください。

- カメラがリムーバブルディスク（デバイス）としてパソコンに認識されますので、**SIGMA Photo Pro** を使用しなくても、使い慣れた方法で画像を転送できます。

警告!!

- パソコンがスリープ状態になると、転送中のデータが壊れるおそれがあります。パソコンがスリープ状態に入らない設定にしてください。
- USB 接続中は、カメラのオートパワーオフの機能が働きません。

ウェブカメラとして使用する

本機をウェブカメラとして活用することができます。

1

CINE/STILL スイッチを「CINE」にします。

2

カメラとパソコンを接続し、「USB モード」を「ビデオクラス(UVC)」にします。(P.156 参照)

- AF を使用したい場合は「**常時 AF**」を「入」にしてください。（シャッターボタンや AEL ボタンで AF を作動させることはできません。）
- カメラ、マイクの設定は、お使いのソフトウェアのヘルプ等をご参照ください。
- パソコンの USB 端子が C タイプの場合は、付属の USB ケーブルで、A タイプの場合は、市販の USB ケーブル (A to C) で、パソコンに接続します。
- お使いのソフトウェアによっては、カメラ側で解像度等の設定を行う場合があります。その場合は接続前に設定を行ってください。

ご注意!!

- 以下のボタンは操作できません。

REC ボタン、 シャッターボタン、 **MENU** ボタン、 □ ボタン

- QS メニューは使用できますが、設定できない項目は、グレーで表示されます。また、詳細設定ができない項目もあります。
- 拡大表示はできません。

スクリーンショット機能

液晶モニターの画面を静止画像ファイルとして保存することができます。セットアップメニューの画面をキャプチャしてメモ代わりにするなど、様々な使い方が可能です。

キャプチャしたい画面で、**|□|** ボタンを押しながら、**OK** ボタンを押します。
(キャプチャしたタイミングで、一瞬白い画像が表示されます。)

- **|□|** ボタンを押しながら、以下のボタンを押してもキャプチャできます。
[□ ボタン、TONE ボタン、COLOR ボタン、MODE ボタン]
- カスタムボタン（P.118）に割り当てるとき、1 アクションでキャプチャできます。
- エレクトロニックビューファインダー EVF-11 のファインダー画像もキャプチャできます。
- キャプチャ画像は、再生時、「**SCREENSHOOT**」アイコンが表示されます。
- キャプチャ画像は、画像サイズ 1024 x 682、JPEG 形式で保存されます。
- キャプチャ画像のファイル名は「**SS_XXXX.JPG**」となります。
- キャプチャ画像ファイルは、静止画と同じフォルダに保存されます。

ご注意!!

- 設定の状態や画像処理中など、キャプチャできる回数に制限が生じたり、キャプチャできない場合があります。
- 動画の撮影中など、連続してキャプチャできない場合があります。

- 以下の画面は、カスタムボタンでのキャプチャはできません。

フォルスカラー、EL ZONE、絞りプレビュー、 AEL（押す間）、AFL（押す間）、AEL+AFL（押す間）
--

参考資料

別売アクセサリーの紹介や、カメラのスペックなどを説明します。

別売アクセサリー

電子ビューファインダー EVF-11

高精細 368 万ドット有機 EL (OLED) ディスプレイを搭載した、高性能な電子ビューファインダーです。外付けながら一体感のあるデザインが特徴で、90 度可動するチルト機構により、撮影アングルの自由度が広がります。音声のモニターが可能な、ヘッドフォンジャックも装備。また、外光の影響を受けにくい、大型アイカップが付属されています。

LCD ビューファインダー LVF-11

液晶モニターを 2.5 倍に拡大して見ることができる fp シリーズ専用のビューファインダーです。外光をカットし、屋外でも容易にピントや構図の確認が可能です。(ベースプレート BPL-11 付属)

エレクトロニックフラッシュ EF-630 (FOR SIGMA)

最大ガイドナンバー 63 (ISO100・m) の大光量オートズームフラッシュです。S-TTL 方式による自動調光撮影や、マルチ発光撮影などの多彩なフラッシュ撮影が可能です。

エレクトロニックフラッシュ EF-140S SA-STTL

単4形ニッケル水素電池2本を使用する、軽量小型設計のフラッシュです。小型ながら余裕の発光量（最大ガイドナンバー14（ISO100））により、夜間の撮影範囲を広げることができます。

ハンドグリップ HG-11

小型のレンズを装着した際に握りやすく、取り回しの良い小型のグリップです。fpシリーズとのデザイン的なマッチングも考慮されています。

ハンドグリップ HG-21

135mm F1.8DG HSM等の望遠レンズを装着してもしっかりとホールディングできる、操作性重視の大型グリップです。

ベースグリップ BG-11

BG-11はカメラ底面の三脚取付け穴に固定して使用するグリップです。しっかりとカメラをホールドすることができ、より安定したスタイルで撮影を楽しむことができます。

ACアダプターSAC-7P

USBストレージ使用時など、USB端子が空いていないときでも、家庭用電源でカメラを作動させることができるACアダプターです。（DCコネクターCN-21が付属されています。）詳しくはP.164をご覧ください。

バッテリーチャージャーBC-71

fpシリーズ用リチウムイオン充電池「バッテリーパック BP-51」専用の充電器です。カメラを使用しなくとも充電ができます。

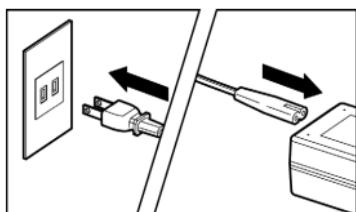
ケーブルレリーズスイッチ CR-41

カメラのマイク/ケーブルレリーズ端子に接続して、写真を撮る、あるいは動画撮影をスタートさせることができます。また、マイク用ジャックを備えていますので、ケーブルレリーズスイッチとマイクの併用も可能です。（ケーブルの長さ：約1m）

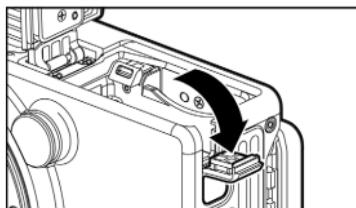
DCコネクター CN-21

カメラと他社製バッテリーを接続するためのアダプターです。（ACアダプターセット SAC-7Pに付属されているものと同じです。）

AC アダプター SAC-7P（別売）を使う



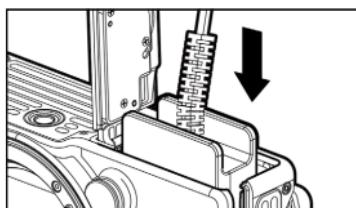
AC アダプターセット (SAC-7P) (別売) を使用して、家庭用電源でカメラを作動させることができます。



2

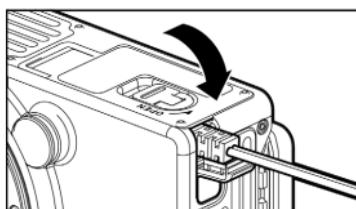
バッテリー室ドアを開き、図のように DC コネクターカバーを開きます。

- DC コネクターカバーを強く引っ張ると本体から外れてしまうのでご注意ください。



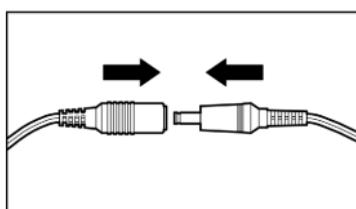
3

図のように DC コネクターをロックされるまで押し込みます。



4

DC コネクターのコードを挟み込まないように注意しながら、バッテリー室ドアを閉めます。

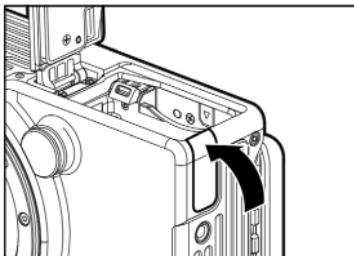


5

AC アダプターのプラグと DC コネクターのジャックを接続します。

警告!!

- アクセスランプが点灯しているときは、ジャックが外れないよう十分ご注意ください。電源が落ち、書き込み中のデータが失われます。



- 使い終わったらカメラの電源を OFF にして、プラグをコンセントから抜いてください。

DC コネクターを取り外したあとは、図のように DC コネクターカバーを閉めてください。

お手入れについて

- ボディやレンズのお手入れにシンナーやベンジンなどの有機溶剤は表面の仕上げをいためますので絶対に使用しないでください。ボディやレンズの鏡筒部は柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。レンズ面についたほこり等は市販のプロワーで軽く吹き飛ばす程度にし、指紋などがついてしまった場合は市販のレンズクリーナーを使用して慎重に拭きとってください。
- 液晶モニターにほこりやゴミ等が付着した場合は、市販のプロワーで吹き飛ばしてください。汚れがひどいときは柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。

ダストプロテクターの清掃について

ダストプロテクター（撮像素子保護ガラス）に付着したホコリは、プロアーで吹き飛ばしてください。万一、指紋などが着いてしまった場合は、プロアーでホコリを吹き飛ばしたあとに、柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。それでも汚れが取れない、ホコリが写りこむ場合などは、弊社営業所にクリーニングをお申し付けください。

警告!!

- スプレー式のエアクリーナーは使用しないでください。噴射する角度によっては液体が噴き出し、ダストプロテクターを傷める可能性があります。
- プロワーは、必ずブラシのついていないものを使用してください。ブラシ付のものはダストプロテクターにキズをつける恐れがあります。

保管について

- 長期間ご使用にならないときは、液漏れによるカメラの破損を防ぐため、バッテリーを取り出して保管してください。
- カビや錆の発生を防ぐため、風通しのよい乾燥した場所に保管してください。カメラを乾燥剤といっしょにビニール袋にいれて保管するのも有効な手段です。ただし乾燥剤は有効期限がありますので、ときどき交換してください。ナフタリン等の防虫剤はカメラに悪影響を与えますのでいっしょに保管しないでください。

液晶モニターについて

- 液晶モニターはその特性上、一部の画素に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。故障ではありません。また、記録されるデータには影響ありません。予めご了承ください。
- 液晶の特性により、低温下で表示の反応が遅くなることがあります。また、高温下で表示が黒くなることがあります。常温になれば正常に戻ります。

困ったときは

カメラの調子が悪かったり写真がうまく写らなかった場合、故障と思われる前に次の点を確認してください。

液晶モニターになんの表示も出ない。

バッテリーが消耗している。

- ▶充電されたバッテリーと交換してください。(P.20 - 22)

LCD オフ状態になっている。(P.154)

- ▶シャッターボタンを半押しする、もしくはいずれかのボタンを押してください。

撮影できない。

データ処理中（ビジー状態）になっている。

- ▶処理が終わるまでお待ちください。

カードの使用容量がいっぱいになっている。

- ▶ 新しいカードを入れるか、いらない画像を消去して容量を空けてください。(P.125 - 126)

オートフォーカスが動かない。

レンズのフォーカスマードスイッチがMになっている。

- ▶ レンズのフォーカスマードスイッチをAFにしてください。(P.52)

レンズがきちんと取り付けられていない。

- ▶ 正しくレンズを取り付けてください。(P.23)

「半押しAF-ON」の設定が「切」になっている。

- ▶ 「半押しAF-ON」の設定を「入」にしてください。(P.119)

ご使用のレンズがオートフォーカスに対応していない。

- ▶ 弊社WEBサイトにて、対応レンズかご確認ください。(P.12)

電源が勝手に切れる。

オートパワーオフが働いている。

- ▶ バッテリーの消耗を抑えるためにオートパワーオフ機能が働いています。不都合がある場合は、セットアップメニューでオートパワーオフの設定を「切」に設定してください。(P.155)

撮影・記録ができない。

カードの使用容量がいっぱいになっている。

- ▶ 新しいカードを入れるか、いらない画像を消去して容量を空けてください。(P.125 - 126)

バッテリーが消耗している。

- ▶ 充電されたバッテリーと交換してください。(P.20 - 22)

カードにロックがかかっている。

- ▶ カードのロックを解除してください。(P.11)

カードのデータが壊れている。

- ▶ カードに必要なデータが残っている場合にはパソコンにバックアップをとった後、カメラでカードを初期化してください。(P.42)

液晶モニターの表示・画像が不鮮明になる。

ゴミや汚れが付いている。

- ▶ ブロワーで吹き飛ばしたり、柔らかい清潔な布で拭き取ってください。
(P.165)

液晶モニターが劣化している。

- ▶ お買い上げの販売店、もしくは弊社カスタマーサポートにご相談ください。

画像がボケて写っている。

ピントが合わないまま撮影している。

- ▶ シャッターを半押しして、フォーカスフレームが緑色になったのを確認して撮影してください。
(P.52)

レンズのフォーカスマードスイッチが **M** になっている。

- ▶ レンズのフォーカスマードスイッチを **AF** にしてください。
(P.52)

手ブレをおこしている。

- ▶ ISO 感度を上げるか、三脚等に固定して撮影してください。
(P.68)

画像を消去できない。

画像にロックがかかっている。

- ▶ ロックを解除してください。
(P.129 - 131)

カードにロックがかかっている。

- ▶ カードのロックを解除してください。
(P.11)

撮影年月日・時間が正しく表示されない。

日付・時間が正しく設定されていない。

- ▶ 日付・時間を正しく設定してください。
(P.25)

エラーコードが表示される

内部にエラーが発生したため撮影を続行できません。

- ▶ 弊社カスタマーサポートにご相談ください。

主な仕様

型式	型式	レンズ交換式デジタルカメラ
	記録メディア	SD / SDHC / SDXC メモリーカード(UHS-II 対応) / ポータブル SSD (USB3.0 接続, バスパワー対応)
	レンズマウント 型式	L マウント 35mm フルサイズ (36.0mm x 24.0mm) 裏面照射型 CMOS センサー
撮像素子	カメラ有効画素数 / 総画素数	約 6,100 万画素 / 約 6,240 万画素
	アスペクト比	3:2
	カラーフィルター方式	RGB 原色カラーフィルター
	静止画ファイル形式	ロスレス圧縮 RAW (DNG) 12 bit、14 bit、JPEG (Exif2.3) RAW (DNG)+JPEG 同時記録可能
	画像縦横比	[21:9] / [16:9] / [3:2] / [A 判 ($\sqrt{2}:1$)] / [4:3] / [7:6] / [1:1]
	記録画素数 (3:2 時) (): APS-C レンズ使用時	9,520 x 6,328 ~ 1,920 x 1,280 (6,240 x 4,144 ~ 1,920 x 1,280)
画質モード (JPEG)	FINE、NORMAL、BASIC	
	クロップ	レンズ表記の約 1.05 倍から約 5 倍の焦点距離に相当 (35mm カメラ換算)
色空間	sRGB / Adobe RGB	
	動画フォーマット	CinemaDNG (8bit / 10bit / 12bit) / MOV : H.264 (ALL-I / GOP)
	音声フォーマット	リニア PCM (2ch 48kHz/16bit)
動画記録形式	記録画素数 / フレームレート	3,840 x 2,160 (UHD 4K) / 23.98p, 24p, 25p, 29.97p 1,920 x 1,080 (FHD) / 23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 48p, 50p, 59.94p, 100p, 119.88p
	連続記録時間	最長 2 時間
	Cinema DNG 記録 メディア制限	SD カード: UHS-II UHD 8bit 25p 以下, FHD 12bit 59.94p 以下 ポータブル SSD: UHD 12bit 29.97p 以下, FHD 12bit 100p 以下, 10bit/8bit 119.88p 以下
カメラ 内部記録		

動画記録形式 HDMI 外部出力	動画フォーマット	4:2:2 8bit 出力 RAW 12bit 出力： 外部レコーダー記録：Atomos Ninja V, Blackmagic Video Assist 12G 対応
	音声フォーマット	リニア PCM (2ch 48kHz/16bit)
	記録画素数 / フレームレート	4,096 x 2,160 (DCI 4K) / 24p (RAW) 3,840 x 2,160 (UHD 4K) / 23.98p, 24p, 25p, 29.97p 1,920 x 1,080 (FHD) / 23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 48p, 50p, 59.94p, 100p, 119.88p
	AF 形式 / フォーカスモード	位相差検出+コントラスト検出方式 / シングル AF、コンティニュアス AF（動体 予測機能付）、マニュアルフォーカス
フォーカス	AF 測距検出範囲 / AF モード	-5EV ~ 18EV (F1.4 : ISO100) / 多点オート、49 点選択モード、自由移動モ ード、顔/瞳優先 AF モード、追尾 AF モード
	AF ロック	シャッターボタンの半押し、 あるいは AEL ボタン(要設定変更)を押す
	その他の フォーカス機能	AF+MF、MF アシスト、MF ガイド、フォ ーカスピーキング、レリーズ・フォーカス 優先機能、AF-ON、ブリ AF、拡大中 AF
	測光方式	評価測光、スポット測光、中央部重点平均 測光
	測光範囲	-5EV ~ 18EV (50mm F1.4 : ISO100)
	静止画撮影モード	(P) プログラム AE (プログラムシフト可 能)、(S) シャッター速度優先 AE、(A) 絞 り優先 AE、(M) マニュアル
露出制御	動画撮影モード	(P) プログラム AE、(S) シャッターアングル 優先 AE、(A) 絞り優先 AE、(M) マニュアル
	ISO 感度 (推奨露光指数)	ベース感度 静止画撮影 : ISO 100,400 動画撮影 : CinemaDNG 12bit/HDMI RAW : ISO 100, 1250 MOV/CinemaDNG 10bit, 8bit, HDMI 4:2:2 8bit : ISO 100, 250 設定可能範囲 ISO 100 - 25600、拡張感度 ISO 6, 12, 25, 50, 51200, 102400

露出制御	露出補正	± 5 EV (1/3 ステップ) (動画撮影時は ± 3 EV)
	AE ロック	シャッターボタンの半押し、あるいは AEL ボタンを押す
	露出プラケット	3 コマ / 5 コマ段階露出 ± 3 EV (1/3 ステップ、適正→アンダー→オーバー) (順序変更可)
手ブレ補正方式		電子式 (動画 MOV のみ対応)
シャッター	形式	12 種 (オート、オート(色残し)、晴れ、日陰、くもり、白熱電球、蛍光灯、フラッシュ、色温度指定、カスタム 1、カスタム 2、カスタム 3)
	シャッター速度	電子シャッター 30 秒 ~ 1/8,000 秒、バルブ(5 分まで)
	ドライブモード	1 コマ撮影、連続撮影 (高速:約 10 コマ/秒)、(中速:約 5 コマ/秒)、(低速:約 3 コマ/秒)、セルフタイマー (2 / 10 秒)、インターバルタイマー
モニター	形式 / 視野率	TFT カラー液晶、アスペクト比 3:2、3.15 型、約 210 万ドット / 約 100%
	タッチパネル	静電容量方式
外部フラッシュ	発光モード	S-TTL 自動調光 / マニュアル / ワイヤレスフラッシュ / マルチ発光
	フラッシュモード	赤目緩和発光 / 後幕シンクロ / スローシンクロ
	調光補正	1/3EV ステップ 最大 ± 3 EV 1/15 秒以下
	フラッシュ同調速度	※DNG(14bit)および DNG(14bit) + JPEG 設定時は 1/10 秒以下
	外部フラッシュ対応	ホットシューユニット HU-11 (付属) 装着時に使用可能。 (S-TTL / ワイヤレス対応 / X 接点)

カラーモード		16種（スタンダード、ビビッド、ニュートラル、ポートレート、風景、シネマ、ウォームゴールド、ティールアンドオレンジ、サンセットレッド、フォレストグリーン、パウダーブルー、FOVクラシックブルー、FOVクラシックイエロー、デュオトーン、モノクローム、切）
ディレクターズ ビュー ファインダー	対応カメラ	ARRI : ARRICAM / ARRIFLEX, ALEXA LF / ALEXA Mini LF, ALEXA SXT, ALEXA Mini, AMIRA, ALEXA65, ALEXA XT SONY : VENICE RED : MONSTRO 8K, HELIUM 8K, DRAGON 6K, EPIC MX 5K, GEMINI 5K, KOMODO 6K
	フレームガイド	1.33:1、1.85:1、2.39:1、カスタムフレーム1、カスタムフレーム2
	カスタムフレーム	入力(センサーエリア / アスペクト比), オフセット, スタイル(4種), 線幅(1~10px), 表示色(白, 黒, 赤, 黄色, 緑, シアン, 青, マゼンタ), シェーディング
その他の機能		QRコードを使った設定の保存/読み込み, スクリーンショット, ウェブカメラ, カメラ内RAW現像, 収録した動画からの静止画切り出し, シネマグラフ, Fill Light, HDR撮影(静止画・動画), 動画撮影中の静止画撮影
内蔵マイク / スピーカー		ステレオマイク / モノラルスピーカー
表示言語	USB 端子	英語 / 日本語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / 簡体中文 / 繁体中文 / 韓国語 / ロシア語 / オランダ語 / ポーランド語 / ポルトガル語 / デンマーク語 / スウェーデン語 / ノルウェー語 / フィンランド語
	HDMI 端子	Type D (Ver.1.4)
インターフェイス	REMOTE	外部マイク端子と兼用
	タイムコード入力	外部マイク端子と兼用

インターフェイス	外部マイク端子	Ø3.5mm ステレオミニジャック (プラグインパワー対応)
	ヘッドホン出力端子	Ø3.5mm ステレオミニジャック (EVF-11 使用時に接続可能)
	フラッシュシンクロ端子	専用端子(ホットシューユニット HU-11(付属)を装着)
防塵防滴構造		有り
電源	電源	専用リチウムイオン電池 (Li-ion バッテリーパック BP-51) USB 給電による充電およびカメラ動作が可能
	静止画撮影可能枚数	約 240 枚 (23°C 時、CIPA 試験基準による)
連続動画撮影可能時間		約 60 分
外形寸法・質量	外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	112.6 x 69.9 x 45.3 mm
	質量	427 g (バッテリー、SD カード含む) 375 g (本体のみ)
動作環境	使用可能温度	0 ~ +40°C
	使用可能湿度	85%以下 (結露無きこと)

※仕様は予告なく変更することがあります。

AC アダプターUAC-21

入力 : 100V - 240V ～ 50/60Hz 0.45A

出力 : 5.0V 3.0A 15W

バッテリーパック BP-51

リチウムイオン充電池

電圧 : 7.2V 容量 : 1200mAh

製品のお問い合わせは…

シグマ カスタマーサポート部 フリーコール :**0120-9977-88**

(携帯電話をご利用の方は 044-989-7436 にご連絡ください)

〒215-8530 神奈川県川崎市麻生区栗木 2 丁目 4 番 16 号

サポート・インターネットページアドレス

sigma-global.com/jp/support/

サポート・メールアドレス

info@sigma-photo.co.jp



株式会社シグマ

本社

〒215-0033 神奈川県川崎市麻生区栗木 2 丁目 8 番 15 号

インターネットホームページアドレス sigma-global.com/jp/